F-04F

取扱説明書　'13.12

はじめに

「F-04F」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

操作説明

「クイックスタートガイド」（冊子）

画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明しています。

「取扱説明書」アプリ（eトリセツ）（本端末に搭載）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
〈操作手順〉
ホーム画面で［MENU］→［アプリ］→［取扱説明書］
- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で → ［取扱説明書］をタップします。

「取扱説明書」（PDFファイル）

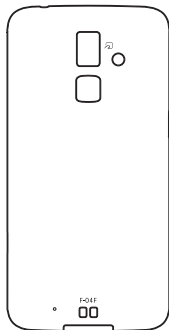
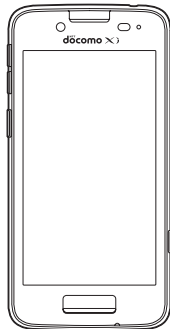
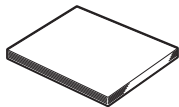
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
〈パソコンから〉 http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※最新情報がダウンロードできます。

本書の見かた

- 本書においては、「F-04F」を「本端末」と表記しています。
- 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書は、「テレフォンホーム」を主体に説明しています。「NX!ホーム」で操作方法が異なる場合は併記しています。
- 本書内の「認証操作」という表記は、機能に応じて暗証番号やパスワードなどを入力する操作、または指紋認証を行う操作を表しています。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容やホームページのURLおよび記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

■F-04F（保証書付き）

■リアカバー F81

■クイックスタートガイド

■電池パック F31

■卓上ホルダ F45

□その他のオプション品→P153

目　次

本体設定 99

ファイル管理 133

データ通信 136

外部機器接続 144

海外利用 146

付録／索引 153

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、Xiサービスエリアおよび FOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用されるアプリなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 大切なデータはmicroSDカードおよびパソコンに保存することをおすすめします。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 本端末はｉモードのサイト（番組）への接続、ｉアプリなどには対応しておりません。
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用になれます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモminiUIMカードにお取り替えください。
- 本端末では、マナーモード中でも、カメラ起動時のスクリーンショット音やキャプメモのキャプチャ音、シャッター音、オートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音、Bluetooth Low Energy設定のFind Me通知音は消音されません。
- お客様の電話番号（自局電話番号）は次の手順で確認できます。
  ホーム画面で☰→［本体設定］→［マイプロフィール］
- 本端末は、データの同期や最新ソフトウェアバージョンをチェックするための通信やサーバーとの接続を維持するための通信などを一部自動的に行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。

- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。→P164
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードや端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 本端末では、あらかじめインストールされているアプリのほか、dメニューの「お客様サポート」からダウンロードできるアプリをご利用になれます。
  その他のアプリをブラウザやGoogle Playからダウンロードすることはできません。
- 万が一本端末を紛失した場合は、パソコンメールで利用している各種アカウントを他人に利用されないように、パソコンからパスワード変更や無効化を行ってください。
- 紛失に備え画面ロックを設定し、端末のセキュリティを確保してください。→P121
- spモード、mopera UおよびビジネスmoperaインターネットВ以外のプロバイダはサポートしておりません。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/ をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の項目に分けて説明しています。

◆本端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードの取り扱い（共通）

⚠危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿、汗などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能についてはこちらをご参照ください。→P21「防水／防塵性能」

水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に液体（水や飲料水、ペットの尿、汗など）を浸入させないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

本端末に使用するオプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子、ステレオイヤホン端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。
（おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**
- **電池パックを本端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらアプリや通話などを長時間行うと本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

◆本端末の取り扱い

⚠警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末内のドコモminiUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。

航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。

ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。

また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部には強化ガラス、カメラのレンズにはプラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

禁止

ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について→P14「材質一覧」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

◆電池パックの取り扱い

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠警告

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

◆アダプタ、卓上ホルダの取り扱い

⚠警告

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、上下左右に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、無理な力を加えず、水平に真っ直ぐ抜き差ししてください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

◆ドコモminiUIMカードの取り扱い

⚠注意

指示

ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。

けがの原因となります。

◆医用電気機器近くでの取り扱い

⚠警告

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

◆材質一覧

使用箇所		材質／表面処理
ディスプレイパネル		強化ガラス／AFコーティング
外装ケース	フロントケース	PA-GF樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	リアケース	PC＋ABS-GF樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
	リアカバー	PC-GF樹脂＋ポリエステル系エラストマー樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
レシーバパネル		アクリル樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
ホームキー		PC樹脂／不連続蒸着＋アクリル系UV硬化塗装処理
アウトカメラ／赤外線ポート	パネル	アクリル樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
サイドボタン（電源キー）		アルミ合金／アルマイト処理
サイドボタン(カメラキー／音量キー)		PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
外部接続端子キャップ		PC樹脂＋ポリエステル系エラストマー樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
充電端子		PC樹脂＋ABS樹脂／金メッキ
指紋センサー	センサー部	エポキシ樹脂
	上下外周部	ステンレス鋼／チタンコーティング

■電池パック F31

使用箇所	材質／表面処理
本体	PC樹脂
端子部	ベリリウム銅／金メッキ
ラベル	ポリエチレン／黒色印刷文字

■卓上ホルダ F45

使用箇所	材質／表面処理
上下ケース	ABS樹脂
スペーサー（L・R）、フロントフック、サイドレバー、充電端子（レバー）	POM樹脂
充電端子（接点部）	リン青銅／金メッキ
外部接続端子	ステンレス鋼／錫（スズ）メッキ
ゴム足	ポリウレタン

使用箇所	材質／表面処理
ラベル（上ケース）	ポリエチレン
ラベル（下ケース前）	PP樹脂
ラベル（下ケース後）	アート紙

取り扱い上のご注意

◆共通のお願い

- **F-04Fは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水や粉塵を侵入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。**
  - 電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
  また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器を外部接続端子やステレオイヤホン端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- **オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

◆本端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  - タッチパネルが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  - 温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上は風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **外部接続端子やステレオイヤホン端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常は外部接続端子キャップを閉じた状態でご使用ください。**
  - ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
  - 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- **指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。**
  - 指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- **指紋センサーは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で清掃してください。**
  - 指紋センサーが汚れていたり表面に水分が付着していたりすると、指紋の読み取りができなくなり、認証性能の低下や誤動作の原因となります。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
  - データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
  - キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  - 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

◆電池パックについてのお願い

- **電池パックは消耗品です。**
  - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**
- **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**

- **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40%程度の状態をおすすめします。

◆アダプタについてのお願い

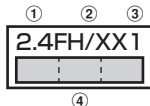
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- **充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
  - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
  - 故障の原因となります。

◆ドコモminiUIMカードについてのお願い

- **ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
- **IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**
- **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- **お客様ご自身で、ドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**
- **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  - データの消失、故障の原因となります。
- **ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  - 故障の原因となります。
- **ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
  - 故障の原因となります。
- **ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。**
  - 故障の原因となります。

◆Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について

  本端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

① 2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② FH/XX：変調方式がFH-SS方式およびその他の方式（DS-SS方式／DS-FH方式／FH-OFDM複合方式／OFDM方式以外）であることを示します。
③ 1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
④ ▭：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

利用可能なチャネルは国により異なります。
ご利用の国によってはBluetooth機能の使用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

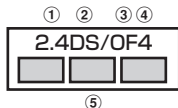
Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆無線LAN（WLAN）についてのお願い

- **無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。**

- **無線LANについて**
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- **周波数帯について**
  本端末の無線LAN機能が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

① 2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
② DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③ OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。
④ 4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑤ ▭▭▭：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャネルは国により異なります。WLANを海外で利用する場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
ドコモminiUIMカードが挿入されていない場合や挿入されていても圏外の場合には、国内外に関わらず2.4GHz帯の12、13チャネルおよび5GHz帯の120～128チャネルは使用できません。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

5GHz機器使用上の注意事項

本端末に内蔵の無線LANを5.2／5.3GHzでご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。

本端末が日本で使用できる周波数とチャネル番号は次のとおりです。

- 5.2GHz帯：5,180～5,240MHz（36、38、40、42※、44、46、48Ch）
- 5.3GHz帯：5,260～5,320MHz（52、54、56、58※、60、62、64Ch）
- 5.6GHz帯：5,500～5,700MHz（100、102、104、106※、108、110、112、116、118、120、122※、124、126、128、132、134、136、140Ch）

※ IEEE802.11acドラフト版に対応しています。今後の正式規格対応商品や他社のドラフト版対応商品とは通信できない場合があります。対応商品については次のサイトをご覧ください。
http://www.fmworld.net/product/phone/wifi/

◆FeliCaリーダー／ライターについて

- **本端末のFeliCaリーダー／ライター , P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。**
- **使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライター , P2P機能をご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。**
- **航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては使用が制限されている場合があります。**
  その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

◆注意

- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。**
  本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク〒」が本端末の銘板シールに表示されております。
  本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
  技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
  ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵性能

F-04Fは、外部接続端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを確実に取り付けた状態で、IPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP5X※3の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 F-04FにおけるIPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの所にF-04Fを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。（水中においてカメラ機能は使用できません。）

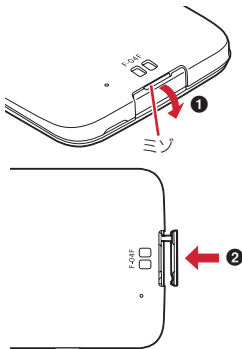
※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

❖F-04Fが有する防水性能でできること

- **1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通話ができます。**
  - 手が濡れているときや端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子キャップの開閉はしないでください。
- **常温の水道水で手洗いすることができます。**
  - 外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま、強くこすらずに洗ってください。
  - 規定（→P21）以上の強い水流を直接当てないでください。
  - ブラシやスポンジ、石鹸、洗剤などは使用しないでください。
  - 泥や土が付着した場合は洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落とし、流水で洗い流してください。
  - 洗った後は所定の方法（→P24）で水抜きしてください。
- **風呂場で使用できます。**
  - 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法（→P24）で水抜きしてください。
  - 温泉や石鹸、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、前述の方法で洗い流してください。
  - 風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。
  - 急激な温度変化は結露の原因となります。寒いところから暖かい風呂場などに本端末を持ち込むときは、本端末が常温になるまで待ってください。
  - 蛇口やシャワーからお湯をかけないでください。

◆防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の浸入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 外部接続端子を使用するときは、ミゾに指先をかけて外部接続端子キャップを矢印の方向に開け（❶）、使用後は外部接続端子キャップをしっかりと閉じて矢印の方向に押し込み、外部接続端子キャップの浮きがないことを確認してください（❷）。

- リアカバーの取り付けかたは、「電池パックの取り付け／取り外し」の「■取り付けかた」内で説明しています。→P29
- リアカバーは浮きがないように確実に取り付け、外部接続端子キャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、浸水の原因となります。
- ステレオイヤホン端子、送話口／マイク、受話口／スピーカー、背面マイクなどを尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 外部接続端子キャップ、リアカバー裏面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。リアカバーをねじるなどして変形させたり、ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

◆ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉

石鹸／洗剤／入浴剤をつける

ブラシ／スポンジで洗う

洗濯機で洗う

強すぎる水流を当てる

海水につける

温泉で使う

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。
- 規定（→P21）以上の強い水流を直接当てないでください。F-04FはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水などがかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- プールで使用する際は、その施設の規則を守ってください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。電源端子がショートしたり、寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- ステレオイヤホン端子、送話口／マイク、受話口／スピーカー、背面マイクに水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 外部接続端子キャップやリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子キャップやリアカバー裏面のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取替えください。

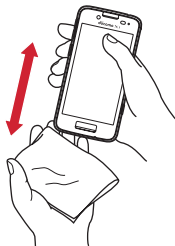
実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

◆水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

① 本端末をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。

② 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。

③ ステレオイヤホン端子、送話口／マイク、受話口／スピーカー、背面マイク、キー、充電端子、ストラップホールなどの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るように押し当てて確実に拭き取ってください。

④ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。

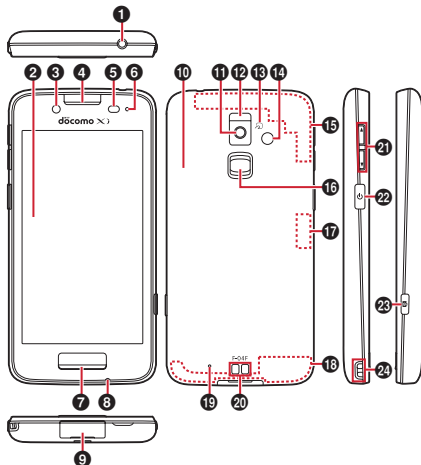
- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

◆充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 本端末が濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、付属の卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いたりしてください。
- 外部接続端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりと外部接続端子キャップを閉じてください。外部接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- ACアダプタ、卓上ホルダは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能

❶ **ステレオイヤホン端子（防水）**
❷ **ディスプレイ（タッチパネル）**
❸ **インカメラ**
❹ **受話口／スピーカー**
❺ **近接センサー／RGBセンサー**※1
近接センサーは通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。RGBセンサーは周囲の光の状態や明るさを検知して、ディスプレイの色味やバックライトの明るさを自動調節します。
❻ **お知らせLED**
❼ **ホームキー**
ホーム画面表示のほか、長く押すと最近使ったアプリを表示します。
❽ **送話口／マイク**
❾ **外部接続端子**
❿ **リアカバー**※2
⓫ **アウトカメラ**
⓬ **赤外線ポート**
⓭ **マーク**
⓮ **フラッシュ／ライト**
⓯ **GPS／Xiアンテナ部**※3
⓰ **指紋センサー**
指紋認証操作のほか、ロック画面の解除やスリープモードの設定／解除を行います。
⓱ **Bluetooth／Wi-Fiアンテナ部**※3
⓲ **Xi／FOMAアンテナ部**※3
⓳ **背面マイク**
通話時に騒音を抑えるために使用します。ふさがないようご注意ください。
⓴ **充電端子**
㉑ **音量キー**
音量調節のほか、を1秒以上押してマナーモードの設定／解除を行います。

㉒ **電源キー** [電源]
電源操作のほか、スリープモードの設定／解除を行います。携帯電話オプションメニューが表示されるまで[電源]を押し続けて再起動したり、公共モード、機内モード、マナーモードの設定／解除を行ったりします。

㉓ **カメラキー** [カメラ]
ホーム画面で長く押すとカメラが起動します。また、通話中に1秒以上押すと通話メモの開始／終了ができます。

㉔ **ストラップホール**

※1 センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けたり、指などでふさいだりすると、誤動作したり正しく検知されない場合があります。また、近接センサー部分をふさぐと、ホームキーを押してスリープモードを解除することはできません。
※2 リアカバーを外して電池パックを取り外すと、ドコモminiUIMカードスロットとmicroSDカードスロットがあります。リアカバーの裏面には、防水のためのゴムパッキンがついています。
※3 本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

ドコモminiUIMカード

ドコモminiUIMカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されているICカードです。

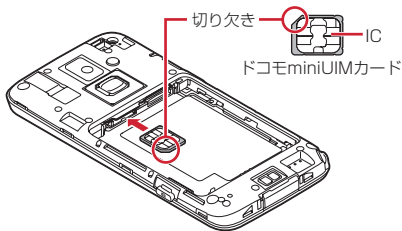
- 本端末ではドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモminiUIMカードが本端末に取り付けられていないと、電話の発着信やSMSの送受信などの機能を利用することができません。
- ドコモminiUIMカードについて詳しくは、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

◆ ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外し

- 取り付け／取り外しは、本端末の電源を切り、リアカバーと電池パックを取り外してから行います。→P29

■ 取り付けかた

① ドコモminiUIMカードのIC面を上にして、ドコモminiUIMカードスロットに差し込む

- 切り欠きの方向にご注意ください。

■ 取り外しかた

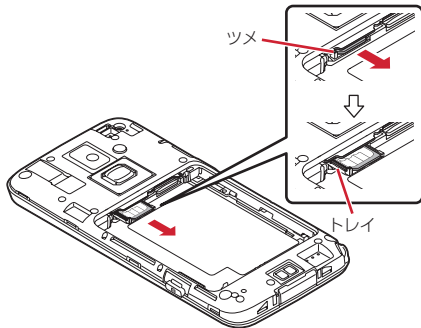
① トレイのツメに指先をかけ、まっすぐ水平に引き出す

② ドコモminiUIMカードを軽く押さえながら、矢印の方向へ引き出す

- ドコモminiUIMカードを下方向に強く押し付けないでください。

③ トレイをまっすぐ水平に差し込む

✔お知らせ

- ドコモminiUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、ドコモminiUIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、ドコモminiUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- トレイは外れない構造になっています。トレイを引き出す際はトレイ引き出し位置（トレイが自然に止まる位置）を目安とし、無理に引き出さないでください。トレイが破損する恐れがあります。

◆ ドコモminiUIMカードの暗証番号

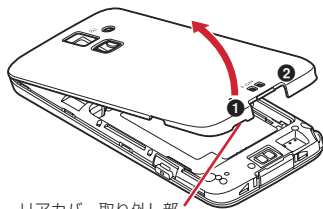
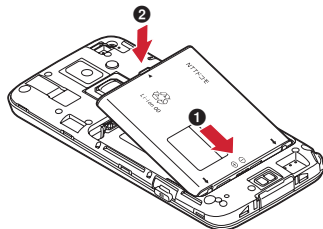
ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P120

電池パック

◆ 電池パックの取り付け／取り外し

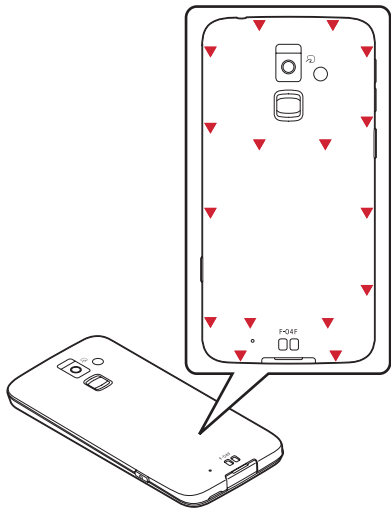
- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- リアカバーの取り付け／取り外しは、本端末のディスプレイなどが傷つかないように、手に持って行ってください。
- 本端末が濡れているときは、水分をよく拭きとってから、リアカバーを取り外してください。
- 本端末専用の電池パック F31をご利用ください。

■ 取り付けかた

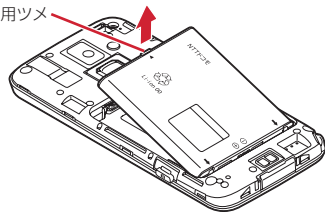
① リアカバー取り外し部に指先をかけ、リアカバー裏のツメを❶、❷の順番で外してから、リアカバーを矢印の方向に取り外す

② 電池パックのラベルの矢印面を上にして、電池パックの金属端子を本端末の金属端子に合わせて❶の方向に差し込みながら、❷の方向に取り付ける

③ リアカバーの向きを確認し、本体に合わせるように取り付ける

④ リアカバー裏のツメと本端末のミゾを合わせて▼部分をしっかりと押して、完全に閉める

- 防水／防塵性能を維持するために、浮いている箇所がないことを確認しながら確実に取り付けてください。

※「防水／防塵性能」について→P21

■ 取り外しかた

① リアカバー取り外し部に指先をかけてリアカバーを取り外す

② 電池パックの取り外し用ツメをつまんで、矢印の方向に持ち上げて取り外す

充電

❖充電時のご注意

- アプリを使いながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、電池残量が減り充電が完了しなかったりすることがありますが、本端末の異常ではありません。
- 充電中は本端末やACアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。本端末が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 次の場合は充電エラーになり、お知らせLEDが消灯します。充電可能な状態になると、再度充電を開始します。
  - 充電器の電圧が充電可能な範囲外になった
  - 電池パックまたは端末の温度※が充電可能な範囲外になった

  ※ 高温になった場合は、温度が下がってから再度充電を行ってください。
- 長時間充電が完了しない場合は充電エラーになり、お知らせLEDが消灯します。充電器から取り外して、充電し直してください。
- 電池パックの電圧に異常があると充電エラーになり、お知らせLEDが点滅します。充電器から取り外すか電池パックを取り外して、正しい方法でもう一度充電を行ってください。以上の操作を行っても正常に充電できない場合は、一度電源を切ってから、本書巻末の「故障お問い合わせ先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- 電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。
- 電池パックを一度取り外し、再度取り付けた直後には、電池残量が正しく表示されない場合があります。繰り返し使用することで、電池残量表示が補正されます。
- 充電時間については「主な仕様」をご覧ください。→P167

❖電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。充電しながら通話などを長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

Li-ion 00

❖ご利用になれる充電用アダプタについて

詳しくは、ご利用になるACアダプタまたはDCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

ACアダプタ 03（別売）／ACアダプタ 04（別売）／ACアダプタ F05（別売）／ACアダプタ F06（別売）：AC100Vから240Vまで対応しています。ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

DCアダプタ 03（別売）：自動車の中で充電する場合に使用します。

◆ 卓上ホルダを使って充電

付属の卓上ホルダ F45と別売りのACアダプタ 04を使って充電する場合は次の操作を行います。

① ACアダプタのmicroUSBプラグをBの刻印面を上にして、卓上ホルダ裏側の外部接続端子に水平に差し込む

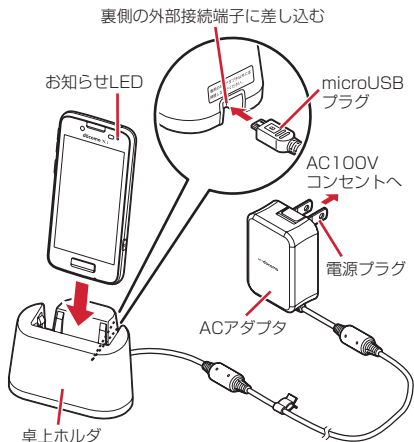
② 本端末を卓上ホルダに差し込む

- 接続方向をよくご確認の上、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

③ ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

- 充電中はお知らせLEDが赤く点灯します。お知らせLEDが点灯しない場合には、点灯するまで本端末を卓上ホルダに押し込んでください。
- 充電が完了するとお知らせLEDが消灯します。

④ 充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、本端末を卓上ホルダから取り外す

⑤ 卓上ホルダからACアダプタのmicroUSBプラグを抜く

✔お知らせ

- 本端末と卓上ホルダの間にストラップの紐などを挟み込まないようにしてください。
- 卓上ホルダ F45の入力規格は5.0V 1.5Aですが、ACアダプタ 04（出力5.0V 1.8A）と組み合わせてお使いいただくことができます。
- 卓上ホルダには指定のACアダプタ以外は接続しないでください。

◆ ACアダプタを使って充電

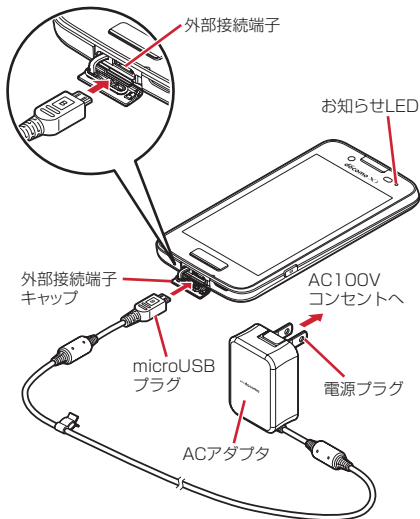
別売りのACアダプタ 04を使って充電する場合は次の操作を行います。

① **本端末の外部接続端子キャップを開け（→P22）、ACアダプタのmicroUSBプラグをBの刻印面を上にして、外部接続端子に水平に差し込む**

② **ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む**

- 充電中はお知らせLEDが赤く点灯し、充電が完了すると消灯します。

③ **充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く**

④ **本端末からACアダプタのmicroUSBプラグを抜き、本端末の外部接続端子キャップを閉じる**

◆ パソコンを使って充電

別売りのPC接続用USBケーブル T01やmicroUSB接続ケーブル 01などを使って、本端末をパソコンから充電することができます。

- パソコン上にハードウェアの検索画面や実行する動作の選択画面などが表示されたら、［キャンセル］を選択してください。

電源を入れる／切る

◆ 電源を入れる

1 お知らせLEDが緑色に点灯するまで⏻を押し続ける（2秒以上）

バイブレータが振動した後、起動画面に続いて誤操作防止用のロック画面が表示されます。

2 ロック画面で上にスワイプ

- ロック画面→P47
- セキュリティ解除方法の設定（→P121）によっては、ロック画面での認証操作になります。

❖初めて電源を入れたときは

初めて電源を入れると、ホーム画面の設定画面が表示されます。ホーム画面を選択し、画面の指示に従ってドコモサービスの初期設定を行います。

1 ホーム画面設定画面で「テレフォンホーム」／「NX!ホーム」の［このホームを使用する］→［OK］

2 ドコモサービスの初期設定画面で［進む］

3 各項目を設定→［進む］

アプリ一括インストール：契約中のドコモサービスに必要なアプリを一括でインストールすることができます。

おサイフケータイの利用：おサイフケータイを利用するための設定を行います。

ドコモアプリパスワードの設定：ドコモアプリで利用するパスワードを設定します。

- ドコモアプリパスワードの初期値は「0000」に設定されています。

位置提供設定：本端末の位置情報を提供するかを選択します。

4 ［OK］

ホーム画面が表示されます。

✔お知らせ

- ソフトウェア更新機能の確認画面が表示された場合は［OK］をタップします。
- 端末エラー情報送信の確認画面が表示された場合は［OK］をタップします。

◆ 電源を切る

1 携帯電話オプションメニューが表示されるまで⏻を押し続ける

2 ［電源を切る］→［OK］

バイブレータが振動して電源が切れます。

- ⏻を8秒以上押すと、強制的に再起動することができます。

基本操作

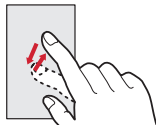
◆ タッチパネルの使いかた

本端末は、タッチパネルに直接指を触れて操作します。
- タップが認識されているときに、振動でお知らせするかを設定できます（はっきりタッチ→P111）。

❖タッチパネル利用上のご注意

タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - タッチパネルが濡れたままでの操作
  - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
  - 水中での操作

❖タップ／ダブルタップ

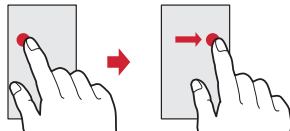
タップ：画面に軽く触れてからすぐに離します。
ダブルタップ：すばやく2回続けてタップします。

例：タップ

❖ロングタッチ

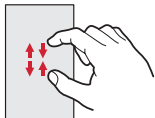
画面に長く触れます。画面に指を触れたまま次の操作を行う場合もあります。

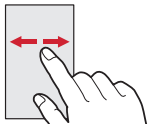
❖ドラッグ／スライド（スワイプ）／パン

ドラッグ：画面の項目やアイコンに指を触れたまま、任意の位置に動かします。
スライド（スワイプ）：画面に指を軽く触れたまま、目的の方向に動かします。
- アプリによっては、数本の指を画面に触れたまま上下に動かしたり回転させたりして操作できます。

パン：ウェブページなどで一画面では表示しきれないときに、画面そのものを任意の方向にドラッグして見たい部分を表示します。

例：ドラッグ

❖ピンチ

画面に2本の指で触れたまま、指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭くしたり（ピンチイン）します。

❖フリック

画面に触れた指をすばやく払います。

◆縦／横画面表示の切り替え

向きや動きを検知するモーションセンサーによって、本端末を縦または横に傾けて、画面表示を切り替えることができます（画面の自動回転→P113）。

- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。
- 画面の向きが変わった直後に本端末を2回振ると、画面の向きが元に戻ります（戻ってシェイク→P114）。

◆スクリーンショット

本端末に表示されている画面を画像として保存します。

- 画面によっては画像を保存できない場合があります。

1 **⏻と▼を同時に押す（1秒以上）**

スクリーンショットが保存され、ステータスバーに▣が表示されます。

- 通知パネルを開いてスクリーンショットの通知をタップすると、画像を確認できます。

文字入力

ディスプレイに表示されるソフトウェアキーボードを使って、文字を入力します。

- ここでは、主にNX!inputでの入力方法について説明します。
- 他の入力方法に切り替えることもできます。→P39
- 外付けキーボードを接続して入力ができます。→P42

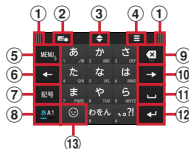
◆ キーボードの使いかた

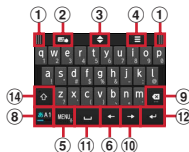
テンキーキーボード、QWERTYキーボード、手書き入力で文字を入力できます。

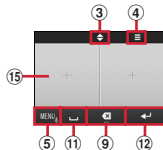
- 各キーボードから、音声入力を起動できます。→P38
- 「手書き入力の設定」で上書き手書き入力が有効に設定されているときは、テンキーキーボードやQWERTYキーボードが表示されている状態で手書き入力ができます。→P40

■ テンキーキーボード

1つのキーに複数の文字が割り当てられています。

- フリック入力、ケータイ入力、ジェスチャー入力、2タッチ入力から入力方式を選択できます。→P38

■ QWERTYキーボード

ローマ字入力で入力します。

■ 手書き入力

手書きで文字を入力します。

- 設定や状況により、表示が変わるキーがあります。

① 左右にドラッグしてキーボードの横幅を変更
② 上書き手書き入力の有効／無効
③ 上下にドラッグしてキーボードの高さを調節
④ サイズ調節バーのメニューを表示
⑤ MENU：メニューの表示
- メニューを表示すると、次の操作ができます。
  テンキー：テンキーキーボードへ切り替え
  QWERTYキー：QWERTYキーボードへ切り替え
  手書き：手書き入力へ切り替え
  全画面手書き：全画面での手書き入力へ切り替え
  上書き手書き：上書き手書き入力の有効／無効

定型文：定型文の表示
記号：記号一覧の表示
顔文字：顔文字／絵文字／絵文字D一覧の表示
ATOKダイレクト：電話帳／ATOKダイレクトの引用、パスワードマネージャーの引用
設定：NX!inputとATOKの設定→P40
テーマ切り替え：キーボードのデザインを変更
MENU（ロングタッチ）：音声入力の起動
⟲：キーに割り当てられた文字を逆順に表示

⑥ カーソルを左に移動
⑦ 記号一覧の表示
⑧ かな／英字／数字入力モードの切り替え
⑨ Backspace（カーソルの左側の文字を削除）
- 文字確定後にキーを左にドラッグすると［左全削除］／［文（単語）削除］、上にドラッグすると［右全削除］／［Delete］（カーソルの右側の文字を削除）などの操作ができます。

⑩ カーソルを右に移動
⑪ ␣：空白の入力
変換：文字の変換
⑫ ↵：確定または改行
- 文字確定後にキーを左にドラッグすると、［確定取消］の操作ができます。

戻る：記号一覧や顔文字／絵文字／絵文字D一覧の表示から文字入力画面に戻る（パネル切り替え）
⑬ ☺：顔文字／絵文字／絵文字D一覧の表示
゛゜小：濁音付きの文字／半濁音付きの文字／拗音／促音に変換
A/a：英字の大文字と小文字の切り替え
⑭ 英字の大文字と小文字の切り替え
- タップするたびに、大文字→大文字固定→小文字に切り替わります。

⑮ 手書き入力領域：指で文字を書いて入力
- 文字を入力すると、入力領域の上部に認識された文字が表示されます。認識された文字をタップして表示される補正候補一覧から文字を選択できます。補正候補一覧の上で文字を書き直すこともできます。

✔お知らせ
- キーボードを非表示にするには、﹀をタップします。再度キーボードを表示するには、文字入力欄をタップします。

❖テンキーキーボードの入力方式

テンキーキーボードでは、次の4つの入力方式を利用できます。
- 「テンキーの設定」で入力方式を選択して利用します。→P40

■ フリック入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタッチしたままにすると、キーの上に文字（フリックガイド）が表示されます。指を離さず目的の文字の方向にフリックします。
- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、フリックしたあと゛゜小を1回または2回タップします。

■ ケータイ入力

入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。

■ ジェスチャー入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタッチしたままにすると、キーの周りに文字（ジェスチャーガイド）が表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。

- 濁音／半濁音／拗音／促音を入力するには、キーから指を離さず下に1回または2回スライドします。キーの周りに濁音／半濁音／拗音／促音のジェスチャーガイドが表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。

例：「ぱ」を入力する場合

- 英字入力モードの場合は、キーをタッチした指を離さず下にスライドすると、大文字／小文字の切り替えができます。

■ 2タッチ入力

1回目に入力したい文字が割り当てられているキーをタップし、2回目に目的の文字をタップします。

◆ 他の入力方法に切り替え

Androidキーボードなど、他の入力方法に切り替えて入力できます。

- Androidキーボードは日本語入力に対応していません。
- 「NX!input 中国語（簡体字）」または「NX!input 韓国語」に切り替えたときは、手書き入力でのみ入力できます。

1 ホーム画面で →[本体設定]→ユーザー設定の[その他...]→[言語と入力]

2 [デフォルト]→入力方法を選択

✔お知らせ

- ATOKの日本語キーボードに戻すには、入力方法の一覧で［NX!input］を選択します。

◆ NX!inputとATOKの設定

各キーボードの入力中の動作やデザインなどについて設定します。また、単語の登録（ユーザー辞書）や定型文の編集、設定の初期化などもできます。

1 **ホーム画面で☰→[本体設定]→ユーザー設定の[その他...]→[言語と入力]**

2 **[NX!input]の⚙をタップ**

3 **各項目を設定**

操作音・バイブ：キー操作音、キー操作バイブを設定します。

テンキーの設定：入力方式（フリック入力／ケータイ入力／ジェスチャー入力／2タッチ入力）、フリック入力の設定（トグル入力、フリックガイド、フリック感度、修飾キーフリック、英字キーフリック）、ケータイ入力の設定（自動カーソル）、ジェスチャー入力の設定（トグル入力、ジェスチャーガイド）、文字削除キーを設定します。

QWERTYキーボードの設定：英字は確定入力、数字キー表示（縦画面／横画面）を設定します。

手書き入力の設定：上書き手書き入力（テンキー、QWERTYキーボード）、枠数（縦画面／横画面）、枠数（全画面縦／全画面横）、確定速度、線の設定（通常手書き／全画面手書きの太さ、色）を設定します。

共通の設定：日本語入力時／英語入力時／数字入力時のキーボードの選択、推測変換、未入力時の推測候補表示、学習機能、スペースは半角で出力、自動スペース入力、文字削除フリック、バックキー、自動全画面化（横画面）、タッチ位置補正、ハードキーボードを優先、マルチタッチを設定します。

- アプリによっては、文字入力時に推測変換候補が表示されません。

候補一覧設定：候補一覧の文字サイズ、表示行数（縦画面／横画面）、候補表示タイミングを設定します。

デザイン：画面デザインのテーマ、アニメーション、キーボードのサイズ調整を設定します。

ユーティリティ：辞書ユーティリティでユーザー辞書の登録や編集、定型文ユーティリティで定型文の登録や編集、ATOK SyncでWindows／Mac版ATOKで登録した単語を共有します。

初期化：設定の初期化、学習データの初期化を行います。

- ［設定の初期化］を実行しても学習データや編集したユーザー辞書／定型文は削除されません。

◆テキスト編集

文字入力欄、Webサイト、受信メールなどのテキストコピー、文字入力欄でのテキストの切り取り、貼り付けの操作ができます。

- アプリの種類によって、操作方法が異なる場合があります。

❖テキストの切り取り／コピー

■ 文字入力欄での切り取り／コピー

- アプリの種類によってアイコンは異なります。

1 テキストをロングタッチ

選択された語句がハイライト表示されます。

- テキスト範囲の両端にあるつまみをスライドすると選択範囲を調節できます。
- すべてを選択するには［すべて選択］をタップします。
- 選択範囲を解除するには、選択範囲外をタップします。

2 [切り取り]／[コピー]

■ Webサイトなどでコピー

1 テキストをロングタッチ

テキスト範囲がハイライト表示されます。

- テキスト範囲の両端にあるつまみをスライドすると選択範囲を調節できます。
- すべてを選択するには［すべて選択］をタップします。
- 選択範囲を解除するには、選択範囲外をタップします。
- Webサイトによっては、表示されるメニューから［テキストを選択してコピー］をタップなどの操作をします。

2 [コピー]

クリップボードにコピーされます。

❖テキストの貼り付け

1 貼り付け位置にカーソルを移動してロングタッチ→[貼り付け]

カーソル位置にテキストが貼り付けられます。

◆ 外付けキーボードの利用

本端末と、USBキーボードやBluetoothキーボード（HID／SPP）を接続して文字入力ができます。

- 101キーボード、104キーボード、106キーボード、OADG 109キーボード、OADG 109Aキーボードに対応しています。

❖外付けキーボードの接続

- Bluetoothキーボードの接続方法→P139

■ USBキーボードの接続

1 USBキーボードと本端末の外部接続端子を接続

❖外付けキーボードの設定

1 ホーム画面で▤→［本体設定］→ユーザー設定の［その他...］→［言語と入力］

- 外付けキーボードが接続されていると、物理キーボード欄が表示されます。

2 物理キーボードで任意のキーボードを選択→［キーボードレイアウトの設定］→任意のキーボードレイアウトにチェック→⮌→任意のキーボードレイアウトを選択

初期設定

本端末を使うために最初に設定が必要な項目をまとめて設定できます。

- 各設定はいつでも変更できます。

1 ホーム画面で▤→［本体設定］→［初期設定］

2 各項目を設定

スライドイン機能設定：画面の端から指をスライドさせてアプリを起動したり、画面をキャプチャしたりすることができる機能を設定します。→P129

セキュリティ解除方法：画面ロックの解除時などで使用する認証操作の種類を設定します。→P121

かんたんお引越し：microSDカードを利用して携帯電話のデータを移行できます。→P42

❖かんたんお引越し

microSDカードに保存した携帯電話（富士通／東芝製のFOMA端末）のデータを本端末に移行します。

- 電話帳データ、リダイヤル／着信履歴、スケジュール帳、ブックマーク、アラーム、受信／送信／未送信メールのデータを移行できます。

1 ホーム画面で▤→［本体設定］→［初期設定］→［かんたんお引越し］

各データの移行先の案内を確認した後、［OK］をタップします。以降は画面の案内に従って操作してください。

- 次回起動時に移行先の案内画面を表示しない場合は、［OK］をタップする前に［以降表示しない］にチェックを付けてください。

✔**お知らせ**

- 通話履歴は移行元のリダイヤル／着信履歴で上書きされるため、データ移行前に本端末に保存されていた通話履歴は削除されます。
- 移行した受信／送信／未送信メールを表示するには、「ドコモメール」を起動し、☰→［メール取り込み］をタップして、取り込み先を選択してください。
- 移行したスケジュールを表示するには、移行先のdocomoアカウントと同期してください。
- 富士通／東芝製のFOMA端末であっても、ご使用の機種によってはかんたんお引越しに対応していないため、データを移行できないことがあります。

❖その他の初期設定について

必要に応じて、次の項目を設定してください。

- Eメールのアカウントの設定→P71
- NX!メールのアカウントの設定→P75
- アクセスポイント（APN）の設定→P103
- Wi-Fi機能の設定→P104

お知らせLED

充電中や不在着信など、本端末の状態をお知らせLEDの点灯や点滅で通知します。

■ 主な通知の種類と点灯／点滅について

本端末起動時：緑色1回点灯
充電中：赤色点灯
充電異常：赤色点滅
新着SMS：点滅色は「メッセージ」で設定→P71
電話着信中、不在着信、伝言メモ：点滅色は「着信LED」で設定→P111

✔**お知らせ**

- アプリ利用時の点灯／点滅は、アプリによって設定や動作などが異なります。

画面表示／アイコン

◆ ナビゲーションバーのアイコン

画面下部のナビゲーションバーに、画面を操作するためのアイコンが表示されます。アイコンの名称と動作は次のとおりです。

バックアイコン
タップ：直前の画面に戻る、アプリの終了
メニューアイコン
タップ：現在の画面で使用できる設定などの表示

◆ ステータスバーのアイコン

ステータスバーに表示される通知アイコンとステータスアイコンで様々な状態を確認できます。

通知アイコン　ステータスアイコン
ステータスバー
10:00

■ 主な通知アイコン

：新着Eメール
：新着ドコモメール
：新着NX!メール
：新着SMS
：新着エリアメール
：SMSの送信失敗
：Wi-FiがONでWi-Fiネットワークが利用可能
：着信中／通話中
：不在着信
：通話保留中
：伝言メモあり
：留守番電話サービスの伝言メッセージ
／：データのアップロード完了／ダウンロード完了
：φ3.5イヤホン接続中（端末のマイクからの入力）
：φ3.5イヤホン接続中（イヤホンマイクからの入力）
：VPN接続
／／：ソフトウェア更新あり／完了／継続不可
：NX!エコ
：スクリーンショットで画像を保存
：あわせるズームで画面拡大中
：戻ってシェイクで画面固定中
：GPS測位中
：おまかせロック設定中
：本端末のメモリの空き容量低下
：アプリ電池診断（電池を消耗しているアプリを検出）
：エラー／警告メッセージあり

■ 主なステータスアイコン

：電波状態
：圏外
：国際ローミング中
／／：LTE／3G／GSM使用可能
- 通信中は△（アップロード時）▽（ダウンロード時）が白く表示されます。

：機内モード設定中
：Wi-Fi接続中
- 通信中は△（アップロード時）▽（ダウンロード時）が白く表示されます。

：Bluetooth機能ON
：Bluetooth機器接続中
：おサイフケータイ ロック設定中
：伝言メモ設定中
：伝言メモ件数10件（最大）
：スピーカーフォンON
：マイクミュート
：着信音量0
：バイブレーションON
：公共モード（ドライブモード）
：マナーモード（通常マナー）
：マナーモード（サイレントマナー）
：マナーモード（アラームONマナー）
：マナーモード（オリジナルマナー）
：電池残量0～4%（要充電）
：電池残量5～15%（ほとんどない）
：電池残量16～30%（少ない）
：電池残量31～79%
- 31～79%にかけて、残量表示（水色の範囲）が変化します。

：電池残量80～100%（十分）
：充電中
（白）：持ってる間ON設定中（動きを検出して画面点灯中）
（グレー）：持ってる間ON設定中
：かな入力モード
：英字入力モード
：数字入力モード
：手書き入力モード
：絵文字／顔文字／記号、定型文入力
：IP通話アプリの音質サポート

◆ 通知パネル

通知パネルを開くと、通知アイコンの情報を確認したり設定を行ったりすることができます。

❖通知パネルを開く

1 ステータスバーを下方向にフリック

① **設定スイッチ**
設定スイッチをタップすると、各設定を切り替えることができます。また、設定スイッチの機能割り当ては変更できます。→P46

② **通知**
各通知をタップすると、詳細を確認したり必要な設定を行ったりすることができます。
- ［通知を消去］をタップすると、通知パネル内の表示が消去されます。通知内容によっては［通知を消去］が表示されない場合があります。

③ **タブ**

✔お知らせ
- 通知パネルでをタップすると、設定メニューを表示できます。
- 不在着信の通知の下に表示されている［発信］［SMS］をタップして、電話をかけたりSMSを送信したりできます。ただし、不在着信が2件以上ある場合は表示されません。

❖通知パネルを閉じる

1 通知パネル下のタブを上方向にフリック、または

❖設定スイッチを変更する

設定スイッチの機能割り当てを変更します。

1 通知パネルの設定スイッチをロングタッチ

2 パネル選択画面で機能を選択

◆ ディスプレイの表示が消えたら

本端末を一定時間操作しなかったときは、スリープ／持ってる間ONの設定に従ってディスプレイの表示が消え、スリープモードになります。

1

スリープモードが解除され、ロック画面が表示されます。

手動でスリープモードにする：

✔**お知らせ**

- 指紋センサーを押しても、スリープモードにしたり解除したりできます。
- スリープモード中に電話着信があると、スリープモードは解除されます。

◆ロック画面が表示されたら

1 ロック画面で上にスワイプ

ロックが解除されます。

- セキュリティ解除方法の設定（→P121）によっては、ロック画面での認証操作になります。

✔**お知らせ**

- 指紋センサーに指をスライドしても、ロック画面を解除できます。指紋センサーを押してスリープモードを解除した後に操作する場合は、センサーから一度指を離した後、指をスライドさせてください。
- お買い上げ時、ロック画面はスリープの設定（→P112）に従って15秒後にスリープモードになります。ただし、スリープの設定が「15秒」以外の場合、ロック画面は30秒後にスリープモードになります。
- セキュリティ解除方法の設定が「スワイプ」の場合は、ロック画面で通知パネルを表示できます。

❖ロック画面のウィジェット

お買い上げ時はロック画面の左端から右にフリックすると、ウィジェット追加画面が表示されます。

- ウィジェット追加画面からウィジェット画面を追加したり、はじめに表示されるロック画面を別のウィジェット画面に変更したりできます。

ウィジェット画面の追加：**ウィジェット追加画面で［+］→ウィジェットを選択**

- ウィジェット追加画面の右側に追加したウィジェット画面が配置されます。

はじめに表示されるロック画面の変更：**ロック画面にしたいウィジェット画面を表示→ウィジェット画面をロングタッチ→一番右側までドラッグ**

ウィジェット画面の並び替え：**ウィジェット画面をロングタッチ→移動先までドラッグ**

ウィジェット画面の削除：**ウィジェット画面をロングタッチ→［✕削除］までドラッグ**

◆ スライドインランチャー／キャプメモ

画面の端にあるスライドスポット（スライドを始める位置）から指をスライドすることで、スライドインランチャーとキャプメモを呼び出すことができます。

- スライドイン機能設定→P129

❖スライドインランチャー

スライドインランチャーのショートカットからアプリを起動します。

1 スライドスポットから画面の中央方向にスライドし、スライドインランチャーのショートカットで指を離す

- お買い上げ時は画面の左下隅のスライドスポットにスライドインランチャーが設定されています。
- スライドインランチャーと同時に呼び出されるの位置で指を離すと、スライドイン機能設定を起動できます。

2 目的の操作を行う

❖キャプメモ

表示されている画面をキャプチャして、画像として編集したり、他のアプリと共有したりできます。

- 画面によってはキャプチャできない場合があります。

1 スライドスポットから画面の中央方向にスライドし、キャプメモ領域で指を離す

- お買い上げ時は画面の右下隅のスライドスポットにキャプメモが設定されています。

2 目的の操作を選択→

- 画像は、ギャラリーのスクリーンショットに保存されます。
- ブラウザ表示中にWebページをキャプチャした場合は、URLの情報も同時に取得されます。URLの情報を共有時に貼り付けるかどうかは、画像編集画面で→［URL共有設定］で設定できます。

◆ 画面のカスタマイズ

パターン認証画面、指紋認証画面、電話発着信画面、キーボード（NX!input）を好みのデザインに変更できます。

1 ホーム画面で→［本体設定］→［ディスプレイ］→［画面のカスタマイズ］

2 各項目を設定

ホーム画面（テレフォンホーム）

ホーム画面にアプリのショートカットやウィジェットを貼り付けて起動することができます。ホームアプリが「テレフォンホーム」の場合は、次の画面が表示されます。

① ステータスバー→P44
ステータスバーを下方向にフリックすると、通知パネルが表示されます。→P46

② Google／電話／メール／電話帳
各アプリを起動したり、ウィジェットを利用したりできます。
- 移動、削除、変更はできません。
- 通話中は、「電話」の下に「通話中」と表示されます。

③ カスタマイズエリア
アプリのショートカットやウィジェットを配置できます。

④ ナビゲーションバー→P44

⑤ MENUボタン
メニュー画面を呼び出します。→P50

✔お知らせ
- ホーム画面で☰をタップすると、アプリケーション管理（→P117）、本体設定（→P99）、アプリ一覧（→P51）などを利用できます。

◆ 発着信履歴の表示

1 ホーム画面を左右にフリック

左にフリックすると発信履歴画面が表示され、右にフリックすると着信履歴画面が表示されます。
- 画面右下の［電話帳］をタップすると、電話帳を利用できます。

◆ ホーム画面のカスタマイズ

ホーム画面にアプリのショートカットやウィジェットを貼り付けることができます。

ホーム画面に追加：**ホーム画面で［MENU］→［アプリ］→アプリ／ウィジェットをロングタッチ→移動先までドラッグ**
- 初回起動時は操作ガイドが表示されますので、［OK］をタップします。次回以降、操作ガイドを表示しない場合は、［OK］をタップする前に［以後表示しない］にチェックを付けてください。

移動：**ショートカット／ウィジェットをロングタッチ→移動先までドラッグ**

ホーム画面から削除：**ショートカット／ウィジェットをロングタッチ→🗑までドラッグ**

メニュー画面（テレフォンホーム）

メニュー画面を呼び出し、登録されているアプリを起動します。

- メニュー画面をカスタマイズすることはできません。

1 ホーム画面で[MENU]

メニュー画面が表示されます。

アプリ		参照
メール	ドコモメール	69
	NX!メール	75
	メール	71
	メッセージ	69
インターネット		78
アプリ	プリインストールされているアプリの一覧が表示されます。	51
カメラ		84
ギャラリー		90
便利ツール	「電卓」「メモ」などの便利なアプリの一覧が表示されます。	51
電話機能	電話	58
	ドコモ電話帳	65
本体設定		99
地図		93
スケジュール	スケジュール	94
	予定表	―
プロフィール		68
ドキュメントビューワー		96

◆ プリインアプリ一覧

docomo Wi-Fiかんたん接続：ドコモの公衆無線LANサービス「docomo Wi-Fi」を便利に利用するためのアプリです。Wi-Fiエリア内で、自動でWi-Fiへの接続ができます。また、Wi-Fiエリアを検索することもできます。

Document Viewer：Office文書やPDFファイルなどを表示できます。→P96

dメニュー：「dメニュー」へのショートカットアプリです。dメニューでは、iモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探すことができます。→P83

ICタグ・バーコードリーダー：ICタグとバーコードを読み取るためのアプリです。

iコンシェル：iコンシェルを利用するためのアプリです。iコンシェルは、ケータイがまるで「執事」や「コンシェルジュ」のように、あなたの生活をサポートしてくれるサービスです。

KSfilemanager：本端末やmicroSDカードなどのデータを管理できるアプリです。

NX!メール：フォルダ分けでメールを管理できます。→P75

あんしんスキャン：ウイルス検知、個人データを利用するアプリの確認支援、危険サイトアクセス時の注意喚起などにより、スマートフォンを安心してご利用いただくためのアプリです。

遠隔サポート：「スマートフォンあんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「スマートフォンあんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの端末の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。→P161

音声レコーダー：音声を録音できます。

カメラ：静止画や動画を撮影します。→P84

ギャラリー：カメラで撮影したり、Webページからダウンロードしたりして、microSDカードや本体メモリに保存した静止画や動画を表示できます。→P90

健康生活日記：携帯電話とパソコンを使って、楽しくからだをデザインする健康サービスです。

災害用キット：緊急速報「エリアメール」の受信メール確認と各種設定、災害用伝言板にメッセージの登録や確認などができるアプリです。

しゃべってコンシェル：「調べたいこと」や「やりたいこと」などを端末に話しかけると、その言葉の意図を読み取り、最適な回答を表示するアプリです。

スケジュール：スケジュールを作成・管理できるアプリです。iコンシェルサービスに対応しています。→P94

スッキリ目覚まし：設定した時刻よりも早い時間帯で、快適に起きられる時刻に鳴動する目覚ましを設定できます。→P94

赤外線：電話帳などのデータを赤外線通信により送受信できるアプリです。→P136

設定：本端末の各種設定を行います。→P99

地図アプリ：現在地の表示や周辺の検索、経路検索などを行います。→P93

データ保管BOX：データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で手軽に管理できるサービスです。

電卓：加算、減算、乗算、除算などの計算ができます。→P95

電話：電話を利用します。→P58

ドコモバックアップ：「ケータイデータお預かりサービス」、「電話帳バックアップ」もしくは「SDカードバックアップ」をご利用いただくためのアプリです。電話帳などのデータをバックアップしたり、復元したりすることができます。→P97

ドコモメール：ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができるアプリです。送受信したメールはクラウドに保存されるので、複数のデバイスで同じメールを閲覧したり、機種変更時のメールデータ移行が簡単に行えます。また、絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。→P69

ドコモ電話帳：電話帳を利用します。→P65

取扱説明書：本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。

トルカ：トルカの取得・表示・検索・更新などができます。→P83

ブラウザ：パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。→P78

メール：お使いの環境に合わせたメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。→P71

メッセージ：SMSの送受信ができます。→P69

メディアプレイヤー：音楽や動画を再生することができるアプリです。→P91

メモ：メモを作成・管理できるアプリです。ｉコンシェルサービスに対応しています。

予定表：カレンダーの表示とスケジュールの登録ができます。

✔お知らせ

- このプリインアプリ一覧は、お買い上げ時にアプリ一覧画面に表示されているものです。
- プリインアプリによっては、別途お申し込み（有料）が必要なものがあります。
- プリインアプリによっては、アンインストールできる場合があります。
- プリインアプリによっては、初回起動時にドコモのサイトなどにアクセスしてインストールが必要な場合があります。

ホーム画面（NX!ホーム）

ホーム画面にアプリのショートカットやウィジェットを貼り付けることができます。ホームアプリが「NX!ホーム」の場合は、次の画面が表示されます。

① **ステータスバー→P44**
ステータスバーを下方向にフリックすると、通知パネルが表示されます。→P46

② **カスタマイズエリア**
ショートカット、ウィジェット、フォルダなどを配置できます。

③ **ドック**
ホーム画面に表示されます。
- 通話中はが表示されます。

④ **インジケータ**
ホーム画面の現在表示位置を示します。左右にフリックして表示を切り替えます。

⑤ **ナビゲーションバー→P44**

✔**お知らせ**
- ホームアプリの切り替えかた→P57
- ホーム画面でをタップすると、アプリケーション管理（→P117）、本体設定（→P99）、手書き検索（→P96）などを利用できます。

◆ ホーム画面のカスタマイズ

ホーム画面にアプリのショートカットやウィジェットなどを自由に配置できます。

アプリやウィジェットをホーム画面に追加：**ホーム画面で→アプリ／ウィジェットをロングタッチ→移動先までドラッグ**
- 操作の途中で追加をやめる場合は［キャンセル］までドラッグします。
- ウィジェットによっては、ロングタッチしてサイズを変更できます。

アイコン変更：**ホーム画面で→［アイコン変更］→変更するアイコンを選択→アイコン一覧でアイコンを選択**
- 元のアイコンに戻す場合は、アイコン一覧で［初期値に戻す］をタップします。

フォルダ作成：**ショートカットをロングタッチ→他のショートカットの上にドラッグ**
- 重ね合わせたショートカットが格納されたフォルダが作成されます。

フォルダ名変更：**フォルダをタップ→吹き出しの中のフォルダ名をタップ→フォルダ名を入力→［×］**

移動：**ショートカット／ウィジェット／フォルダをロングタッチ→移動先までドラッグ**

ホーム画面から削除：**ショートカット／ウィジェット／フォルダをロングタッチ→までドラッグ**

✔**お知らせ**

- ウィジェットをホーム画面に追加するには、カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチして［ウィジェット］をタップしても追加できます。
- ドック（→P53）も同様に操作できますが、■は変更／移動／削除ができません。

◆ 壁紙／ホームテーマの変更

ホーム画面の壁紙やテーマを変更できます。

壁紙の選択：**カスタマイズエリアの空き領域をロングタッチ→［壁紙］→［ギャラリーの画像］／［ライブ壁紙］／［壁紙］**

- 必要に応じて項目の選択や設定を行ってください。

ホームテーマ変更：**ホーム画面で■→［ホームテーマ変更］→ホームテーマのサムネイルを選択→［ホームテーマに設定］**

- テーマに合わせてデザインされたホーム画面に変更されます。

✔**お知らせ**

- ホーム画面で■→［壁紙］をタップしても、壁紙を選択できます。
- パターン認証画面、指紋認証画面、電話発着信画面、キーボード（NX!input）を変更するには、「画面のカスタマイズ」から設定します。→P48

◆ ホーム設定

ホーム画面の追加／削除や、ホーム画面の表示に関する設定を行います。

- 手書き検索設定→P96

❖ホーム画面の追加／削除

最大7つのホーム画面を設定できます。

1 **ホーム画面で■→［ホーム設定］→［ページ編集］**

- ホーム画面の任意の位置で、ピンチインしたり上方向にフリックしたりしても、同様に操作できます。

2 **目的の操作を行う**

追加：**［+］**

並べ替え：**ホーム画面のサムネイルをロングタッチ→移動先にドラッグ**

削除：**ホーム画面のサムネイルをロングタッチ→■までドラッグ→［OK］**

表示：**ホーム画面のサムネイルをタップ**

❖ホーム画面の表示設定

ホーム画面で通知や操作をより確かめやすくするための、表示に関する設定を行います。

1 ホーム画面で▤→[ホーム設定]→[表示設定]

2 項目にチェック／チェックを外す

新着通知表示：ドックのアプリに新着情報を表示するかを設定します。

ステータスバータブ表示：ステータスバーの下にタブを表示するかを設定します。

スライドナビ表示：ホーム画面を切り替えたりタップしたりしたときに、現在表示位置の左右にホーム画面があることを示すガイドを表示するかを設定します。

タッチヘルパーガイド表示：カスタマイズエリアをタップまたはロングタッチしたときに、検出されたことが画面で確認できるようにするかを設定します。

❖ホーム画面ループ設定

ホーム画面の端を表示しているときにループさせるかを設定します。

1 ホーム画面で▤→[ホーム設定]→[ホーム画面ループ設定]

2 [ループする]／[ループしない]

アプリ一覧画面（NX!ホーム）

アプリ一覧画面を呼び出し、登録されているアプリを起動したり、アプリの配置を変更したりできます。

1 ホーム画面で▦

- 初回起動時は操作ガイドが表示されますので、［OK］をタップします。

① **アプリ／ウィジェットの切り替えタブ**

② **アプリ／ウィジェットの一覧**

③ **インジケータ（タブごとに表示）**

アプリ／ウィジェット一覧の現在表示位置を示します。左右にフリックして表示を切り替えます。

④ **表示順変更（ソート）アイコン**

アプリ／ウィジェットの表示順を変更します。

✔お知らせ

- アプリ一覧画面で▤を押すと、アプリケーション管理（→P117）、本体設定（→P99）などを利用できます。

◆ アプリ一覧画面の管理

1 **アプリ一覧画面表示中に目的の操作を行う**

アプリ表示順の変更：→［名前順］／［ダウンロード順］／［カテゴリ］／［カスタマイズ］

アプリのアンインストール：アプリをロングタッチ→［アンインストール］までドラッグ→［OK］

表示パターン変更：→［表示パターン］→［横4×縦4］／［横4×縦5］／［横4×縦6］／［横5×縦6］

- 表示順を［カテゴリ］に設定している場合は表示パターンを変更できません。

タイル／リスト表示変更：→［タイル／リスト表示］→［タイル表示］／［リスト表示］

■ アプリ表示順を［カテゴリ］に設定した場合

アプリ一覧画面で→［並び順の編集］をタップすると、編集画面が表示され、アプリの並び順を自由に変更したり、カテゴリを追加したりできます。

アプリの並び替え：編集画面でアプリをロングタッチ→移動先または画面下のサムネイルにドラッグ→［完了］→［OK］

カテゴリの追加：編集画面で→［ページ追加］→［左隣に追加］／［右隣に追加］→カテゴリ名を入力→［OK］→他のカテゴリでアプリをロングタッチして追加したカテゴリにドラッグ→［完了］→［OK］

- アイコンを配置しないで操作を終了すると、アイコンが配置されていないページの削除画面が表示されます。

リセット：編集画面で→［並び順のリセット］→［OK］

■ アプリ表示順を［カスタマイズ］に設定した場合

アプリ一覧画面で→［並び替え］をタップすると、編集画面が表示され、アプリの並び順を自由に変更できます。

アプリの並び替え：編集画面でアプリをロングタッチ→移動先または画面下のサムネイルまでドラッグ→［完了］→［OK］

リセット：編集画面で→［並び順のリセット］→［OK］

❖アプリケーション非表示設定

選択したアプリを非表示にできます。

- NX!ホームのアプリ一覧画面でのみ非表示になります。

1 **アプリ一覧画面で→［アプリケーション非表示設定］**

アプリ選択画面が表示されます。

- 初回起動時はアプリケーション非表示設定使い方ガイドが表示されます。次回以降表示させない場合は、［このガイドを今後表示しない］にチェックを付けて［OK］をタップします。

2 **非表示にするアプリにチェック**

3 **［OK］→［OK］**

チェックしたアプリが非表示になった状態で、アプリ一覧画面が表示されます。

✔お知らせ

- アプリ一覧画面で☰→［アプリケーション非表示設定］をタップすると、アプリ一覧画面から非表示になったアプリにチェックが付きます。非表示の設定を解除するには、アプリのチェックを外して［OK］→［OK］をタップします。すべてのアプリを表示するには、［全解除］→［OK］→［OK］をタップします。
  - アプリ表示順を［カテゴリ］に設定中は、非表示にしたアプリが［ダウンロード／その他］のカテゴリに配置されます。
  - アプリ表示順を［カスタマイズ］に設定中は、非表示にしたアプリが右端の画面に配置されます。

❖アプリ一覧ループ設定

アプリ一覧画面の端を表示しているときにループさせるかを設定します。

1 アプリ一覧画面で☰→［アプリ一覧ループ設定］

2 ［ループする］／［ループしない］

タスク管理

ホームキーを押すなどしてアプリの操作を中断すると、バックグラウンドで起動したままの状態になる場合があります。また、操作によっては複数のアプリが実行中の状態になることがあります。本機能より実行中のアプリを確認したり、表示を切り替えたり、終了したりできます。

1 ホームキーを1秒以上押す

最近使ったアプリが表示されます。

- サムネイルをタップするとアプリを表示できます。
- サムネイルをロングタッチすると、リストから削除したりアプリ情報を確認したりできます。
- サムネイルを左右にフリックするとアプリを終了できます。すべてのアプリを終了するには［すべて終了］をタップします。

✔お知らせ

- 最近使ったアプリの表示／非表示を設定できます。→P125

ホームアプリの切り替えかた

ホームキーを押して表示される画面（ホーム画面）を変更します。

1 ホーム画面で☰→［本体設定］→［ディスプレイ］→［ホーム画面切替］

2 切り替えるホームアプリを選択

電話

電話をかける

1 **ホーム画面で[電話]**

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で→［電話］をタップします。

2 **[ダイヤル]→電話番号を入力**

- 電話番号を訂正する場合はをタップします。

発信者番号通知：→［発信者番号通知］→［通知する］／［通知しない］

- 発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。

プレフィックス選択：→［プレフィックス選択］→プレフィックスを選択

- あらかじめ、プレフィックス設定（→P64）で登録した番号（プレフィックス）を選択して、電話番号の先頭に付加します。

2秒間の停止を追加／待機を追加：→［2秒間の停止を追加］／［待機を追加］→追加番号を入力

- 銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要がある場合、あらかじめメインの電話番号と追加番号を一度に入力して発信するためには、［2秒間の停止を追加］または［待機を追加］を使用します。
  2秒間の停止「,」：メインの電話番号をダイヤルした後、自動的に2秒間一時停止してから追加番号をダイヤルします。
  待機「;」：メインの電話番号をダイヤルした後、自動的に待機し追加番号の確認メッセージが表示されます。［はい］をタップすると追加番号をダイヤルします。

3

4 **通話が終了したら[終了]**

✔お知らせ

- 通話中に近接センサーに顔などが近づくとディスプレイの表示が消え、離れると再表示されます。
- 本体にイヤホンを挿入している、またはスピーカーフォンで通話を行っている場合、近接センサーを停止します。そのため、センサーに顔などが近づいてもディスプレイの表示は消えません。
- 通話中に髪の毛の上から受話口を当てている場合、近接センサーが正常に動作しなくなり、通話が遮断される場合があります。
- 発信者番号通知サービスで通知／非通知を一括設定できます。→P64
- 通話中にプッシュ信号を送信する場合は、「通話中の操作」をご覧ください。→P60

◆ 緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上保安本部への通報	118

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
  また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 日本国内ではドコモminiUIMカードを取り付けていない場合、PINコードの入力画面、PINコードロック・PUKロック中、暗号化後の復号化画面、ソフトウェア更新中は緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 海外で110番、119番、118番を発信すると緊急呼通話中画面が表示される場合がありますが、通常発信されています。
- 登録外着信拒否が有効な状態で緊急通報を行うと、登録外着信拒否は無効に変更されます。

◆ 国際電話（WORLD CALL）

「＋」を入力して国際電話をかけます。「0」をロングタッチすると「＋」が入力されます。

- 海外利用→P146
- WORLD CALLの詳細は、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

1 ホーム画面で[電話]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で→［電話］をタップします。

2 [ダイヤル]→「0」をロングタッチ→「国番号-地域番号（市外局番）の先頭の0を除いた電話番号」を入力→

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 国リストから選択して「＋国番号」を入力する場合は、地域番号（市外局番）と電話番号を入力し、→［国際電話発信］→国を選択します。

電話を受ける

1 電話がかかってくる

▲▼：着信音、バイブレータの動作を止める

2 [操作開始]→[通話]

着信拒否：[操作開始] → [拒否]

クイック送信：[操作開始] → [拒否してSMS送信] →メッセージを選択

応答保留：☰→ [応答保留]

伝言メモ録音：☰→ [伝言メモ]

3 通話が終了したら[終了]

✔お知らせ

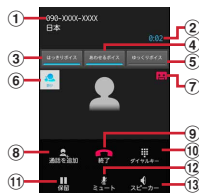
- 電話に出られなかったときは、ステータスバーにアイコン（→P44）が表示されます。通知パネル（→P46）を開いて不在着信を確認したり、発信やSMSを送信したりできます。

通話中の操作

通話中画面では次の操作ができます。

- 発信中／通話中に▲▼で、通話音量の調節をすることができます。
- 通話中に[📷]を1秒以上押すと、手動で通話メモを開始／終了することができます。→P63

① **名前や電話番号、地域**

② **通話時間**

③ **はっきりボイスのON／OFF**

相手の聞こえにくい声を強調したり、受話音を整えたりして聞き取りやすくします。動作中は、行動を認識して、はっきりボイスよりさらに最適な音質（ぴったりボイス）に調整します。

④ **あわせるボイスの設定**

自分からだ設定（→P128）の設定に合わせて、通話中の音声を聞き取りやすくします。通話中は補正の強弱を設定できます。

⑤ **ゆっくりボイスのON／OFF**
相手の話す声がゆっくり聞こえるように調節し、聞き取りやすくします。相手が区切りのない話しかたをしたときなどは通常の速度で聞こえます。
⑥ **はっきりボイス／ぴったりボイスの状態表示**
⑦ **通話メモの状態表示**
⑧ **別の相手に電話をかける**※
⑨ **通話を終了**
⑩ **ダイヤル入力のダイヤルパッドを表示／非表示**
プッシュ信号（DTMFトーン）を送信します。
⑪ **通話を保留／保留解除**
⑫ **マイクをON／OFF（消音）**
自分の声が相手に聞こえないようにします。
⑬ **スピーカーフォンをON／OFF**
相手の声をスピーカーから流して、ハンズフリーで通話します。Bluetooth機器を接続している場合、音声の出力先を切り替えることができます。
※ キャッチホンのご契約が必要です。

発着信履歴

電話の発着信履歴を確認できます。

1 ホーム画面で［電話］

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で → ［電話］をタップします。

2 ［発着信履歴］

① **着信ボタン**
着信履歴のみを表示します。
② **全てボタン**
発着信履歴のすべてを表示します。
③ **発信ボタン**
発信履歴のみを表示します。
④ **履歴アイコン**
発信履歴は To➡、着信履歴は From⬅、不在着信履歴は ✕⬅ がそれぞれ表示されます。

⑤ **ステータスアイコン**
: 発信者番号通知※
: 発信者番号非通知※
: 国際電話発着信
: 声の宅配便発信
※ 電話番号の前に「186」／「184」を入力して発信した場合や、電話番号を入力して→［発信者番号通知］→［通知する］／［通知しない］をタップして発信した場合に表示されます。

⑥ **名前や電話番号**
タップしてアクションリストを表示します。アクションリストの項目をタップして、電話発信、SMS送信、電話帳登録またはプロフィール画面の表示などを行います。ロングタッチすると、電話番号を編集して発信、履歴からの削除などができます。

⑦ **発信アイコン**
タップして電話を発信します。

■ 履歴画面のメニューについて

履歴画面でをタップすると、全件削除や通話設定（→P64）などの操作ができます。

✔お知らせ

- 発着信履歴の最大表示件数は50件です。
- ホーム画面で［電話］（「NX!ホーム」では、ホーム画面で→［電話］）→［発着信履歴］／［お気に入り］／［ダイヤル］→→［起動画面に設定］をタップすると、ホーム画面で［電話］（「NX!ホーム」では、ホーム画面で→［電話］）をタップしたときに表示される画面に設定できます。ただし、ホームアプリによっては反映されない場合があります。

伝言メモ

伝言メモの設定や録音した伝言の再生／削除を行います。

1 ホーム画面で［電話］

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で→［電話］をタップします。

2 →［通話設定］→［伝言メモ］

3 各項目を設定

伝言メモリスト：録音した伝言メモのリストを表示します。伝言メモを選択してをタップすると伝言が再生されます。また、伝言メモをロングタッチ→［1件削除］→［はい］をタップすると伝言が削除されます。
- 伝言メモは1件あたり最長60秒、最大10件録音できます。

伝言メモを有効：伝言メモのON／OFFを設定します。
- 保存した伝言メモが最大保存件数を超えた場合は、設定を有効にしていても伝言メモで応答しません。

応答時間設定：伝言メモが応答するまでの時間を設定します。

応答ガイダンス設定：応答ガイダンスを設定します。

通話メモ

通話メモの設定や録音した通話中の会話の再生／削除を行います。

1 ホーム画面で［電話］

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で →［電話］をタップします。

2 →［通話設定］→［通話メモ］

3 各項目を設定

通話メモリスト：録音した通話メモのリストを表示します。通話メモを選択して▶をタップすると通話メモが再生されます。また、通話メモをロングタッチ→［1件削除］→［はい］をタップすると通話メモが削除されます。

- 通話メモは最大50件録音できます。50件を超えると、保護されていない古い通話メモから順に上書きされます。残しておきたい通話メモは、通話メモを選択→ →［保護設定］をタップして保護してください。

自動通話メモを有効：通話メモを自動で録音するかどうかを設定します。

録音時間設定：自動通話メモの録音時間を設定します。

- ［1分］を選択すると、電話を切る約1分前からの通話が録音されます。

✔お知らせ

- 通話中に を1秒以上押すと、手動で通話メモの開始／終了ができます。手動で開始した通話メモは、通話／通話メモを終了するまで録音します。
- 次の場合は手動で通話メモを利用できません。
  - 通話保留中のとき
  - 「自動通話メモを有効」を有効にし「録音時間設定」を［通話全て］に設定したとき
- 本端末で通話を保留にした場合、保留中の音声などは録音されません。

通話設定

ドコモのネットワークサービスや通話、インターネット通話に関するさまざまな設定を行います。

1 ホーム画面で[電話]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で →［電話］をタップします。

2 →[通話設定]

3 各項目を設定

ネットワークサービス：次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

声の宅配便：サービスの利用、設定確認・変更を行います。

留守番電話サービス：サービスの開始／停止、呼出時間設定などを行います。

転送でんわサービス：サービスの開始／停止、転送先変更などを行います。

キャッチホン：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

発信者番号通知：通知設定、設定確認を行います。

迷惑電話ストップサービス：登録、削除、登録件数の確認を行います。

番号通知お願いサービス：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

通話中着信設定：着信設定を行います。

着信通知：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

英語ガイダンス：設定、設定確認を行います。

遠隔操作設定：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

公共モード（電源OFF）設定：サービスの開始／停止、設定確認を行います。

- 公共モード（ドライブモード）を設定するには、ホーム画面で →［本体設定］→［音・バイブレーション設定］→［公共モード］にチェックを付けます。

海外設定：設定方法→P151

通話詳細設定：サブアドレス設定やプレフィックス設定、登録外着信拒否の設定を行います。

音・バイブレーション設定：着信音、着信バイブレーション、ダイヤルパッド操作音の設定を行います。→P111

応答拒否SMS：着信時に利用できる応答拒否SMSの編集を行います。

伝言メモ：設定方法→P62

通話メモ：設定方法→P63

着信拒否：着信を拒否したい相手の条件を設定します。

- ［ブラックリスト］には最大100件の電話番号を登録することができます。

響カット：声の響く場所などで電話中に残響音を抑え、相手に聞き取りやすくするかどうかを設定します。

IP通話アプリの音質サポート：音質サポートを使用するかどうかを設定します。
- Voice over IPの技術を使用したアプリでの通話は、ネットワークの遅延時間などにより、電話と比較して音質が劣る場合があります。本機能は、アプリの実現している音質を元に、騒音環境下での聞き取りやすさ改善（はっきりボイス for コミュニケーションアプリ）、およびノイズや通話相手側に聞こえるエコー量の削減を行います。音の途切れや遅延などに関する効果はありません。
- アプリのバージョンアップを行ったことにより、本機能の効果が得られなくなる場合があります。その場合は、本設定をオフにしてください。
- 使用するアプリによっては、本機能の効果が得られないことがあります。その場合は、本設定をオフにしてください。
- 本機能は、Bluetoothを使用した通話時には動作しません。

アカウント：インターネット通話のアカウントに関して設定します。

インターネット通話を使用：インターネット通話の使用方法を設定します。

オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを表示します。

✔お知らせ
- 公共モード（ドライブモード）は、⏻を押し続けて表示される携帯電話オプションメニューからも設定／解除できます。

電話帳

電話帳には電話番号やメールアドレスなどを登録できます。簡単な操作で登録した相手に連絡できます。
- 電話帳でクラウドを利用するには、ドコモ電話帳アプリが必要となります。ドコモ電話帳アプリを初めて起動する場合（アプリの初期化後を含む）、「クラウドの利用について」の画面が表示され、クラウドの利用を開始できます。

1 ホーム画面で［電話帳］
- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で⠿→［ドコモ電話帳］をタップします。

2 ［連絡先］

① **名前**
タップしてプロフィール画面を表示します。サムネイル画像をタップすると、電話発信、SMS送信などができます。

② **登録ボタン**
電話帳を新規登録します。

③ **グループボタン**
電話帳グループを表示します。
④ **検索ボタン**
電話帳検索画面を表示します。
⑤ **インデックスボタン**
インデックスを表示します。

■ 電話帳リストのメニューについて

電話帳リストで☰をタップすると、削除や全体設定などの操作ができます。

◆ 電話帳を登録

1 **電話帳リストで[登録]→必要に応じてアカウントを選択→各項目を設定→[登録完了]**

- クラウドと同期できるのは、docomoアカウントで登録した連絡先データです。

✔お知らせ

- 履歴から電話帳を登録することもできます。

◆ 電話帳の編集

1 **電話帳リストで連絡先を選択→[編集]→各項目を編集→[登録完了]**

◆ 電話帳の削除

1 **電話帳リストで削除する連絡先を選択→☰→[削除]→[OK]**

- 電話帳リストで☰→［削除］をタップすると、連絡先を選択して削除できます。［全選択］をタップすると、全件削除できます。

◆ グループの新規作成

1 **電話帳リストで[グループ]**

2 **グループリスト最下部の[追加]→各項目を設定→[OK]**

グループ名の編集：**グループリストでグループをロングタッチ→［グループ編集］→各項目を設定→［OK］**
グループの削除：**グループリストでグループをロングタッチ→［グループ削除］→［OK］**

✔お知らせ

- 「すべて」、「グループなし」、「お気に入り」は編集／削除できません。

◆ 連絡先のグループ登録

1 電話帳リストで[グループ]

2 グループリストで連絡先をロングタッチ→そのまま登録するグループの上にドラッグ＆ドロップ

グループ設定の解除：グループリストで登録中のグループをタップ→連絡先をロングタッチ→そのまま登録中グループの上にドラッグ＆ドロップ

✔お知らせ

- グループ登録はdocomoアカウントのみ設定できます。

◆ コミュニケーション

発着信、SMSの送受信、ドコモメールの送受信履歴が表示されます。

1 ホーム画面で[電話帳]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で■→［ドコモ電話帳］をタップします。

2 [コミュニケーション]

表示項目の変更：[表示項目]→表示する項目をチェック→［OK］

◆ プロフィール画面の表示

1 電話帳リストで名前を選択

① **アカウントアイコン**

② **顔写真と名前**

③ **グループ**

④ **個人登録情報**

項目をタップすると電話発信やEメール送信ができます。ロングタッチするとオプションを表示します。

⑤ **お気に入り**

タップすると「お気に入り」に追加されます。

⑥ **SMS送信**

タップすると、SMSを送信できます。

⑦ **声の宅配便発信**

タップすると、声の宅配便に発信できます。

■ プロフィール画面のメニューについて

プロフィール画面で☰をタップすると、赤外線や共有などの操作ができます。

◆ 電話帳のインポート／エクスポート

1 電話帳リストで☰→[その他]→[インポート／エクスポート]→項目を選択

SIMカードからインポート：電話番号、メールアドレスの種別は「その他」としてインポートされます。
SDカードからインポート：指定したアカウントに登録します。ファイルが複数ある場合は、登録するファイルを選択します。
SDカードにエクスポート：「マイプロフィール」を除く電話帳データ（vCardファイル）を、microSDカードに保存します。
表示可能な電話帳を共有：電話帳データをBluetooth通信やメールに添付して全件送信します。

✔お知らせ

- 他の端末との間で電話帳データの全件受け渡しをしたい場合は、赤外線通信によるインポート／エクスポートをご利用ください。→P136
- 赤外線通信中に、音声着信や他のアプリの起動を行った場合には赤外線通信は中断します。
- 赤外線通信で全件送信しても、相手の端末によっては「マイプロフィール」が受信されない場合があります。
- 本端末からiモード端末へBluetooth通信で電話帳全件送信を行うと、正常にデータが移行できません。
- ドコモバックアップアプリを使用すると、電話帳やその他のデータを一括でバックアップ／復元することができます。詳細は、「ドコモバックアップ（microSDカードへ保存・復元）」をご覧ください。→P97

◆ マイプロフィール

ご利用の電話番号を確認できます。また、ご自身の情報を登録したり編集したりできます。

1 ホーム画面で[電話帳]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で⠶→［ドコモ電話帳］をタップします。

2 [マイプロフィール]→[編集]→各項目を設定→[登録完了]

✔お知らせ

- マイプロフィールから名刺を作成し、相手とネットワーク経由で交換できます。名刺の作成や交換を利用するには、名刺作成アプリをインストールする必要があります。名刺作成アプリは、［マイプロフィール］→［新規作成］をタップし、画面の案内に従ってインストールしてください。

メール／ウェブブラウザ

ドコモメール

ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができるアプリです。送受信したメールはクラウドに保存されるので、複数のデバイスで同じメールを閲覧したり、機種変更時のメールデータ移行が簡単に行えます。また、絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。

- ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 ホーム画面で[メール]

- 起動メールアプリの選択画面が表示されたら、アプリを選択後に［常時］または［1回のみ］をタップします。［常時］で設定した後に、再度選択画面を表示する場合は、ホーム画面で☰→［起動メールアプリの再選択］→［OK］をタップします。
- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で⠿をタップします。

2 [ドコモメール]

以降は画面の指示に従って操作します。

SMS

携帯電話番号を宛先にして、全角最大70文字（半角英数字のみの場合は最大160文字）までのテキストメッセージが送受信できます。

◆ SMSを作成して送信

1 ホーム画面で[MENU]→[アプリ]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で⠿をタップします。

2 [メッセージ]

3 （アイコン）

4 [To]→携帯電話番号を入力

5 [メッセージを入力]→メッセージを入力→➤

✔お知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いて入力してください。

◆ SMSを受信したときは

SMSを受信すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。通知パネルを開いて通知をタップして、新着SMSを確認します。

✔お知らせ

- 本端末の初期化をした際、再起動直後にSMSを受信すると、SMSの通知の設定に関わらず着信音やバイブレータが鳴動しない場合があります。
- 本端末のメモリ容量が少なくなると、SMSを受信できません。不要なアプリを削除するなどして、メモリ空き容量を増やしてください。→P117

◆ 送受信したSMSの表示

1 ホーム画面で[MENU]→[アプリ]
- 「NX!ホーム」では、ホーム画面でをタップします。

2 [メッセージ]

3 メッセージスレッドを選択
- をタップして電話をかけることができます。

◆ SMSに返信

1 ホーム画面で[MENU]→[アプリ]
- 「NX!ホーム」では、ホーム画面でをタップします。

2 [メッセージ]

3 メッセージスレッドを選択→[メッセージを入力]→メッセージを入力→

◆ SMSを転送

1 ホーム画面で[MENU]→[アプリ]
- 「NX!ホーム」では、ホーム画面でをタップします。

2 [メッセージ]

3 メッセージスレッドを選択→SMSをロングタッチ→[転送]

4 [To]→携帯電話番号を入力→

◆ SMSを削除

1 ホーム画面で[MENU]→[アプリ]
- 「NX!ホーム」では、ホーム画面でをタップします。

2 [メッセージ]

3 メッセージスレッドを選択→SMSをロングタッチ→[削除]→[削除]

✔お知らせ

- メッセージスレッドを削除するには、メッセージスレッドをロングタッチ→→［削除］をタップします。
- すべてのメッセージスレッドを削除するには、メッセージスレッド画面で→［すべてのスレッドを削除］→［削除］をタップします。

◆ SMSの設定

1 ホーム画面で[MENU]→[アプリ]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で■をタップします。

2 [メッセージ]

3 ■→[設定]

4 各項目を設定

古いメッセージを削除：保存件数が上限に達したら古いメッセージを削除するかを設定します。
メッセージの制限件数：スレッドごとに保存するメッセージの件数を設定します。
バックアップ：本体とmicroSDカード間でメッセージをコピーします。
受取確認通知：送信するメッセージの受取確認を毎回要求するかを設定します。
SIMカードのメッセージ：ドコモminiUIMカードに保存したメッセージを管理します。
メッセージセンター番号：メッセージセンター番号を設定します。
- 通常は設定を行う必要はありません。

通知：メッセージ受信時にステータスバーで通知するかを設定します。
着信音：メッセージ受信時の着信音を設定します。
バイブレーション：メッセージ受信時のバイブレータの動作を設定します。
LED：メッセージ受信時のお知らせLEDの色を設定します。

Eメール

お使いの環境に合わせたメールアカウントを設定し、Eメールを利用します。

◆ Eメールアカウントの設定

- 設定に必要な情報は、あらかじめプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 ホーム画面で[メール]

- 起動メールアプリの選択画面が表示されたら、アプリを選択後に［常時］または［1回のみ］をタップします。［常時］で設定した後に、再度選択画面を表示する場合は、ホーム画面で■→［起動メールアプリの再選択］→［OK］をタップします。
- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で■をタップします。

2 [メール]

3 [メールアドレス]→メールアドレスを入力→[パスワード]→パスワードを入力→[次へ]

以降は画面の指示に従って操作します。

✔お知らせ

- メールアカウントの自動設定が完了しない場合、操作2で［手動セットアップ］をタップしてアカウント設定を手動で入力します。

- サービスプロバイダによっては、「OP25B（Outbound Port 25 Blocking）：迷惑メール送信規制」の設定が必要になります。詳しくは、ご契約のサービスプロバイダへお問い合わせください。
- すでにメールアカウントが設定済みで、さらに別のメールアカウントを追加する場合は、メール一覧画面で☰→［設定］→［アカウントを追加］をタップして操作します。

◆ Eメールを作成して送信

1 ホーム画面で［メール］

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で⁘をタップします。

2 ［メール］

- 複数のメールアカウントがある場合は、画面上部のアカウントをタップして切り替えます。

3 ✉+

4 ［To］→アドレスを入力

- CcやBccを追加する場合は、☰→［Cc／Bccを追加］をタップします。

5 ［件名］→件名を入力

6 ［メールを作成します］→メッセージを入力

- ファイルを添付する場合は、☰→［ファイルを添付］をタップします。

7 ➤

✔お知らせ

- メールアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定します。→P71
- Eメールはパソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側でパソコンからの受信拒否の設定をしていると、Eメールを送信できません。

◆ Eメールの受信／表示

1 ホーム画面で［メール］

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で⁘をタップします。

2 ［メール］

- 複数のメールアカウントがある場合は、画面上部のアカウントをタップして切り替えます。
  ［統合ビュー］をタップすると、すべてのメールアカウントのEメールが混在して表示されます。各メールアカウントはEメールの右側にあるカラーバーで区別されます。

3 ↻

受信トレイを更新します。

- 「統合ビュー」を利用している場合は、各メールアカウントの表示に戻して↻をタップします。

4 Eメールを選択

✔お知らせ

- アカウントの設定で受信トレイの確認頻度とメール着信通知（→P74）を設定していると、通知アイコンがステータスバーに表示されます。通知パネルを開いて通知をタップすると、Eメールが表示されます。

◆Eメールに返信

1 Eメールを表示

2 ↩
全員に返信：⋮→［全員に返信］

3 ［メールを作成します］→メッセージを入力→➤

◆Eメールを転送

1 Eメールを表示

2 ⋮→［転送］

3 ［To］→メールアドレスを入力→➤

◆Eメールを削除

1 Eメールを表示→🗑

◆Eメールの設定

Eメールに関するさまざまな設定をします。

❖Eメールの全般の設定

1 ホーム画面で［メール］
- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で⠿をタップします。

2 ［メール］

3 ☰→［設定］

4 ［全般］→各項目を設定
自動表示：メッセージを削除した後に表示する画面を設定します。
メッセージの文字サイズ：文字サイズを設定します。
全員に返信：メールを返信する際に毎回宛先の全員に返信するかを設定します。
画像の自動表示を解除：インライン画像の自動表示の設定を手動で表示するように設定解除します。

❖Eメールのアカウント設定

- 設定できる項目は、アカウントの種類により異なります。

1 ホーム画面で[メール]
- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で をタップします。

2 [メール]

3 →[設定]

4 アカウントを選択→各項目を設定

アカウント名：アカウント名を編集します。
名前：名前を編集します。
署名：署名を登録します。
クイック返信：Eメール作成時に頻繁に挿入する文章を編集します。
優先アカウントにする：Eメール作成時にこのアカウントを優先するかを設定します。
受信トレイの確認頻度：受信トレイの確認頻度を設定します。確認頻度の間隔を短く設定すると電池の消費が早くなります。
メールを同期する日数：メールを同期する日数を設定します。
カレンダーを同期する日数：カレンダーを同期する日数を設定します。
メールを同期する：メールを同期するかを設定します。
連絡先を同期：連絡先を同期するかを設定します。
カレンダーを同期：カレンダーを同期するかを設定します。
添付ファイルのダウンロード：Wi-Fi接続時に添付ファイルを自動でダウンロードするかを設定します。
ローミング時の自動同期を許可：国際ローミング中に自動で同期するかを設定します。ポリシーによっては変更できないことがあります。
メール着信通知：Eメール受信時にステータスバーで通知するかを設定します。
着信音を選択：Eメール受信時の着信音を設定します。
バイブレーション：Eメール受信時のバイブレータの動作を設定します。
受信設定：受信サーバーについて設定します。
送信設定：送信サーバーについて設定します。
アカウントを削除：アカウントを削除します。

❖Eメールのバックアップ／復元

1 ホーム画面で[メール]
- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で をタップします。

2 [メール]

3 →[設定]

4 [バックアップ／復元]

5 [microSDへバックアップ]／[本体へ復元]

6 [開始]→[OK]

NX!メール

お使いの環境に合わせたメールアカウントを設定し、フォルダ分けでメールを管理します。

◆ NX!メールアカウントの設定

- 設定に必要な情報は、あらかじめプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 ホーム画面で［メール］

- 起動メールアプリの選択画面が表示されたら、アプリを選択後に［常時］または［1回のみ］をタップします。［常時］で設定した後に、再度選択画面を表示する場合は、ホーム画面で☰→［起動メールアプリの再選択］→［OK］をタップします。
- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で⠿をタップします。

2 ［NX!メール］

- 初回起動時は操作ガイドが表示されますので、内容を確認して［次へ］をタップし、［使い始める］をタップします。

3 ［メールアドレス］→メールアドレスを入力→［パスワード］→パスワードを入力→［次へ］

以降は画面の指示に従って操作します。

◆ NX!メールを作成して送信

1 ホーム画面で［メール］

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で⠿をタップします。

2 ［NX!メール］

3 ［メール作成］

4 「宛先」→アドレスを入力

- 宛先を選択する場合は、▣→「電話帳」／「送信履歴」／「受信履歴」をタップします。

5 ［件名］→件名を入力

6 ［ここにメッセージを入力］→メッセージを入力→［送信］

- ファイルを添付する場合は、📎→「ギャラリー」／「写真を撮る」／「ファイルを選択」をタップします。

✔お知らせ

- メールアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定します。→P75
- NX!メールはパソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側でパソコンからの受信拒否の設定をしていると、NX!メールを送信できません。

◆ NX!メールの受信／表示

1 ホーム画面で[メール]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で をタップします。

2 [NX!メール]

3 フォルダを選択

- 更新するには →［更新］をタップします。

4 メールを選択

◆ NX!メールに返信

1 メールを表示

2 [返信]

3 [ここにメッセージを入力]→メッセージを入力→[送信]

◆ NX!メールを転送

1 メールを表示

2 →[転送]

3 「宛先」にアドレスを入力→[送信]

◆ NX!メールを削除

1 メールを表示

2 →[削除]→[OK]

✔**お知らせ**

- メール一覧画面で、削除したいメールをロングタッチ→［削除］→［OK］をタップして削除することもできます。

◆ NX!メールの設定

NX!メールに関するさまざまな設定をします。

1 ホーム画面で[メール]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で をタップします。

2 [NX!メール]

3 →[設定]

着信設定：通知時間設定、着信音、振動、お知らせLEDの色、ポップアップ通知を設定します。
アカウント設定：アカウントに関する設定や、新規アカウントを追加します。
レイアウト変更：フォルダの一覧表示をタイル／リスト表示に設定します。
マーク：受信メールにマークを付けるかを設定します。
フォルダ表示：表示するフォルダを設定します。
署名：署名を登録します。
SMS：SMSに関する設定をします。
その他：引用返信、返信時の操作、送信中画面の表示、フォルダの自動学習、添付ファイルの保存先、メールのバックアップ先、テンプレートのバックアップ先を設定します。
情報：アプリの情報、メール件数、使用ライセンスを表示します。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 電源が入っていない、機内モード中、国際ローミング中、PINコード入力画面表示中などは受信できません。また、本端末のメモリ容量が少ないときは受信に失敗することがあります。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。

◆ 緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴り、ステータスバーに通知アイコンが表示され、内容表示画面が表示されます。

- ブザー音または着信音は最大音量で鳴動します。変更はできません。
- お買い上げ時は、マナーモード中でも鳴動します。鳴動しないように設定できます。→P78

◆ 受信したエリアメールの表示

1 ホーム画面で[MENU]→[アプリ]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で をタップします。

2 [災害用キット]

- 初回起動時は「ご利用にあたって」を読み、[同意して利用する]をタップします。

3 [緊急速報「エリアメール」]→エリアメールを選択

◆ エリアメールの削除

1 ホーム画面で[MENU]→[アプリ]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で をタップします。

2 [災害用キット]

3 [緊急速報「エリアメール」]

4 エリアメールにチェック→[削除]→[OK]

- すべてを選択するには[すべて選択]をタップします。

◆ 緊急速報「エリアメール」設定

1 ホーム画面で[MENU]→[アプリ]
- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で をタップします。

2 [災害用キット]

3 [緊急速報「エリアメール」]

4 →[設定]

5 各項目を設定

受信設定：エリアメールを受信するかを設定します。
着信音：着信音の鳴動時間とマナーモード時の着信音の動作を設定します。
受信画面および着信音確認：緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報のエリアメールを受信したときの受信画面と着信音を確認します。
その他の設定：緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報以外に受信するエリアメールを新規登録／編集／削除します。

ブラウザ

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebサイトを閲覧できます。
本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続でブラウザを利用できます。
- dメニューの「お客様サポート」からダウンロードできるアプリをご利用になれます。
  その他のアプリをブラウザやGoogle Playからダウンロードすることはできません。

◆ Webサイト表示中の画面操作

■ Webページを縦表示／横表示に切り替え

本端末を縦または横に持ち替えて、縦／横画面表示を切り替えます。

■ Webページの拡大／縮小

次の方法で拡大／縮小します。
ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。
ダブルタップ：拡大します。
- 拡大前の表示に戻す場合は、再度ダブルタップします。

現在表示しているWebページの拡縮率を、Webページを移動したときに引継ぐことができます。Webページを拡大／縮小した時などに表示されるアイコンをタップして、引継ぎの有効（ ）／無効（ ）を切り替えます。

■ 画面のスクロール／パン

画面を上下／左右にスクロールまたは全方向にパン（→P35）して見たい部分を表示します。

◆ブラウザを起動してWebサイトを表示

1 ホーム画面で[MENU]→[アプリ]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で をタップします。

2 [ブラウザ]

ホームページに設定しているWebページが表示されます。

- 画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示し、アドレスバーにURLやキーワードを入力します。

✔**お知らせ**

- ホーム画面で［MENU］→［インターネット］をタップしてもWebサイトを表示できます。

◆新しいブラウザウィンドウを開く

複数のブラウザウィンドウを開いてWebページをすばやく切り替えることができます。

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→

2 [+]

新しいブラウザウィンドウが開き、ホームページに設定しているWebページが表示されます。

切り替え：**ブラウザウィンドウを選択**
閉じる：**ブラウザウィンドウの［X］**

◆シークレットタブでWebサイトを表示

閲覧履歴や検索履歴を残さずに、Webページを閲覧できます。

1 Webサイト表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→

2 →[新しいシークレットタブ]

シークレットタブでWebページが表示されます。

- アドレスバーにURLやキーワードを入力します。
- シークレットタブで表示中は画面上部に が表示されます。

✔**お知らせ**

- シークレットタブで開いたWebページは履歴に残りません。シークレットタブを閉じるとCookieなどの記録も消去されます。ただし、ダウンロードしたファイルやブックマークに登録したWebページは保存されます。

◆履歴からWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に→[ブックマーク]→[履歴]

- よく閲覧するWebサイトの履歴を表示する場合は、［よく使用］をタップします。

2 Webサイトの履歴を選択

◆ Webページを保存して表示

表示中のWebページを保存してオフラインで表示します。

❖ Webページの保存

1 Webサイト表示中に▤→[オフラインで読めるよう保存]

❖ 保存したWebページの表示

1 Webサイト表示中に▤→[ブックマーク]→[保存したページ]

2 保存したページを選択

- 保存したページを表示中は画面上部に🕓が表示されます。

削除：保存したページをロングタッチ→［保存したページを削除］

◆ ブックマークを登録してWebサイトを表示

❖ ブックマークの登録

1 Webサイト表示中に▤→[ブックマークを保存]

ブックマークの詳細情報が表示され、ラベル名、アカウント（保存先）、追加先などを変更できます。

2 [OK]

❖ ブックマークからWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に▤→[ブックマーク]

2 ブックマークを選択

編集：ブックマークをロングタッチ→［編集］→各項目を設定→［OK］

削除：ブックマークをロングタッチ→［削除］→［OK］

◆ 先読み機能

表示中のWebサイトのリンク先ページを専用キャッシュに読み込みます。
あらかじめ読み込んでおくと、リンク先をタップした際、回線状況に関わらず素早くリンク先のページを表示することができます。

- リンク先のページによっては、本機能が利用できない場合があります。

1 Webサイトを表示中に画面を下方向にスライドしてWebページの最上部を表示→▣→[はい]

- 先読み中はステータスバーに通知アイコンが表示されます。
- 先読み中に通知パネルを開いて［先読み中］をタップすると、先読みを中断します。

✔お知らせ

- 先読みしたリンク先を表示した際に、ページによっては正しく再現されない場合があります。
- 次の場合は先読みキャッシュが消去されます。
  - 先読み開始時
  - ブラウザ終了時
  - ブラウザの設定からキャッシュの消去を行った場合
  - 再読み込みを行った場合
- 先読み機能はリンク先ページの取得が終了するまで通信を行います。そのためパケット通信料金が高額になる場合がありますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- シークレットタブを表示している場合は、先読み機能は利用できません。

◆ Webサイトのリンクを操作

Webサイトに表示されているリンクを操作します。

URLの場合

- タップしてWebサイトを開きます。
- ロングタッチしてWebサイトを新しいタブで開く、リンクを保存、コピーします。

電子メールアドレスの場合

- タップしてメールを作成します。
- ロングタッチしてメールアドレスをコピーします。

電話番号の場合

- タップして電話番号に発信します。
- ロングタッチして電話番号を連絡先に追加、コピーします。

ファイルの場合

- タップしてファイルを閲覧／保存します。
- ロングタッチしてファイルを保存します。

✔お知らせ

- 保存したファイルは、Document Viewerなどで確認できます。

◆ Webサイトに表示されている画像を保存

1 Webサイト表示中に画像を選択(ロングタッチ)→[画像を保存]

- 保存した画像は、ギャラリー(→P90)で確認できます。

◆ ブラウザの設定

1 Webサイト表示中に→[設定]

2 各項目を設定

全般:ブラウザ起動時のホームページ、ダウンロードファイルの保存先、フォームの自動入力、自動入力テキストについて設定します。

プライバシーとセキュリティ:キャッシュやブラウザの履歴の消去、警告画面の表示/非表示、Cookie、フォームデータ、現在地情報、パスワードについて設定します。

ユーザー補助:拡大縮小設定の上書き、テキストのサイズ、画面の反転レンダリングについて設定します。

- [コントラスト]は[反転レンダリング]にチェックが付いている場合に調整できます。

高度な設定:検索エンジンの設定、タブのバックグラウンド表示、JavaScriptの設定、1つのアプリに複数のタブを許可、プラグインの設定、ウェブサイト設定、先読み機能の設定、ページコンテンツ、初期設定リセットについて設定します。

- 先読み機能の設定で[先読み表示速度優先]にチェックを付けている場合は、先読みしたページ内JavaScriptの動作や新たな通信・更新表示などが一部制限されます。この結果、ページが正しく表示されない場合があります。なお、「先読み表示速度優先」はブラウザでタブを複数表示していないときに有効です。
- ページコンテンツの[ページの自動調整]にチェックを付けている場合は、Webページのテキストやその他の要素が画面に合わせて自動的に最適化されて表示されます。
  テキストの列をダブルタップすると、そのテキストが画面の幅に収まるように調整されて表示されます。

帯域幅の管理:検索結果やウェブページのプリロード、画像の読み込みについて設定します。

Labs:クイックコントロールや全画面の表示について設定します。

アプリ

アプリについて

本端末では、dメニューやDocument Viewerなどあらかじめインストールされているアプリのほか、dメニューの「お客様サポート」からダウンロードできるアプリをご利用になれます。
その他のアプリをブラウザやGoogle Playからダウンロードすることはできません。

- アプリによっては、別途お申し込み（有料）が必要なものがあります。

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリに簡単にアクセスすることができます。

1 **ホーム画面で[MENU]→[アプリ]**

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で をタップします。

2 **[dメニュー]**

ブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。

✔**お知らせ**

- dメニューのご利用には、パケット通信（LTE／3G／GPRS）もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリには、一部有料のアプリが含まれます。

トルカ

トルカは、ケータイに取り込むことができる電子カードです。店舗情報やクーポン券などとして、読み取り機やサイトから取得できます。取得したトルカは［トルカ］アプリに保存され、［トルカ］アプリを利用して表示、検索、更新ができます。

- トルカの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 初回起動時は「ソフトウェア利用許諾契約」に同意いただく必要があります。同意後、画面の指示に従っておサイフケータイの初期設定を行ってください。
- おサイフケータイの初期設定は、ドコモサービスの初期設定画面でも行うことができます。

✔**お知らせ**

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- ｉモード端末向けに提供されているトルカは、取得・表示・更新できない場合があります。

- IP（情報サービス提供者）の設定によっては、以下の機能がご利用になれない場合があります。
  読み取り機からの取得、更新、トルカの共有、microSDカードへの移動／コピー、地図表示※
  ※ トルカ（詳細）からの地図表示ができるトルカでも、トルカ一覧からの地図表示ができない場合があります。
- おサイフケータイ ロック設定中は、読み取り機からトルカを取得できません。→P143
- 重複チェックにチェックを付けている場合、保存済みトルカと同じトルカを重複して取得することができません。同じトルカを重複して取得したいときは、チェックを外してください。
- メールを利用してトルカを送信する際は、トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。
- ご利用のメールアプリによっては、メールで受信したトルカを保存できない場合があります。
- ご利用のブラウザによっては、トルカを取得できない場合があります。
- トルカをmicroSDカードに移動／コピーする際は、トルカ（詳細）取得前の状態で移動／コピーされます。
- おサイフケータイの初期設定を行っていない状態では、読み取り機からトルカを取得できない場合があります。

カメラ

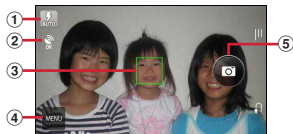
◆ 撮影時の注意事項

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が現れることがありますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 本端末の温度が高い状態が続くと、カメラを利用できなくなる場合があります。本端末の温度が下がってからカメラをご利用ください。
- 本端末の電池残量が少ないと、カメラを利用できなくなる場合があります。十分に充電してからカメラをご利用ください。
- 撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画質が暗くなったり画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- カメラ利用時は電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- 本端末の電池残量が少なくなると、フラッシュの光量が制限される場合があります。

- マナーモード、公共モードの設定、音量設定に関わらず、カメラ起動中はシャッター音、オートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音、画面のスクリーンショット音、キャプメモのキャプチャ音は鳴ります。
- 待機中に約2分間操作をしないと、カメラは終了します。
- 被写体との距離を約10cm以上にすると、オートフォーカスでシーン別の撮影モードにより自動的に被写体をとらえて撮影できます。

著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。
カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。
お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

◆ 撮影画面の見かた

静止画撮影画面

動画撮影画面

① フラッシュアイコン
- 暗い場所での静止画撮影時に表示されます。→P88

② 位置情報アイコン
→P88

③ 顔検出枠
- 顔が検出されない場合は、画面の中央に自動的にフォーカスを合わせてフォーカス枠を表示します。

④ メニューアイコン
⑤ シャッターボタン
⑥ 録画開始／停止ボタン

◆ 静止画撮影

1 ホーム画面で[MENU]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で をタップします。

2 [カメラ]

- ホーム画面／メニュー画面／アプリ一覧画面を表示中に を長く押してもカメラを起動できます。

3 撮影画面に被写体を表示→ ／

シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。

■ 静止画撮影画面の主な操作

ズーム：画面をピンチイン／ピンチアウト

- ピンチイン／ピンチアウトするとスライドバーが表示され、スライドバーを使用してズームすることもできます。なお、インカメラでのズーム機能は利用できません。

インカメラ／アウトカメラの切り替え：[MENU] → [カメラ切替]

撮影した静止画／動画の表示・再生：画面を左へフリック

◆ パノラマ撮影

カメラを左右または上下に少しずつずらすことで、パノラマ写真を撮影できます。

- インカメラでのパノラマ撮影はできません。

1 ホーム画面で[MENU]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で をタップします。

2 [カメラ]

3 [MENU]→[パノラマ]

4 カメラを被写体に向ける

5 (開始)／

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 撮影時にカメラの方向をずらす速度が速すぎた場合は、「速すぎます」と表示されますので、表示されないようにカメラを動かします。

6 (完了)／

撮影停止音が鳴り、撮影が停止してパノラマ画像が保存されます。

- カメラを動かし続けて撮影が終了した場合は、撮影停止音は鳴りません。

◆ 静止画のオート撮影機能

次の静止画撮影の機能については、本端末が自動的に調整して撮影できます。

- 手ぶれ補正機能は常にONの状態です。

■ おまかせオートフォーカス

被写体との距離に関係なく、カメラを向けるだけで自動的にピントを合わせます。

- 被写体に人物が入っている場合は、顔の検出枠が優先的に表示され、ピントを合わせます。

■ タッチオートフォーカス

画面に表示されている被写体にタッチして自動的にピントを合わせます。カメラ設定の［タッチ シャッター］をONに設定している場合は、ピントが合うとそのままシャッター音がして撮影できます。

■ ホワイトバランス

さまざまな光源（太陽光、曇り、電球や蛍光灯のような人工的な光など）の下で、より自然な色合いで撮影できるように自動的に調整します。

■ シーン別撮影

被写体や状況に合わせたシーンを自動的に認識して、最適なシーン種別へ切り替えて撮影できます。

- 撮影画面にQRコードを表示させた場合は、QRコードを読み取って結果を表示します。

■ 自動露出調整

撮影時に、まわりの明るさに応じて露出を自動的に調整します。オートフォーカスの顔検出枠が表示された場合は、顔の明るさで固定されます。明るさを優先させたい被写体がある場合に画面の被写体をタップして固定すると、顔検出されていても被写体の明るさを優先できます。

■ ちらつき調整

蛍光灯などの照明下で、ちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えて撮影できます。

◆ 静止画の撮影設定

静止画撮影画面に表示されている［MENU］をタップして、撮影時の次の設定を変更できます。

- 組み合わせにより選択できない項目があります。
- インカメラでは設定できない項目があります。
- 電話帳など他のアプリからカメラを連携して起動した場合、設定できない項目があります。

■ 撮影モード

静止画／動画／パノラマ／QRコードから撮影モードをタップして選択します。

■ カメラ切替

アウトカメラ／インカメラを切り替えます。

■ 撮影サイズ

撮影サイズを選択します。

- 撮影サイズを［フルHD］（1920×1080）よりも大きいサイズに設定していた場合、電話帳など他のアプリからカメラを連携して起動すると、［フルHD］サイズへ自動的に変更されます。

■ フラッシュ

フラッシュの設定を、オートで点灯（ ）／点灯しない（ ）から選択できます。オートの設定にすると、暗い場所と判断された場合は、画面に を表示してフラッシュが点灯することをお知らせします。カメラ起動中は撮影画面に表示されているアイコンをタップして設定を一時的に変えることができます。

- オートに設定しているときは、夜景のシーンによっては点灯しない場合があります。

■ HDR撮影

撮影時に露光時間が異なる（長時間露光と短時間露光）2枚の画像を撮影して、白飛びや黒つぶれを抑えた静止画を作成します。

■ セルフタイマー

シャッター操作をしてから2秒後（ ）、5秒後（ ）に撮影されるように設定できます。

■ その他

位置情報：撮影した画像に位置情報を付加するように設定します。位置情報を付加するように設定した場合、位置情報を取得中（未取得）は 、取得すると のアイコンが撮影画面に表示されます。

保存先：撮影データの保存先（本体／SDカード）を選択します。

- 選択した保存先の空き容量が足りなくなったときは、その旨を表示して一時的に保存先を切り替えます。

タッチ シャッター：撮影画面の被写体にタッチして、ピントが合うとそのままシャッター音がして撮影できるように設定します。

◆ 動画撮影

1 ホーム画面で[MENU]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で をタップします。

2 [カメラ]

3 [MENU]→[動画]

**4 撮影画面に被写体を表示→ (開始)／ **

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 撮影が開始されると、撮影画面に録画経過時間が表示されます。

**5 (停止)／ **

撮影停止音が鳴り、撮影が停止します。

- 保存先の空き容量が足りなくなった場合、または録画データが最大ファイルサイズ（2GB）になった場合には録画が停止します。また録画中に電話の着信があった場合、録画は停止します。

■ 動画撮影画面の主な操作

ズーム：画面をピンチイン／ピンチアウト

- ピンチイン／ピンチアウトするとスライドバーが表示され、スライドバーを使用してズームすることもできます。なお、インカメラでのズーム機能は利用できません。

インカメラ／アウトカメラの切り替え：[MENU]→[カメラ切替]

撮影した静止画／動画の表示・再生：画面を左へフリック

◆ 動画のオート撮影機能

次の動画撮影の機能については、本端末が自動的に調整して録画できます。

- 録画音声は常にONの状態です。

■ オートフォーカス

録画開始時に画面中央にピント合わせを行います。

■ タッチオートフォーカス

録画前／録画中、画面に表示されている被写体をタッチすると、検出枠を表示して自動的にピントを合わせて録画できます。

■ ホワイトバランス

さまざまな光源（太陽光、曇り、電球や蛍光灯のような人工的な光など）の下で、より自然な色合いで録画できるように自動的に調整します。

◆ 動画の撮影設定

動画撮影画面に表示されている［MENU］をタップして、撮影時の次の設定を変更できます。

- 組み合わせにより選択できない項目があります。
- インカメラでは設定できない項目があります。

■ 撮影モード

静止画／動画／パノラマ／QRコードから撮影モードをタップして選択します。

■ カメラ切替

アウトカメラ／インカメラを切り替えます。

■ 撮影サイズ

撮影サイズを選択します。

■ ライト

暗いところで録画する際に、撮影ライトを点灯するかどうかを設定します。

■ 保存先

録画データの保存先（本体／SDカード）を選択します。

- 選択した保存先の空き容量が足りなくなったときは、その旨を表示して一時的に保存先を切り替えます。

◆ QRコードリーダー

QRコードのデータを読み取り、利用できます。

- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。

❖ QRコードの読み取り

- 被写体（QRコード）からカメラを10cm以上離して読み取ってください。
- コードが読み取りにくい場合は、コードとカメラの距離、角度、方向などの調節により、読み取れることがあります。

1 ホーム画面で[MENU]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で⁙をタップします。

2 [カメラ]

3 [MENU]→[QRコード]

4 撮影画面にコードを表示→スキャン

読み取りが完了すると確認音が鳴り、読取結果画面が表示されます。

分割されたデータを読み取るとき：
複数（最大16個）のQRコードに分割されているデータを連結して表示できます。未取得のデータがある場合、続けて読み取ってください。

静止画撮影画面に戻る：［戻る］

ライトの点灯／消灯：→［ライトON］／［ライトOFF］

履歴の表示：→［履歴］

5 読み取りデータを確認

データの保存：→［履歴を保存］→履歴欄をタップ

❖QRコードデータの主な利用

読取結果画面で、読み取ったQRコードデータを利用します。

- 読み取ったデータによって、表示されるメニューは異なります。

電話帳に一括登録：→［電話帳一括登録］→電話帳に登録

メールの作成：メールアドレスを選択してメールを作成

サイトまたはホームページに接続：URLを選択

URLをブックマークに登録：→［ブックマークに登録］

電話をかける：電話番号を選択して電話をかける

ギャラリー

カメラで撮影したりダウンロードしたりして保存した画像（静止画、動画）を表示／再生します。

- 次のファイル形式のデータを表示／再生できます。ただし、ファイルによっては表示／再生できない場合があります。

  静止画：JPEG、BMP、GIF※、PNG、WEBP

  動画：H.263、H.264、MPEG-4、WMV9、VC-1、VP8

  ※ GIFアニメーションは再生できません。

◆ 画像の表示／再生

1 ホーム画面で［MENU］

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面でをタップします。

2 ［ギャラリー］

3 アルバムを選択

- 動画はが表示されます。
- 画面上部のグリッド表示／フィルムストリップ表示をタップして表示を切り替えます。

4 画像を選択

- 前後の画像に切り替えるには、画面を左右にフリックします。
- ピンチイン／ピンチアウトで縮小／拡大します。
- 動画はをタップして再生します。で音量を調節、表示されるアイコンやスライダーで再生／一時停止、早戻し／早送りなどの操作をします。

■ 主なアイコンと機能

- ：保存先が本端末の内蔵メモリ
- ：保存先がmicroSDカード
- ：カメラで撮影した画像
- ：画像の送付などの操作
- ／※1：［スライドショー］／［編集］／［左に回転］／［右に回転］／［切り抜き］／［登録］／［移動／コピー］※2／［詳細情報］などの操作

※1 アルバム／画像をロングタッチすると表示されます。
※2 ファイルによっては移動／コピーできない場合があります。

❖画像を分類して表示

- アルバム一覧で［アルバム］をタップすると、画像を［アルバム］／［時間］別に分類して表示を切り替えます。

❖アルバム／画像の選択操作

- アルバム一覧／画像一覧でアルバム／画像をロングタッチすると、画面左上にチェックが表示され、アルバム／画像に水色の枠とチェックが表示されて選択状態になります。タップすると選択解除します。
- アルバム／画像が選択状態のときは、画面左上のチェックの右側に選択件数が表示されます。選択件数をタップすると、［すべて選択］／［選択をすべて解除］の操作ができます。

✔お知らせ

- アルバム一覧で→［設定］→［明るさアップ］をタップして、詳細画像表示時に明るく表示するかを設定します。

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーを利用して、音楽／動画を再生します。

- 音楽の再生可能なファイル形式／コーデックはAAC、HE-AAC v1、HE-AAC v2、MP3、MIDI、WMAです。動画の再生可能なファイル形式はH.263、H.264、MPEG-4、WMV9、VC-1、VP8です。ただし、ファイルによっては再生できない場合があります。
- MIDI形式および着信用のファイルは、一覧画面に表示されません。他のアプリでファイルを選択したときなどに再生が可能です。
- パソコンからmicroSDカードへ音楽／動画ファイルを転送する方法については、「本端末のデータをパソコンから操作」をご覧ください。→P144
- 初回起動時は［使い方の説明を読む］または［説明を読まず利用する］を選択します。

◆音楽／動画の再生

1 ホーム画面で[MENU]→[アプリ]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面でをタップします。

2 [メディアプレイヤー]

3 [全曲]／[ムービー]→音楽／動画を選択

◆ メディアプレイヤーのヘルプ

メディアプレイヤーの操作方法を確認できます。

1 ホーム画面で[MENU]→[アプリ]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で をタップします。

2 [メディアプレイヤー]

3 →[ヘルプ]

GPS／ナビ

本端末のGPS機能と対応するアプリを使用して、現在地の確認や目的地までの経路検索などを行うことができます。

- 本端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。GPS機能を利用する際にパケット通信料が発生する場合があります。

◆ GPSのご利用にあたって

- GPSシステムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。また、本体上部分にGPSアンテナがありますので、その付近を手で覆わないようにしてお使いください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

◆ 位置情報アクセスの設定

位置情報の使用をアプリに許可します。

1 **ホーム画面で☰→[本体設定]→[位置情報アクセス]**

2 **[位置情報にアクセス]→[同意する]**

- ［位置情報にアクセス］をONにすると、［GPS機能］にチェックが付き、設定がONになります。

✔お知らせ

- 精度の高い位置情報を測位するには、天空が見える場所で使用してください。
- 本機能を使用すると電池の消費が多くなりますのでご注意ください。

◆ 地図アプリ

現在地の測位や別の場所の検索、経路検索などを行います。

- 地図アプリを利用するには、LTE／3G／GPRSネットワークでの接続またはWi-Fi接続が必要です。ただし、Wi-Fi接続時は一部機能が利用できないことがあります。
- 地図アプリを利用するには、あらかじめ［位置情報にアクセス］をONにしてください。
- 地図アプリの一部機能は、ドコモ地図ナビのお申し込みが必要な有料サービスです。
- 初回起動時は「ドコモ地図ナビご利用規則」に同意いただく必要があります。

1 **ホーム画面で[MENU]**

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で⠿をタップします。

2 **[地図](「NX!ホーム」では、[地図アプリ])**

- ［メニュー］をタップすると、地図検索や乗換案内などの操作ができます。
- 地図アプリの操作については、☰→［ヘルプ］をご覧ください。

スケジュール

スケジュールを管理できます。

- 初回起動時は、ソフトウェア使用許諾規約に同意いただく必要があります。

◆ スケジュールの登録

1 ホーム画面で[MENU]→[スケジュール]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で▦をタップします。

2 [スケジュール]

- ≡をタップすると、microSDカードへ保存、お預かりサービスを利用してセンターと同期、スケジュールの設定、全件削除などができます。

3 [新規作成]

4 各項目を設定

5 [保存]

❖ 通知の時刻になると

アラームを設定すると、設定した時刻にアラーム音と振動でお知らせします。

1 通知画面で通知をタップ

- 詳細画面が表示され、スケジュールの編集や削除などができます。

◆ スケジュールの表示

登録したスケジュールの詳細を表示します。

1 カレンダー画面でスケジュールをタップ

- スケジュールを変更するには［編集］をタップします。
- ≡をタップすると、1件削除、赤外線送信、microSDカードへ1件保存などの操作ができます。

◆ ヘルプの表示

1 カレンダー画面または詳細画面で≡→[ヘルプ]

スッキリ目覚まし

通常の目覚ましだけでなく、眠りの状態を検出して眠りの浅いときに鳴動するスッキリ目覚ましを設定できます。

- 目覚ましは最大10件登録できます。スッキリ目覚ましを設定できるのは1日に1件のみです。
- スッキリ目覚ましは、十分に充電されている状態でないと動作しません。充電しながら利用することをおすすめします。

1 ホーム画面で[MENU]→[アプリ]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で▦をタップします。

2 [スッキリ目覚まし]

3 [目覚ましの設定]→時刻を設定→各項目を設定→[保存]→[OK]

目覚ましON／OFF切り替え：をタップして(緑)にする／(緑)をタップしてにする

スッキリ目覚ましON／OFF切り替え：[スッキリ]にチェック／チェックを外す

- チェックを付けて注意画面が表示された場合は［OK］をタップします。

目覚ましを編集：目覚ましの時刻をタップ→各項目を設定→［保存］→［OK］

目覚ましを削除：目覚ましの時刻をタップ→［削除］→［削除］

✔お知らせ

- スッキリ目覚ましは、眠りの状態を検出しますが、［スッキリ目覚まし鳴動範囲設定］の時間内に検出できない場合があります。検出の有無に関わらず、指定時刻にはアラームが鳴動し、［スヌーズ設定］の設定に従います。

電卓

1 ホーム画面で[MENU]→[アプリ]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面でをタップします。

2 [電卓]

3 計算する

入力した文字の消去：[C]

数式をすべて消去：[C]（ロングタッチ）

関数パッド／四則演算パッド切り替え：→［関数機能］／［標準機能］

- 左右にフリックして切り替えることもできます。

履歴の消去：→［履歴消去］

切り取り／コピー／貼り付け：数式表示欄をロングタッチ→切り取り／コピー／貼り付けの操作を行う

- 数式表示欄を上下にフリックして数式の履歴を表示できます。
- 計算結果が表示されている場合は、結果を使って続けて数式を入力できます。［C］をタップして計算結果を消去できます。

検索

キーワードを入力して本端末内やWebサイトを検索したり、本端末内のアプリを呼び出して起動したりできます。

1 ホーム画面で[Google]→キーワードを入力

文字の入力に従って検索候補が表示されます。

2 検索候補を選択

◆ 検索設定

検索機能の設定を行います。

1 ホーム画面で[Google]→ ☰→[検索設定]

2 各項目を設定

検索対象：検索対象を指定します。

ショートカットを消去：最近選択した検索候補へのショートカットを消去します。

✔お知らせ

- ホームアプリが「NX!ホーム」に設定されている場合は、ホーム画面表示中に手書きで検索できます。
  手書き検索の設定は次のとおりです。
  検索機能の設定：ホーム画面で☰→［手書き検索 開始］／［手書き検索 終了］
  検索対象の設定：ホーム画面で☰→［ホーム設定］→［手書き検索設定］→検索対象にチェック
  - ［手書き検索設定］の設定によっては、半角英数字の検索対象は検索結果に表示されない場合があります。

Document Viewer

Office文書（Word、Excel、PowerPoint）、PDFファイル、テキストファイルを表示します。

1 ホーム画面で[MENU]→[ドキュメントビューワー]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で⠿→［Document Viewer］をタップします。

2 フォルダ／ファイルを選択

- 画面をタップするとアイコンが表示され、次の操作ができます。
  ◁／▷：前後のページ（シート）を表示
  🔍：ズームコントロールを表示
  ✥：表示範囲を指定
  📖：ファイル一覧に戻る
- 各ファイルの閲覧画面で☰をタップすると、移動、検索、ページ表示、コピー、設定、共有、エンコードの設定、バージョン情報の表示などができます。操作できる項目はファイルの種類により異なります。

✔お知らせ

- Office文書の表示内容がパソコンでの表示と異なる場合や、文書の一部が表示されない場合があります。

ドコモバックアップ

◆ microSDカードへ保存・復元

microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、ドコモメール、ブックマークなどのデータの移行やバックアップができます。

- 初回起動時は「利用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

❖バックアップ

電話帳、ドコモメール、メディアファイルなどのデータをmicroSDカードにバックアップします。

- 本端末のメモリ構成上、microSDカードが未挿入の場合、画像・動画などのデータは本体メモリに保存されます。本アプリでは画像・動画などのデータのうち本体メモリに保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。

1 ホーム画面で[MENU]→[アプリ]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で をタップします。

2 [ドコモバックアップ]→[microSDカードへ保存]

3 [バックアップ]→バックアップするデータを選択→[バックアップ開始]→[開始する]→ドコモアプリパスワードを入力→[OK]

❖復元

microSDカードにバックアップした電話帳、ドコモメール、メディアファイルなどのデータを本体に復元します。

1 ホーム画面で[MENU]→[アプリ]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で をタップします。

2 [ドコモバックアップ]→[microSDカードへ保存]

3 [復元]→復元するデータの種別で[選択]→復元するデータを選択→[選択]→復元方法を選択→[復元開始]→[開始する]→ドコモアプリパスワードを入力→[OK]

❖電話帳アカウントコピー

docomoアカウント以外の電話帳をdocomoアカウントにコピーします。

1 ホーム画面で[MENU]→[アプリ]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で をタップします。

2 [ドコモバックアップ]→[microSDカードへ保存]

3 [電話帳アカウントコピー]→docomoアカウント以外の電話帳で[選択]→[上書き]／[追加]→[OK]

✔お知らせ

- バックアップまたは復元中に本端末の電池パックおよびmicroSDカードを取り外さないでください。データが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- 各機能や操作の詳しい説明、その他のメニュー項目の説明については、☰→［ヘルプ］をタップしてご確認ください。

本体設定

設定メニュー

ホーム画面で☰→［本体設定］をタップして表示される設定メニューから、各種設定を行います。

■ プロフィール

メニュー		参照
マイプロフィール		68
初期設定	スライドイン機能設定	42
	セキュリティ解除方法	
	かんたんお引越し	

■ 無線とネットワーク

メニュー		参照
Wi-Fi		104
Wi-Fi簡単登録	AOSS方式	107
	WPS方式	
Bluetooth		138
その他...	データ使用	107
	機内モード	107
	VPN設定	108
	おサイフケータイ ロック設定	143
	モバイルネットワーク	103 108 148
	Bluetooth Low Energy設定	140

■ 端末

メニュー		参照
音・バイブレーション設定	音量	109
	気配り着信	109
	公共モード	64
	マナーモード	109
	ふせたらサウンドオフ	110
	マイク入力	111
	着信音	
	着信LED	111
	着信バイブレーション	111
	通知音	
	ダイヤルパッド操作音	
	タッチ操作音	
	画面ロックの音	
	充電通知バイブ	
	ロック解除時バイブ	
	はっきりタッチ	111
	振動の強さ	
	歩行中の強度アップ	

メニュー		参照
ディスプレイ	画面の明るさ	112
	スリープ／持ってる間ON	112
	壁紙	54
	スクリーンセーバー	112
	プライバシービュー	112
	ホーム画面切替	57
	画面のカスタマイズ	48
	ナビゲーションバー	113
	電池アイコン	113
	画面の自動回転	113
	あわせるズーム	113
	インテリカラー	113
	戻ってシェイク	114
	フォント	114
	フォントサイズ	114
	利き手	114
	うっかりタッチサポート	114
マルチメディア	動画補正	115
	静止画補正	
	長時間再生モード	115

メニュー		参照
ストレージ	SDカードのマウント解除／SDカードをマウント	115
	SDカード内データを消去	
	USBストレージのマウント解除／USBストレージをマウント	145
	ダウンロードファイル保存先	82
電池	バッテリモニターセンサー	116
	電池の使用量	
	アプリ動作時間	
	アプリ電池診断	
NX!エコ		116
アプリケーション		117

■ ユーザー設定

メニュー		参照
ドコモサービス※	ドコモクラウド	118
	アプリケーション管理	
	ドコモアプリWi-Fi利用設定	
	ドコモアプリパスワード	
	オートGPS	
	ドコモ位置情報	
	データ量確認	
	SDカードバックアップ	97
	端末エラー情報送信	118
	オープンソースライセンス	
ドコモクラウド		－
位置情報アクセス	位置情報にアクセス	93
	GPS機能	

メニュー		参照
セキュリティ	ロック画面壁紙	122
	左にスライドでカメラ起動	122
	所有者情報	122
	セキュリティ解除方法	121
	指紋設定	124
	アプリケーションロック	125
	SIMカードロック設定	120
	パスワードを表示する	121
	パスワードマネージャー	125
	最近使ったアプリを表示しない	125
	デバイス管理機能の選択	―
	提供元不明のアプリ	125
	信頼できる認証情報	126
	SDカードからインストール	126
	認証ストレージの消去	126
	SDカード パスワード設定	126
	暗号化設定	127
その他...	自分からだ設定	128
	スライドイン機能設定	129
	言語と入力	39 40 42 130
	初期化	161

■ アカウント

メニュー	参照
アカウントを追加	131

■ システム

メニュー		参照
日付と時刻	日付と時刻の自動設定	131
	タイムゾーンを自動設定	
	日付設定	
	時刻設定	
	タイムゾーンの選択	
	24時間表示	
	日付形式の選択	
ユーザー補助	拡大操作	132
	大きい文字サイズ	
	電源ボタンで通話を終了	
	画面の自動回転	
	パスワードの音声出力	
	ユーザー補助のショートカット	
	テキスト読み上げの出力	
	ウェブアクセシビリティの拡張	

メニュー		参照
端末情報	ソフトウェア更新	164
	端末の状態	132
	法的情報	
	モデル番号	
	Androidバージョン	
	ベースバンドバージョン	
	カーネルバージョン	
	ビルド番号	

※ ドコモサービスで表示されるアプリの中には無効化できるものがあります。無効化した場合、ドコモサービスの一覧には表示されなくなることがあります。また、新たにドコモ提供のアプリをダウンロードすると、ドコモサービスの一覧に項目が追加されることがあります。

無線とネットワーク

◆ アクセスポイント（APN）の設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード）はあらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。
mopera U、ビジネスmoperaインターネットを利用する際は、手動でアクセスポイントを追加する必要があります。
mopera Uの詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

❖利用中のアクセスポイントの確認

1 ホーム画面で▤→[本体設定]→無線とネットワークの[その他...]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]

❖アクセスポイントの追加（新しいAPN）

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 ホーム画面で▤→[本体設定]→無線とネットワークの[その他...]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]

2 ▤→[新しいAPN]

3 [名前]→ネットワークプロファイル名を入力→[OK]

4 [APN]→アクセスポイント名を入力→[OK]

5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力→▤→[保存]

✔お知らせ

- MCC、MNCの設定を変更してAPNの一覧画面に表示されなくなった場合は、アクセスポイントの初期化を行うか、［新しいAPN］で再度アクセスポイントの設定を行ってください。

❖アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で☰→[本体設定]→無線とネットワークの[その他...]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]

2 ☰→[初期設定にリセット]

✔お知らせ

- APNの一覧画面でアクセスポイントを選択し、☰→[APNを削除]をタップして、アクセスポイントを1件ずつ削除することもできます。

❖spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、ｉモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。

- spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

◆Wi-Fi

自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスの無線LANアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。
無線LANアクセスポイントに接続するには、接続情報を設定する必要があります。

■ Bluetooth機能との電波干渉について

無線LAN（IEEE 802.11b/g/n）とBluetooth機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、本端末の無線LAN機能とBluetooth機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。
また、本端末の無線LAN機能のみ使用している場合でも、Bluetooth機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、次の対策を行ってください。

- 本端末とBluetooth機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

❖Wi-FiをONにしてネットワークに接続

1 ホーム画面で→[本体設定]

2 [Wi-Fi]をONにする

3 [Wi-Fi]→Wi-Fiネットワークを選択

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合、パスワード（セキュリティキー）を入力し、［接続］をタップします。
- Wi-Fiネットワークを選択後、接続を選択する画面が表示される場合があります。

✔**お知らせ**

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的にLTE／3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- ドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合は、あらかじめWi-Fiオプションパスワードの設定が必要です。設定するには、ホーム画面で→［本体設定］→［ドコモサービス］→［ドコモアプリWi-Fi利用設定］→［Wi-Fiオプションパスワード］をタップして操作してください。

❖Wi-Fiネットワークのスキャン

- あらかじめWi-FiをONにしてください。

1 ホーム画面で→[本体設定]→[Wi-Fi]

2 →[スキャン]

❖Wi-Fiネットワークの追加

ネットワークSSIDやセキュリティを入力して、手動でWi-Fiネットワークを追加します。

- あらかじめWi-FiをONにしてください。

1 ホーム画面で→[本体設定]→[Wi-Fi]

2 [＋]

3 追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択

- セキュリティは［なし］［WEP］［WPA/WPA2 PSK］［802.1x EAP］が設定可能です。

4 必要に応じて追加のセキュリティ情報を入力→[保存]

❖Wi-Fiネットワークの切断

1 ホーム画面で→[本体設定]→[Wi-Fi]

2 接続しているWi-Fiネットワークを選択→[切断]

❖Wi-Fi Directで他の機器と接続

アクセスポイントなどを経由せずに、Wi-Fi Direct対応機器どうしで接続ができます。

- あらかじめWi-FiをONにしてください。
- Wi-Fi Directを利用して動画や静止画などのデータ交換を行うためには、Wi-Fi Directのデータ交換に対応したアプリを入手し、インストールする必要があります。

1 ホーム画面で☰→[本体設定]→[Wi-Fi]

2 ☰→[Wi-Fi Direct]

- 接続するWi-Fi Direct対応機器が表示されないときは、[デバイスの検索]をタップします。

3 検出されたWi-Fi Direct対応機器をタップ

Wi-Fi Direct対応機器の切断：接続済みのWi-Fi Direct対応機器をタップ→[OK]

■ 他のWi-Fi Direct対応機器から接続要求を受けた場合

接続への招待画面が表示された場合は、[同意する]をタップしてください。

❖Wi-Fiの詳細設定

1 ホーム画面で☰→[本体設定]→[Wi-Fi]

2 ☰→[詳細設定]

3 各項目を設定

ネットワークの通知：Wi-Fiのオープンネットワークが利用可能なとき、通知するように設定します。

Wi-FiオートON／OFF：モバイルネットワーク基地局の情報を用いて、自動でWi-Fi機能をON／OFFします。Wi-Fi接続したエリアを検出したときに自動でWi-FiをON、Wi-Fi接続していないエリアを検出したときに自動でWi-FiをOFFにするかを設定します。

画面消灯時のWi-Fi設定：本端末の画面が消灯したときや充電しているとき、Wi-Fiを使用するかを設定します。

接続不良のとき無効にする：Wi-Fiネットワークが不安定なとき、Wi-Fiネットワークを使用しないようにするかを設定します。

Wi-Fi周波数帯域：Wi-Fiの周波数帯域を設定します。

Wi-Fi最適化：Wi-FiがONのとき、消費電力を抑えるようにするかを設定します。

MACアドレス／IPアドレス：MACアドレス、IPアドレスが表示されます。

✔お知らせ

- [Wi-FiオートON／OFF]は、機内モードがONの場合、動作しません。
- [Wi-FiオートON／OFF]は、Wi-Fiエリアの情報が変わった場合などに自動で接続できないことがあります。その場合は、手動で接続してください。

- ［Wi-FiオートON／OFF］をONにしてWi-Fiネットワーク接続を優先にすることで、パケット通信によるデータ通信量を抑えることができます。

◆ Wi-Fiネットワークの簡単登録

AOSS™またはWPSに対応した無線LANアクセスポイントを利用して接続する場合は、簡単な操作で接続できます。

1 ホーム画面で→［本体設定］

2 ［Wi-Fi簡単登録］→登録方式を選択

AOSS™方式：**［AOSS方式］→［AOSS］ボタンをタップ→アクセスポイント側で操作→接続完了画面で［完了］**

- 初めて利用する場合は、「ソフトウェア使用許諾契約」に同意いただく必要があります。

WPS方式：**［WPS方式］→［プッシュボタン方式］／［PIN入力方式（8桁）］／［PIN入力方式（4桁）］→アクセスポイント側で操作**

- プッシュボタン方式の場合は、アクセスポイント側で専用ボタンを押します。PIN入力方式の場合は、本端末に表示されたPINコードをアクセスポイント側で入力後、［OK］をタップします。

✔お知らせ

- 無線LANアクセスポイントによっては、AOSS™方式での接続ができない場合があります。接続できない場合はWPS方式または手動で接続してください。
- 無線LANアクセスポイント側のセキュリティがWEPに設定されている場合は、WPS方式で接続できません。

◆ データ使用

モバイルネットワーク経由のインターネットアクセスを有効にしたり、グラフ上でモバイルデータ通信使用量の制限や警告を行う使用量の設定をしたりできます。

1 ホーム画面で→［本体設定］→無線とネットワークの［その他...］→［データ使用］

2 ［モバイルデータ］をONにする

データ使用の管理画面が表示され、期間ごとやアプリごとのモバイルデータ通信使用量（目安）が表示されます。

- ［モバイルデータの制限を設定する］にチェックを付けると、使用量の制限を設定できます。
- →［バックグラウンドデータ制限］にチェックを付けると、バックグラウンドデータを制限することができます。
- →［データの自動同期］にチェックを付けると、オンラインサービスの情報を本端末に同期することができます。

◆ 機内モード

機内モードを設定すると、本端末のワイヤレス機能（電話、パケット通信、Wi-Fi、Bluetooth機能）が無効になります。ただし、Wi-FiおよびBluetooth機能は機内モード中に手動でONにすることができます。

1 ホーム画面で→［本体設定］

2 無線とネットワークの［その他...］→［機内モード］を［ON］／［OFF］

✔お知らせ

- ⏻を押し続けて表示される携帯電話オプションメニューからも設定／解除できます。

◆ VPN（仮想プライベートネットワーク）への接続

VPN（Virtual Private Network：仮想プライベートネットワーク）は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。本端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

- ISPをspモードに設定している場合は、PPTPはご利用いただけません。
- 認証操作が必要になる場合があります。あらかじめ、セキュリティ解除方法の暗証番号、パスワードまたは指紋を設定してください。→P121

❖VPNの追加

1 ホーム画面で≡→[本体設定]→無線とネットワークの[その他...]→[VPN設定]

2 [＋]→VPN設定の各項目を設定→[保存]

❖VPNへの接続

1 ホーム画面で≡→[本体設定]→無線とネットワークの[その他...]→[VPN設定]

2 接続するVPNを選択

3 必要な認証情報を入力→[接続]

- VPNに接続すると、ステータスバーに🔑が表示されます。

❖VPNの切断

1 通知パネルを開く

2 VPN接続中を示す通知を選択→[切断]

◆ パケット接続の停止

アプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信を切断するかタイムアウトにならないかぎり、接続されたままになります。必要に応じて、パケット通信の有効／無効を切り替えてください。

1 ホーム画面で≡→[本体設定]→無線とネットワークの[その他...]→[モバイルネットワーク]

2 [データ通信を有効にする]のチェックを外す

音・バイブレーション設定

◆ 音量

メディア再生音、着信音と通知音、アラームの音量を調節できます。

- マナーモード中は設定できません。

1 **ホーム画面で▤→[本体設定]→[音・バイブレーション設定]→[音量]**

2 **スライダーをスライドして音量を調節→[OK]**

◆ 気配り着信

走行／歩行時や周囲の音に応じて、電話着信やメール受信時の着信音を自動調整するかを設定します。

1 **ホーム画面で▤→[本体設定]→[音・バイブレーション設定]→[気配り着信]**

2 **[周囲に合わせて自動調整]にチェック／チェックを外す**

◆ マナーモード

マナーモードを設定／解除します。

- マナーモードの種類は変更できます。→P110

1 **ホーム画面で▤→[本体設定]→[音・バイブレーション設定]→[マナーモード]**

2 **[マナーモードを有効]にチェック／チェックを外す**

- マナーモードが起動すると、ステータスバーにステータスアイコンが表示されます。アイコンはマナーモードの種類によって異なります。各アイコンについては「ステータスバーのアイコン」をご覧ください。→P44

✔お知らせ

- 次の方法でもマナーモードを設定／解除できます。
  - ▾（1秒以上）
  - 携帯電話オプションメニューが表示されるまで⏻を押し続ける→［通常マナー］→［OK］をタップ

  ※ 設定しているマナーモードによっては、［サイレントマナー］／［アラームONマナー］／［オリジナルマナー］をタップします。
- マナーモード中でも、カメラ起動時のスクリーンショット音やキャプメモのキャプチャ音、シャッター音、オートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音、Bluetooth Low Energy設定のFind Me通知音は鳴ります。

❖マナーモードの種類を変更

1 ホーム画面で[メニュー]→[本体設定]→[音・バイブレーション設定]→[マナーモード]→[マナーモード選択]

2 項目を選択

通常マナー：本端末のスピーカーから音を鳴らしません。

サイレントマナー：音を鳴らさないだけでなく、バイブレーションもオフになります。

アラームONマナー：アラームの音量とバイブレーションがアラームの設定に従う以外は、通常のマナーモードと同じです。

オリジナルマナー：音の種類ごとの音量と着信時のバイブレーションを設定できます。

- オリジナルマナーの音量を［サイレント］に設定している場合、[▲]を押すなどして音量を上げると、オリジナルマナーの音量の設定も変更されますのでご注意ください。

❖オリジナルマナー

1 ホーム画面で[メニュー]→[本体設定]→[音・バイブレーション設定]→[マナーモード]→[オリジナルマナー]

2 [音声着信音量]／[メディア再生音量]／[アラーム音量]／[通知音量]

3 スライダーをスライドして音量を調節→[OK]

4 [バイブレーション]にチェック／チェックを外す

◆ ふせたらサウンドオフ

本端末を裏返すことにより、一時的に着信音やアラームなどの音を停止するかを設定します。ただし、アプリによっては停止しない場合があります。

- バイブレーションを設定している場合は、一時的にバイブレータも停止します。

1 ホーム画面で[メニュー]→[本体設定]→[音・バイブレーション設定]

2 [ふせたらサウンドオフ]にチェック／チェックを外す

◆ 着信音／通知音／操作音／バイブレーションの設定

1 ホーム画面で[メニュー]→[本体設定]→[音・バイブレーション設定]

2 各項目を設定

マイク入力：ステレオイヤホン接続時の音声入力先を設定します。マイクなしのステレオイヤホンを接続時は［端末のマイク］を選択してください。
着信音：電話着信音を設定します。
着信バイブレーション：着信音が鳴っているときに、振動でもお知らせするかを設定します。
- マナーモード中は設定できません。

通知音：通知音を設定します。
ダイヤルパッド操作音：ダイヤルパッド操作音のオン／オフを切り替えます。
タッチ操作音：メニュー選択時のタッチ操作音のオン／オフを切り替えます。
画面ロックの音：画面ロックがかかったときやロックを解除したときの通知音のオン／オフを切り替えます。
充電通知バイブ：充電開始時および終了時に振動でお知らせするかを設定します。
ロック解除時バイブ：画面ロックの解除時に、振動でお知らせするかを設定します。

✔**お知らせ**
- 電話帳に着信音を設定している場合は、電話帳の着信音が優先されます。

◆ 着信LED

不在着信や伝言メモがあるときのお知らせLEDの色を設定します。

1 ホーム画面で[メニュー]→[本体設定]→[音・バイブレーション設定]→[着信LED]→カラーを選択→[OK]

◆ はっきりタッチ

タップが認識されていることを振動でお知らせするかを設定します。

1 ホーム画面で[メニュー]→[本体設定]→[音・バイブレーション設定]

2 [はっきりタッチ]にチェック／チェックを外す

- ［振動の強さ］で振動の強度を設定できます。
- ［歩行中の強度アップ］にチェックを付けると移動中のはっきりタッチの振動を強くします。

ディスプレイ

◆ 画面の明るさ

画面の明るさを設定します。

1 ホーム画面で■→[本体設定]→[ディスプレイ]→[画面の明るさ]

2 スライダーをスライドして明るさを調節→[OK]

- 周囲の状況に応じて明るさを自動調整する場合は、［明るさを自動調整］にチェックを付け、スライダーをスライドして明るさを調節します。
- 屋外のような明るい場所でも画面を見やすくする場合は、［スーパークリアモード］にチェックを付けます。

◆ スリープ／持ってる間ON

❖スリープ

画面が消灯するまでの時間を設定します。

1 ホーム画面で■→[本体設定]→[ディスプレイ]→[スリープ／持ってる間ON]

2 [スリープ]→時間を選択

❖持ってる間ON

本端末を手に持って動きのある間は、画面を消灯しないようにするかを設定します。

1 ホーム画面で■→[本体設定]→[ディスプレイ]→[スリープ／持ってる間ON]

2 [持ってる間ON]にチェック／チェックを外す

- ［水平時すぐにスリープ］にチェックを付けると、本端末が水平なときは、［スリープ］で設定した時間に関わらず約5秒後に画面が消灯します。

◆ スクリーンセーバー

充電中、スリープモードになった場合に表示するスクリーンセーバーを設定します。

1 ホーム画面で■→[本体設定]→[ディスプレイ]→[スクリーンセーバー]→画面右上を[ON]

2 各項目を設定

◆ プライバシービュー

周りの人から画面を見えにくくするかを設定します。

1 ホーム画面で■→[本体設定]→[ディスプレイ]

2 [プライバシービュー]にチェック／チェックを外す

◆ ナビゲーションバー

ナビゲーションバーの色を変更します。

1 **ホーム画面で■→[本体設定]→[ディスプレイ]→[ナビゲーションバー]→色を選択**

◆ 電池アイコン

電池アイコンを変更します。

1 **ホーム画面で■→[本体設定]→[ディスプレイ]→[電池アイコン]→アイコンを選択**

◆ 画面の自動回転

本端末の向きに合わせて画面を回転させるかを設定します。

1 **ホーム画面で■→[本体設定]→[ディスプレイ]**

2 **[画面の自動回転]にチェック／チェックを外す**

✔お知らせ

- アプリによっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

◆ あわせるズーム

本端末の揺れを検知したときに、ブラウザ画面を自動で拡大するかを設定します。

- あわせるズームを利用するには、あらかじめ［ウォーキング／Exカウンタ利用設定］を設定する必要があります。→P128

1 **ホーム画面で■→[本体設定]→[ディスプレイ]→[あわせるズーム]→各項目を設定**

◆ インテリカラー

蛍光灯、電球、太陽光など、周囲の光環境に合わせて画面の色味を自動で調整するかを設定します。

1 **ホーム画面で■→[本体設定]→[ディスプレイ]**

2 **[インテリカラー]にチェック／チェックを外す**

◆ 戻ってシェイク

［画面の自動回転］で画面の向きが変わった直後に、本端末を2回振ることで画面の向きを元に戻すことができます。

1 ホーム画面で☰→［本体設定］→［ディスプレイ］→［戻ってシェイク］→各項目を設定

- ［バイブ通知］にチェックを付けると、画面の向きが戻るときに振動でお知らせします。

✔**お知らせ**

- 本機能を利用する場合は、画面の向きが変わってから1分以内で操作してください。
- 画面の向きが変わった直後に本端末を2回振ると画面の向きが元に戻り、ステータスバーにが表示され、画面が固定されます。端末の向きを元に戻すと約3秒後にが消え、画面の固定が解除されます。
- 本端末の振りかたの強さや速度、振る角度によっては、動作しない場合があります。

◆ フォント

表示フォントの種類を変更します。

1 ホーム画面で☰→［本体設定］→［ディスプレイ］→［フォント］→フォントを選択→［OK］

✔**お知らせ**

- 画面によっては、電源を入れ直すとフォントの設定が反映されます。
- アプリやWebサイトによっては、フォントの設定が反映されない場合やフォントが正しく表示されない場合があります。

◆ フォントサイズ

文字の大きさを変更します。

1 ホーム画面で☰→［本体設定］→［ディスプレイ］→［フォントサイズ］→サイズを選択

◆ 利き手

片手で操作するときに画面をタップする手を設定して、タップの精度を高くするかを設定します。

1 ホーム画面で☰→［本体設定］→［ディスプレイ］→［利き手］→項目を選択

◆ うっかりタッチサポート

端末を手に持ったとき、画面の端に触れていてもタップ操作が行えるように設定します。

1 ホーム画面で☰→［本体設定］→［ディスプレイ］

2 ［うっかりタッチサポート］にチェック／チェックを外す

マルチメディア

◆ 動画補正／静止画補正

動画（メディアプレイヤーやギャラリー）と、静止画（ギャラリー）の画質補正をするかを設定します。

1 ホーム画面で▤→[本体設定]→[マルチメディア]

2 [動画補正]／[静止画補正]にチェック／チェックを外す

✔**お知らせ**

- カメラで録画した動画や、ダウンロードなどでmicroSDカード内に保存した動画も、1080p以下のサイズであれば再生時に画質補正されます。
- 動画によっては画質補正されない場合もあります。

◆ 長時間再生モード

MP3、AACの音楽再生時に消費電力を抑えるようにするかを設定します。

1 ホーム画面で▤→[本体設定]→[マルチメディア]

2 [長時間再生モード]にチェック／チェックを外す

ストレージ

◆ メモリ空き容量の確認

本端末、microSDカードの空き容量を確認します。

1 ホーム画面で▤→[本体設定]→[ストレージ]

◆ microSDカードのデータ消去（フォーマット）

- 操作を行うと、microSDカード内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

1 ホーム画面で▤→[本体設定]→[ストレージ]→[SDカードのマウント解除]

- microSDカードのマウント解除についての注意が表示された場合は［OK］をタップします。

2 [SDカード内データを消去]→[SDカード内データを消去]

- セキュリティ解除方法が設定されているときは、認証操作が必要です。

3 [すべて消去]

電池

電池残量や電池の使用状況などを確認します。

1 ホーム画面で☰→[本体設定]→[電池]

2 項目を確認

バッテリモニターセンサー：電池残量と、通話などの使用可能時間を表示します。

電池の使用量：電池残量、電池使用時間、使用中のアプリを表示します。

アプリ動作時間：アプリの動作時間を1カ月分まで表示します。

アプリ電池診断：画面消灯中にバックグラウンドで動作するなど、電池の消費に影響があるアプリを表示します。

NX!エコ

◆ エコモードの起動／停止

エコモードを起動／停止します。

- エコモードが起動すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。

1 ホーム画面で☰→[本体設定]→[NX!エコ]

2 [ON]／[OFF]

- エコモードを停止するときに、エコ動作停止の確認画面が表示されることがあります。

❖エコモードの詳細設定

1 ホーム画面で☰→[本体設定]→[NX!エコ]

2 [詳細設定]→各項目を設定

エコレベル：エコレベルの種類を設定します。

- ［やんわり］／［しっかり］を設定した場合は、［確認］をタップして設定内容を確認できます。［オリジナル］を設定した場合は、［編集］をタップして設定内容を確認・変更できます。

電池残量：設定した電池残量より少なくなると、エコモードが起動します。

タイマー：設定した時間帯になると、エコモードが起動します。

✔お知らせ

- ［電源接続中は実行しない］にチェックを付けると、充電中はエコモードが解除されます。
- お買い上げ時は、電池をフル充電してから本機能をお使いください。充電が十分でない場合、「電池残量」で設定されているエコモードが起動しないことがあります。
- アプリによっては、本機能の効果を得られない場合があります。
- 右上のアイコンをタップすると、バッテリモニターセンサーが表示されます。

アプリケーション

◆ 本端末のアプリに許可されている動作の表示

1 ホーム画面で▤→[本体設定]→[アプリケーション]

2 アプリを選択

◆ アプリのデータやキャッシュの消去

1 ホーム画面で▤→[本体設定]→[アプリケーション]

2 アプリを選択→[データを消去]／[キャッシュを消去]

- ［データを消去］を選択した場合は［OK］をタップします。

◆ アプリの削除

- お買い上げ時にインストールされているアプリによっては削除できません。また、削除した場合は本端末をリセットすると復元することができます。

1 ホーム画面で▤→[本体設定]→[アプリケーション]

2 アプリを選択→[アンインストール]→[OK]

◆ アプリの無効化

- アプリの無効化は、アンインストールできない一部のアプリやサービスで利用できます。無効化したアプリはアプリ一覧画面などに表示されず、起動もできなくなりますが、アンインストールはされていません。

1 ホーム画面で▤→[本体設定]→[アプリケーション]

2 アプリを選択→[無効にする]／[有効にする]

- ［無効にする］を選択した場合は［OK］をタップします。

✔**お知らせ**

- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しないことがあります。その場合、再度アプリを有効にすることで正しく動作します。

ドコモサービス

ドコモサービスの設定を行います。

1 **ホーム画面で■→[本体設定]→[ドコモサービス]**

2 **各項目を設定**

ドコモクラウド：ドコモ電話帳やトルカなどのドコモクラウドの設定を行います。

アプリケーション管理：定期アップデート確認などの設定を行います。

ドコモアプリWi-Fi利用設定：Wi-Fi機能を利用してドコモサービスを利用するための設定を行います。

ドコモアプリパスワード：ドコモが提供するアプリで利用するパスワードの設定を行います。お買い上げ時は「0000」に設定されています。

オートGPS：オートGPS機能の設定などを行います。

ドコモ位置情報：イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。

データ量確認：データ量確認アプリの集計間隔、計測の開始／停止などを設定します。

SDカードバックアップ：端末内に保存されているデータのバックアップ／復元を行います。→P97

端末エラー情報送信：エラー情報をドコモが管理するサーバーへ送信するための設定を行います。

オープンソースライセンス：オープンソースライセンスを表示します。

ロック／セキュリティ

◆ 本端末で利用する暗証番号

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末をロックするためのパスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

- PINロック解除コード（PUK）は、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

❖ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモインフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。なおdメニューからは、dメニュー→「お客様サポート」→「各種お申込・お手続き」からお客様ご自身で変更ができます。

※「My docomo」「お客様サポート」については、P189（「取扱説明書」アプリでは、「付録」の「マナーもいっしょに携帯しましょう」）をご覧ください。

❖PINコード

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P120

PINコードは、第三者によるドコモminiUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作ができます。

- 別の端末で利用していたドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。ロックを解除しないと新しいPINコードは設定できません。
- ドコモminiUIMカードがPINロックまたはPUKロックされた場合は、ドコモminiUIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。

❖PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモminiUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
- ドコモminiUIMカードがPINロックまたはPUKロックされた場合は、ドコモminiUIMカードを取り外すことでホーム画面が表示されるようになり、Wi-Fi接続による通信が可能です。

❖microSDパスワード

microSDカードにパスワードを設定できます。パスワードを設定したmicroSDカードを他の端末に取り付けて使用する場合は、その端末にパスワード認証をする必要があります。パソコンやパスワード設定機能のない端末などに取り付けた場合には、データの利用や初期化ができません。

- microSDカードによっては本機能に対応していない場合があります。

◆ PINコードの設定

❖SIMカードロックの設定

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定します。

1. **ホーム画面で▤→[本体設定]→[セキュリティ]→[SIMカードロック設定]**
2. **[SIMカードをロック]→PINコードを入力→[OK]**
   - 設定を解除するには、［SIMカードをロック］→PINコードを入力→［OK］でチェックを外します。

✔お知らせ

- 初めてPINコードを入力する場合は、「0000」を入力してください。

❖PINコードの変更

あらかじめPINコードを設定（［SIMカードをロック］にチェックを付ける）しておく必要があります。

1. **ホーム画面で▤→[本体設定]→[セキュリティ]→[SIMカードロック設定]**
2. **[SIM PINの変更]**
3. **現在のPINコードを入力→[OK]**
4. **新しいPINコードを入力→[OK]**
5. **新しいPINコードを再入力→[OK]**

❖PINコードの入力

1 **電源を入れる→コード入力画面でPINコードを入力→[⏎]**

❖PINロックの解除

PINコードがロックされた場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

1 **コード入力画面でPINロック解除コードを入力→[⏎]**

2 **新しいPINコードを入力→[⏎]**

3 **新しいPINコードを再入力→[⏎]**

◆ 画面ロック

誤操作防止用にロック画面を表示したり、他人が不正に使用するのを防ぐためにロック画面で認証操作を必要にしたりできます。

❖セキュリティ解除方法の設定

画面ロックの解除時に使用する認証操作の種類などを設定します。

1 **ホーム画面で[≡]→[本体設定]→[セキュリティ]→[セキュリティ解除方法]**

2 **認証操作**

- 初めて設定するときは、認証操作は必要ありません。

3 **項目を選択**

なし：ロック画面を表示しないように設定します。
スワイプ：スワイプでロック解除するように設定します。
パターン：最低4つの点を結ぶパターンでロック解除するように設定します。
暗証番号：暗証番号（4～16桁の数字）でロック解除するように設定します。
パスワード：パスワード（英字を含む4～16桁の英数字と記号）でロック解除するように設定します。
指紋：指紋認証でロック解除するように設定します。

- 指紋認証を利用する場合は、留意事項（→P123）を確認してから指紋登録をしてください。
- すでに指紋を登録している場合で、初めてセキュリティ解除方法を設定するときは、［指紋］をタップした後に指紋認証の操作が必要です。

✔お知らせ

- ロック解除時にパターンを表示させない場合は、ホーム画面で[≡]→［本体設定］→［セキュリティ］→［パターンを表示する］のチェックを外します。
- パスワード入力時に入力した文字を表示させない場合は、ホーム画面で[≡]→［本体設定］→［セキュリティ］→［パスワードを表示する］のチェックを外します。
- 認証ストレージを利用している場合、セキュリティ解除方法は暗証番号とパスワードのみ使用できます。
- 認証ストレージを利用している場合、指紋と併用する解除方法を設定すると、電源を入れ直したあと一時的に指紋認証が利用できなくなることがあります。この場合、指紋と併用する解除方法で一度認証すると、以降は指紋認証が利用できるようになります。

❖画面のロック／解除

■ ロック

1 ⏻／指紋センサーを押す

スリープモードになり、画面ロックがかかります。

■ ロック解除

1 スリープモード中に⏻／指紋センサーを押す→ロック画面で上にスワイプ

- セキュリティ解除方法の設定（→P121）によっては、ロック画面での認証操作になります。
- 指紋認証の場合、操作1で指紋センサーを押したときは、指を指紋センサーから離してから、指紋センサー上を登録した指でスライドして解除ができます。
- 指紋認証ができないときは、他の解除方法のボタンをタップして認証操作ができます。

✔お知らせ

- ロック画面で認証操作が必要なセキュリティ解除方法を選択した場合、ホーム画面で☰→［本体設定］→［セキュリティ］→［電源ボタンですぐにロックする］にチェックを付けると、⏻／指紋センサーを押してすぐに画面ロックがかかり、解除するには認証操作が必要になります。
- ホーム画面で☰→［本体設定］→［セキュリティ］→［左にスライドでカメラ起動］にチェックを付けると、ロック画面で左にフリックしてカメラ起動画面が表示されるようになります。ただし、設定したアカウントや利用環境によっては、動作しない場合があります。

❖ロック画面の壁紙設定

ロック画面の壁紙を設定します。

1 ホーム画面で☰→［本体設定］→［セキュリティ］

2 ［ロック画面壁紙］→各項目を選択

❖ロック画面に所有者情報を表示

1 ホーム画面で☰→［本体設定］→［セキュリティ］

2 ［所有者情報］→所有者情報を入力

- ［ロック画面に所有者情報を表示］のチェックが外れている場合は、チェックを付けます。

❖画面の自動ロック

ロック画面で認証操作が必要なセキュリティ解除方法を選択した場合、スリープモードになってから設定した時間が経過すると、画面ロックがかかるように設定できます。

- あらかじめセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→P121

1 ホーム画面で☰→［本体設定］→［セキュリティ］

2 ［自動ロック］→時間を選択

◆ 指紋認証機能

指紋認証機能は、指紋センサーに指をスライドして行う認証操作です。

❖ 指紋認証機能利用時の留意事項

指紋認証機能利用時の留意事項は次のとおりです。

- 本機能は指紋画像の特徴情報を認証に利用するものです。このため、指紋の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証機能が利用できないことがあります。
- 指紋の登録には同じ指で3回以上の読み取りが必要です。異なる指で登録を行わないでください。
- 認証性能（正しく指をスライドさせた際に指紋が認証される性能）はお客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変えるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
  - お風呂上がりなどで指がふやけていたり、濡れていたり、汗をかいたりしている
  - 指に汗や脂が多く、指紋の間が埋まっていたり、泥や油などで汚れている
  - 手が荒れたり、指に損傷（切傷やただれなど）を負ったりしている
  - 手が極端に乾燥している、乾燥肌である
  - 太ったりやせたりして指紋が変化した
  - 磨耗して指紋が薄い
  - 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
- 指紋の登録・認証の際は、第1関節をセンサー中央に合わせ、センサーと平行になるように指を押し当てながら指紋センサーの領域を通過するまで下方向へスライドさせます。登録時と認証時の指の位置の違いによる認証失敗を防ぐためには、端末と同じ方向に指を置いてスライドさせてください。
- スライドが速すぎたり遅すぎたりすると、正常に認識できないことがあります。
- 親指は指紋の渦の中心がずれたりゆがんだりして、登録や認証が困難な場合があります。できるだけ指紋の渦の中心が指紋センサーの中心を通過するようにスライドさせてください。
- 指紋が正常に読み取れなかったときは、警告メッセージが表示されます。
- 指紋センサーに指を置いたまま指紋の登録・認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離して操作をやり直してください。
- 端末を、デスクトップパソコンなどアースを必要とする機器にUSBケーブルで接続するときは、必ず機器のアースが接続されていることを確認してください。アースが接続されていない状態で接続している間は、指紋認証できない場合があります。その場合は、端末を機器から取り外して指紋認証を行ってください。
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

❖指紋センサー利用時の留意事項

指紋センサー利用時の留意事項は次のとおりです。

- 指紋センサー表面のシート部は防水性を維持するための保護膜です。はがしたり、ペン先など鋭利なものでつついたりしないでください。
- 指紋センサー表面は防水性を有していますが、指紋センサー表面や操作する指先に水滴や汚れが付着した場合は誤動作の原因となります。柔らかい布で水滴・汚れを取り除いてご使用ください。また、水分により指先がふやけた場合でも、誤動作の原因となる場合があります。
- 次のような場合は、故障および破損の原因となることがあります。
  - ぶつけたり、強い衝撃を与えたりする
  - ひっかいたり、先の尖ったものでつついたりする
  - 爪やストラップの金具など硬いものを押し付け、指紋センサー表面にキズが入る
  - 泥などで指紋センサー表面にキズが入る、表面が汚れる
  - シールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりする
- 次のような場合は、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
  - ほこりや皮脂などの汚れ、汗などの水分の付着や結露
- 次のような現象が起きる場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が改善されることがあります。
  - 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する
- 指紋センサーを清掃する際には、静電気の発生しにくい乾いた柔らかい布で表面の汚れを取り除いてください。長期間の使用によりゴミがたまることがありますが、その場合でも先の尖ったもので取り除かないでください。
- 静電気が故障の原因となる場合があります。指紋センサーに指を置く前に、金属に手を触れるなどして静電気を取り除いてください。冬期など乾燥する時期は、特にご注意ください。

❖指紋登録

指紋認証に使う指の指紋を登録します。

- 指紋認証を利用するには、2件以上の指紋登録が必要です。最大10件登録できます。

1 ホーム画面で☰→[本体設定]→[セキュリティ]→[指紋設定]

- ロック画面で認証操作が必要なセキュリティ解除方法が設定されている場合は、認証操作が必要です。また、セキュリティ解除方法が設定されていない場合でも、すでに指紋を登録しているときは指紋認証の操作が必要です。

2 登録する指を選択→メッセージに従って指紋センサーを押さない程度の力で指をスライド

- 2件目も同様の操作で登録します。

登録した指紋の削除：削除する指を選択→［はい］

- セキュリティ解除方法が、指紋認証に設定されているときは、登録件数が2件の場合は削除できません。

3 [OK]

❖指紋認証の操作

1 指紋認証画面が表示されたら、指紋センサー上を登録した指でスライド

- 正しく認証されない場合は、指を指紋センサーから離し、もう一度認証操作を行ってください。

◆ アプリケーションロック

起動時に認証操作を必要とするアプリを設定します。

- あらかじめ、ロック画面で認証操作が必要なセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→P121

1 ホーム画面で☰→[本体設定]→[セキュリティ]

2 [アプリケーションロック]→認証操作→各項目を設定

3 ☰→[設定]→[アプリケーションロック]にチェック／チェックを外す

◆ パスワードマネージャー

ID（アカウント）やパスワードなど認証情報を登録して管理します。登録した内容は引用して入力できます。→P37

- あらかじめセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→P121
- 最大50件登録できます。

1 ホーム画面で☰→[本体設定]→[セキュリティ]→[パスワードマネージャー]→認証操作

2 [新規登録]→各項目を設定→[OK]

パスワードの編集：タイトルをタップ→各項目を編集→ [OK]
パスワードの削除：タイトルをロングタッチ→そのまま画面下部🗑の上にドラッグ＆ドロップ→ [OK]
全件削除：☰→ [全件削除] → [OK]

◆ 最近使ったアプリの表示

ホームキーを1秒以上押したときに、最近使ったアプリを表示するか設定します。

1 ホーム画面で☰→[本体設定]→[セキュリティ]

2 [最近使ったアプリを表示しない]にチェック／チェックを外す

◆ 提供元不明のアプリのインストールを許可

提供元不明のアプリのインストールを許可します。

- 本端末と個人データを保護するため、信頼できる発行元からのアプリのみインストールしてください。

1 ホーム画面で☰→[本体設定]→[セキュリティ]

2 [提供元不明のアプリ]にチェック→注意文を確認後に[OK]

◆ 認証情報の管理

VPNなどに接続するための認証情報やその他の証明書をmicroSDカードからインストールできます。

❖信頼できる認証情報や証明書の表示

1 ホーム画面で☰→[本体設定]→[セキュリティ]

2 [信頼できる認証情報]

✔**お知らせ**

- インストールした証明書を削除する場合は、「認証ストレージの消去」から削除してください。

❖認証情報や証明書のインストール

microSDカードから認証情報や証明書をインストールします。

1 ホーム画面で☰→[本体設定]→[セキュリティ]

2 [SDカードからインストール]→インストールする認証情報／証明書を選択

3 必要な場合はパスワードを入力→[OK]

4 認証情報／証明書の名前を入力→[OK]

❖認証ストレージの消去

認証ストレージからすべての認証情報や証明書、VPNの設定を消去します。

1 ホーム画面で☰→[本体設定]→[セキュリティ]

2 [認証ストレージの消去]→[OK]

◆ SDカードパスワード設定

microSDカードにパスワードを設定して、他人が不正に使用するのを防ぎます。

- microSDカードによっては本機能に対応していない場合があります。
- あらかじめセキュリティ解除方法を設定する必要があります。→P121

1 ホーム画面で☰→[本体設定]→[セキュリティ]

2 [SDカード パスワード設定]→認証操作

3 各項目を設定

- SDカードのマウント解除についての注意が表示された場合は［OK］をタップします。

パスワード登録：microSDカードのパスワード（半角16桁以内）を登録します。

- microSDカードごとに1件、最大20件登録できます。最大件数以上の登録があった場合は、最も古い日付の登録情報を削除して登録します。

パスワード認証：本端末以外でパスワードが設定されたmicroSDカードのパスワード認証をします。
パスワード変更：microSDカードのパスワードを変更します。
パスワード削除：microSDカードのパスワードを削除します。
パスワード強制削除：microSDカードのパスワードを含むすべてのデータを削除します。

■ microSDカードにパスワードを設定すると

microSDカードを他の端末に取り付けた場合はパスワード認証が必要です。パソコンやパスワード設定機能のない端末などに取り付けた場合には、データの利用や初期化もできません。

暗号化設定

◆ 端末の暗号化

端末にあるすべてのデータ（設定、アプリを含む）を暗号化します。暗号化後は電源を入れるたびに暗証番号またはパスワードでの復元が必要です。暗号化を解除するには、本端末の初期化が必要です。

- あらかじめセキュリティ解除方法の［暗証番号］または［パスワード］を設定する必要があります。→P121

1 **ホーム画面で→［本体設定］→［セキュリティ］→［暗号化設定］**

2 **［端末の暗号化］→［携帯端末を暗号化］→認証操作→［携帯端末を暗号化］**

✔お知らせ

- 暗号化後、電源を入れるたびに暗証番号またはパスワードの入力画面が表示されますが、このときにキーボードの「,」をロングタッチして表示されるをタップして［入力言語］／［Androidキーボードの設定］を選択すると、パスワード入力画面に戻ることができません。この場合は、本端末を再起動してください。
  なお、設定を変更して再起動しても、［入力言語］／［Androidキーボードの設定］の変更は反映されません。
- 暗号化後、SIMカードロック解除画面で［緊急通報］を選択してダイヤル画面が表示された場合、を2回押すとSIMカードロック解除画面に戻ります。

◆ SDカードの暗号化

本端末に挿入されたmicroSDカードにあるすべてのデータを暗号化します。

- あらかじめセキュリティ解除方法の［暗証番号］または［パスワード］を設定する必要があります。→P121

1 ホーム画面で ☰ →［本体設定］→［セキュリティ］→［暗号化設定］

2 ［SDカードの暗号化］→［SDカードを暗号化］→認証操作→［SDカードを暗号化］

設定を解除：［SDカードの暗号化解除］→［SDカードを暗号化解除］→認証操作→［SDカードを暗号化解除］

✔お知らせ

- 暗号化したmicroSDカードのデータは、本端末以外では利用できなくなります。データの初期化を行うと暗号化されたmicroSDカードのデータが使えなくなりますので、本端末の初期化を行う前にmicroSD カードの暗号化を解除してください。

自分からだ設定

健康系のアプリやウィジェットで利用する基本情報や、あわせるボイス、ウォーキング／Exカウンタの設定などを行います。

1 ホーム画面で ☰ →［本体設定］→ユーザー設定の［その他...］→［自分からだ設定］

2 各項目を設定

基本情報：誕生日や身長、体重などを設定します。

あわせるボイス：お客様に合った聞こえやすい音質を設定します。→P60

あわせるビュー：年齢に合わせて、画面の色合いを調整します。

ウォーキング／Exカウンタ利用設定：歩数／活動量計測アプリやウィジェットを設定します。

❖ウォーキング／Exカウンタご使用時の注意事項

- 歩数を正確にカウントするためには、正しく装着して（キャリングケースに入れて腰のベルトなどに装着する、かばんに入れるときは固定できるポケットや仕切りの中に入れる）毎分100～120歩程度の速さで歩くことをおすすめします。
- 正しく装着していても、手や足など身体の一部のみが動作しているなど歩行や運動が本端末に伝わらない状態では、歩数のカウントや活動量の計測が正確に行われないことがあります。

- 次の場合は歩数が正確にカウントされないことがあります。
  - 本端末を入れたかばんが足や腰に当たって不規則に動くときや、本端末を腰やかばんにぶら下げたとき
  - すり足のような歩きかたや、サンダル、下駄、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき、混雑した場所を歩くなど歩行が乱れたとき
  - 立ったり座ったり、階段や急斜面の昇り降りをしたり、乗り物（自転車、車、電車、バスなど）に乗車したりなど、上下運動や振動、横揺れなどが多いとき
  - 歩行以外のスポーツを行ったときや、ジョギングをしたとき、極端にゆっくり歩いたとき
- 本端末に振動や揺れが加わっているときは、歩数／活動量のカウントが正確に行われないことがあります。

✔お知らせ

- 誤カウントを防ぐために歩行を始めたかどうかを判断しているため、歩き始めは数値が変わりません。目安として4秒程度歩くとそこまでの歩数が加算されます。
- カウントした歩数と計測した活動量は約60分ごとに保存されます。本端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されていない歩数や活動量が消失してしまう場合があります。
- 歩数のカウントが更新されない場合は、画面を表示し直すと反映されます。
- 歩数や活動量の情報は本端末の故障、修理やその他の取り扱いによって消失してしまう場合があります。また、電池パックを外した状態や電池残量がゼロの状態で約1ヶ月以上経過すると消失してしまう場合があります。万が一、消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

スライドイン機能設定

画面の端から指をスライドさせて、表示されたランチャーからアプリを起動したり、画面をキャプチャしたりできるように設定します。

1 **ホーム画面で☰→[本体設定]→ユーザー設定の[その他...]→[スライドイン機能設定]**

2 **画面右上を[ON]→各項目を設定**

- ［機能説明］をタップするとスライドイン機能やキャプメモの使いかたが表示されます。

✔お知らせ

- ランチャーに登録したアプリが更新された場合、登録が解除されることがあります。

言語と入力

- NX!inputのキーボードの設定については「NX!inputとATOKの設定」をご覧ください。→P40
- Androidキーボードなど、他の入力方法への切り替えについては、「他の入力方法に切り替え」をご覧ください。→P39

◆ 英語表示に切り替え

利用する言語を英語に変更します。

1 ホーム画面で☰→[本体設定]→ユーザー設定の[その他...]→[言語と入力]→[Language]

2 [English]

✔**お知らせ**

- アプリによっては英語表示されません。
- 日本語表示に戻す場合は次の操作を行います。
  ホーム画面で☰→［Settings］→PERSONAL：［More...］→［Language & input］→［言語］→［日本語］

◆ 単語登録

1 ホーム画面で☰→[本体設定]→ユーザー設定の[その他...]→[言語と入力]

2 [ユーザー辞書]→[＋]

3 各項目を設定

フレーズ：登録する単語を入力します。
ショートカット：入力した文字でフレーズを変換候補に表示します。
言語：登録した単語を使用する言語を設定します。

◆ Androidキーボードの設定

Androidキーボードのキー操作音やテキストの自動修正などを設定します。

1 ホーム画面で☰→[本体設定]→ユーザー設定の[その他...]→[言語と入力]

2 [Androidキーボード(AOSP)]の☷→各項目を設定

◆ テキスト読み上げの設定

テキスト読み上げプラグインの読み上げ速度を設定します。

- お買い上げ時、日本語のテキスト読み上げには対応していません。

1 ホーム画面で☰→[本体設定]→ユーザー設定の[その他...]→[言語と入力]

2 [テキスト読み上げの出力]→[音声の速度]→速度を選択

アカウントを追加

◆ アカウントの追加

1 ホーム画面で▤→[本体設定]

2 [アカウントを追加]→アカウントの種類を選択→各項目を設定

アカウントを設定：アカウントの種類を選択→アカウントを選択→各項目を設定

✔お知らせ

- 表示された画面以外の空き領域をタップすると、キャンセルの動作になる場合があります。

◆ アカウントの削除

1 ホーム画面で▤→[本体設定]

2 アカウントの種類を選択→アカウントを選択→▤→[アカウントを削除]→[アカウントを削除]

✔お知らせ

- docomoアカウントは削除できません。

◆ 手動で同期を開始

1 ホーム画面で▤→[本体設定]

2 アカウントの種類を選択→アカウントを選択→▤→[今すぐ同期]

❖同期の中止

1 同期中に▤→[同期をキャンセル]

日付と時刻

日付と時刻に関する設定を行います。

1 ホーム画面で▤→[本体設定]→[日付と時刻]

2 各項目を設定

- ［日付と時刻の自動設定］／［タイムゾーンを自動設定］のチェックを外すと、日付とタイムゾーン、時刻を手動で設定できます。

ユーザー補助

ユーザー操作を補助する設定を行います。

1 ホーム画面で☰→[本体設定]→[ユーザー補助]

2 各項目を設定

✔お知らせ

- ［電源ボタンで通話を終了］にチェックを付けている場合、通話中に⏻を押すと通話が終了します。スリープモードを解除するときは、指紋センサーを押してください。

端末情報

本端末に関する各種情報を表示します。

1 ホーム画面で☰→[本体設定]

2 [端末情報]→項目を確認

ソフトウェア更新：ソフトウェアを最新の状態にします。→P164

端末の状態：電池の状態、電話番号、各種ネットワーク名やアドレス、IMEI（個別のシリアルナンバー）などを表示します。

法的情報：オープンソースライセンスを表示します。

モデル番号／Androidバージョン／ベースバンドバージョン／カーネルバージョン／ビルド番号：各バージョンや番号を表示します。

ファイル管理

本体（内部ストレージ）

お買い上げ時の本体メモリのフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータは次のとおりです。

Alarms	アラーム音
Android	インストールしたアプリの一時ファイルなど
DCIM	カメラで撮影した静止画／動画など
Download	ブラウザなどでダウンロードしたファイル
Movies	動画（カメラで撮影した動画を除く）
Music	音楽ファイル
Notifications	通知音
Pictures	静止画（カメラで撮影した静止画を除く）
Podcasts	Podcast（インターネット経由で配信される番組など）のファイル
Ringtones	着信音

microSDカード（外部ストレージ）

◆ microSDカードについて

- 本端末は、2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードまたはmicroSDHC UHS-Iカード、64GBのmicroSDXCカードまたはmicroSDXC UHS-Iカードに対応しています（2013年12月現在）。
- 市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカへお問い合わせください。
- microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる恐れがあります。

✔お知らせ

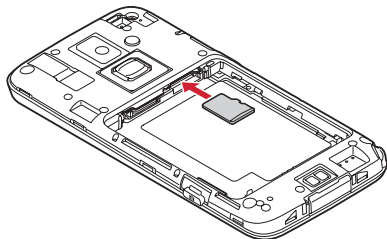
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することがあるため、差し込まないでください。データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードを初期化（データはすべて削除されます）する必要があります。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、コピー先（元）機器の規格に準拠したmicroSDHCカードまたはmicroSDカードをご利用ください。
- microSDカードのスピードクラスは、最大クラス10に対応しています。

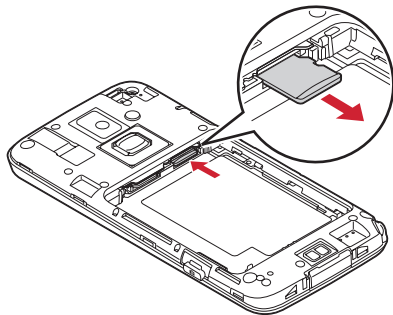
- microSDカードのUHSスピードクラスは、クラス1に対応しています。

◆ microSDカードの取り付け／取り外し

- 取り付け／取り外しは、本端末の電源を切り、リアカバーと電池パックを取り外してから行います。→P29

■ 取り付けかた

① microSDカードの金属端子面を下に向け、microSDカードスロットに「カチッ」と音がするまで差し込む

■ 取り外しかた

① microSDカードを軽く押し込んでから離し、microSDカードをまっすぐ引き出す

✔**お知らせ**

- microSDカードを取り外すとき、microSDカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

ファイル操作

本端末の本体メモリやmicroSDカードに保存されたデータの管理（フォルダ・ファイル名の変更／削除／コピー／移動）ができます。

1 **ホーム画面で[MENU]→[アプリ]**

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で をタップします。

2 **[KSfilemanager]**

3 **→[ファイルマネージャー]→フォルダ／ファイルをロングタッチ**

- ファイルをタップすると、ファイルの表示／再生ができます。
- 画面上部の［内部ストレージ］／［SDカード］をタップすると表示するストレージの切り替えが、［上へ］をタップすると1つ上の階層のフォルダに移動します。
- →［ヘルプ］をタップすると、ファイルマネージャーの使いかたが表示されます。
- →［新規フォルダ］をタップすると新しいフォルダを作成できます。

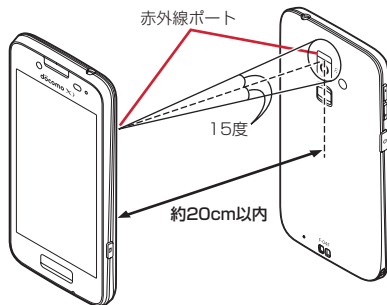
4 **目的の操作を選択**

コピー：フォルダ／ファイルをコピーします。
切り取り：フォルダ／ファイルを切り取ります。
削除：フォルダ／ファイルを削除します。
･･･へコピー：フォルダ／ファイルを選択したフォルダにコピーします。
･･･へ移動：フォルダ／ファイルを選択したフォルダに移動します。
名前の変更：フォルダ／ファイルの名前を変更します。
ブックマークへ追加：フォルダ／ファイルをブックマークへ追加します。
送信：フォルダ／ファイルを送信します。
ZIP圧縮：フォルダ／ファイルをZIP圧縮します。
ZIP解凍：ZIPファイルを解凍します。
プロパティ：フォルダ／ファイルのプロパティを表示します。
キャンセル：操作メニューを閉じます。

データ通信

赤外線通信

赤外線通信機能が搭載された他の端末や携帯電話などとデータを送受信します。

- 赤外線通信できるデータは次のとおりです。
  電話帳※、マイプロフィール、静止画、動画、トルカ、名刺、ドコモメール※、スケジュール&メモ※
  ※ 全件送信に対応しています（クラウドに保存されたドコモメールを除く）。
- 赤外線の通信距離は約20cm以内、赤外線放射角度は中心から15度以内です。また、データの送受信が終わるまで、本端末を相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- 相手の端末によっては、データの送受信がしにくい場合があります。

❖赤外線通信でマイプロフィールを送信

1 **ホーム画面で[電話帳]**

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で →［ドコモ電話帳］をタップします。

2 **[マイプロフィール]→ →[赤外線送信]**

- 送信する対象を選択する画面が表示された場合は、［マイプロフィール（名刺以外）を送信］を選択して［OK］をタップします。

3 **[OK]→受信側を受信待ち状態にする→[OK]**

❖赤外線1件送信

〈例〉電話帳を1件送信する

1 ホーム画面で[電話帳]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で→［ドコモ電話帳］をタップします。

2 [連絡先]→→[その他]→[赤外線送信]→[1件送信]→連絡先を選択→[OK]→受信側を受信待ち状態にする→[OK]

❖赤外線全件送信

〈例〉電話帳を全件送信する

- 全件送信にはあらかじめドコモアプリパスワードの設定が必要です。→P118

1 ホーム画面で[電話帳]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で→［ドコモ電話帳］をタップします。

2 [連絡先]→→[その他]→[赤外線送信]→[全件送信]→[開始する]→ドコモアプリパスワードを入力→[OK]→受信側と同じ認証パスワードを入力→[決定]→[OK]→受信側を受信待ち状態にする→[OK]

❖赤外線受信

〈例〉電話帳を受信する

- 全件受信にはあらかじめドコモアプリパスワードの設定が必要です。→P118

1 ホーム画面で[MENU]→[アプリ]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面でをタップします。

2 [赤外線]

3 [1件受信]→[OK]→[OK]→[OK]

全件受信：［全件受信］→ドコモアプリパスワードを入力→［OK］→送信先と同じ認証パスワードを入力→［決定］→［OK］→［OK］→［保存する］

- アカウントの選択画面が表示された場合は、アカウントを選択します。

Bluetooth®通信

本端末とBluetooth機器を接続してワイヤレスで通信したり、音声や音楽などを再生したりします。

- Bluetooth接続を行うと電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

✔お知らせ

- 対応バージョン、プロファイルなどについては「主な仕様」をご覧ください。→P167
- Bluetooth機器のご使用にあたっては、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

❖Bluetooth機能取り扱い上のご注意

- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。本端末とBluetooth機器の間に障害物がある場合や周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。
- 電気製品／AV機器／OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。他の機器の電源が入っているときは正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
- 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

❖無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。この場合、無線LANの電源を切るか、本端末やBluetooth機器を無線LANから10m以上離してください。

◆ Bluetooth機能ON／OFF

Bluetooth機能を利用するときは、Bluetooth機能をONに設定してください。利用しないときは、電池の減りを防ぐためOFFに設定してください。

- ONのときはステータスバーに［Bluetoothアイコン］が表示されます。
- Bluetooth機能ON／OFFの設定は、電源を切っても変更されません。

1 ホーム画面で［メニュー］→[本体設定]

2 [Bluetooth]を[ON]／[OFF]

- aptXについての画面が表示されたら［OK］をタップします。

◆ Bluetooth機器との接続

Bluetooth機器を接続します。Bluetooth機器で通話したり、音声や音楽を再生したり、Bluetooth機器とデータを送受信したりできます。また、Bluetooth対応キーボードで本端末の文字入力ができます。

- あらかじめBluetooth機器を検出できる状態にしてください。
- 接続中はステータスバーにが表示されます。
- プロファイルがHSP/A2DPの場合、同時に接続できるBluetooth機器は1台です。

1 ホーム画面で→[本体設定]

2 [Bluetooth]

- 接続するBluetooth機器が表示されない場合は、［デバイスの検索］をタップします。

3 検出されたBluetooth機器をタップ→必要に応じてパスコード(PIN)を入力して[OK]／[ペア設定する]

■ 他のBluetooth機器から接続要求を受けた場合

Bluetoothのペア設定リクエスト画面が表示された場合は、必要に応じてパスコード（PIN）を入力して［OK］をタップするか、［ペア設定する］をタップしてください。

■ 他のBluetooth機器で本端末を検出する場合

［他のBluetoothデバイスには非表示］／［ペア設定したデバイスにのみ表示］をタップして［周辺のすべてのBluetoothデバイスに表示］にし、Bluetooth機器でデバイスの検索を行ってください。

◆ Bluetooth機器とのデータ送受信

ギャラリー（→P90）や電話帳などのデータを送信したり、Bluetooth機器からデータを受信したりできます。

- あらかじめBluetooth機器を接続した状態または検出できる状態にしてください。

〈例〉ギャラリーのファイルを送信する

1 ギャラリーを開いて画像をロングタッチ

2 →[Bluetooth]／

3 Bluetooth機器をタップ

通知パネルを開くと送信完了を確認できます。

〈例〉Bluetooth機器からファイルを受信する

1 Bluetooth機器からファイルを送信

2 ファイル着信通知後に通知パネルを開く→[Bluetooth共有：ファイル着信]→[承諾]

- 受信したファイルは、ホーム画面で→［本体設定］→［Bluetooth］→→［受信済みファイルを表示］で確認できます。

◆ Bluetooth機器との接続解除

1 ホーム画面で→[本体設定]

2 [Bluetooth]→Bluetooth機器をタップ→[OK]

◆ Bluetooth機器とのペアリング解除

1 ホーム画面で→[本体設定]

2 [Bluetooth]→Bluetooth機器の→[ペアを解除]

◆ Bluetooth機器の名前を変更

1 ホーム画面で→[本体設定]

2 [Bluetooth]→Bluetooth機器の→[名前を変更]→機器名を入力→[OK]

◆ Bluetooth Low Energy設定

Bluetooth Low Energy対応機器との通知設定をします。

1 ホーム画面で→[本体設定]→無線とネットワークの[その他...]→[Bluetooth Low Energy設定]

2 各項目を設定

Alert Notification：電話着信やメール受信時などに対応機器に通知するかを設定します。

Find Me通知音：対応機器から通知を受けたときの音を設定します。

Proximity：接続を解除したときの対応機器の通知レベルを設定します。

- 本設定を反映するには、再度対応機器との接続が必要です。

Time：Time対応機器と時刻の同期をするかを設定します。

- 本設定に関わらず、本端末とTime対応機器のペアリング中の時刻は同期します。本設定がオンの場合には、ペアリング完了後に本端末の時刻が変わった場合でも、Time対応機器の時刻は同期します。

✔**お知らせ**

- マナーモード、公共モードの設定に関わらず、Bluetooth Low Energy設定のFind Me通知音は鳴ります。

おサイフケータイの機能を利用

本端末は、「おサイフケータイ」アプリはインストールされていませんが、お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券などとして使える「おサイフケータイ対応サービス」や、家電やスマートポスターなどにかざして情報にアクセスできる「かざしてリンク対応サービス」をご利用いただけます。
電子マネーやポイントなどをICカード内に保存することができます。また、電子マネーの入金や残高、ポイントの確認などができますし、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時の対策になります。

- おサイフケータイの機能をご利用いただくには、初期設定が必要です。「トルカ」アプリや「おサイフケータイ対応サービス」の初回起動時に、おサイフケータイの初期設定を行います。

◆ おサイフケータイの機能のご利用にあたって

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトなどでの設定が必要です。
- 本端末の故障により、ICカード内データ※が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。

※ おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ

- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

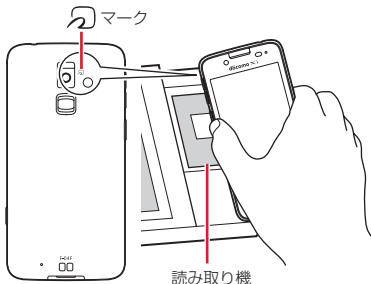
◆「おサイフケータイ対応サービス」の利用

各おサイフケータイ対応サービスのサイトなどへアクセスして、必要な設定を行ってから利用します。

- おサイフケータイ対応サービスは、各おサイフケータイ対応サービス提供者によって提供されます。対応サービスの詳細については、ご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者にお問い合わせください。

1 **おサイフケータイ対応サービスのサイトなどでサービスを選択**

- おサイフケータイの初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定を行ってください。

2 **マークを読み取り機にかざす**

✔お知らせ

- おサイフケータイ対応のアプリを起動せずに、読み取り機とのデータの読み書きができます。
- 本体の電源を切っていても利用できますが、本端末の電源を長時間入れなかったり、電池残量が少なかったりする場合は、利用できなくなることがあります。
- spモードをご契約されていない場合は、おサイフケータイ対応サービスの一部機能が利用できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

◆「かざしてリンク対応サービス」の利用

かざしてリンク対応サービスをご利用いただくには、アプリが必要な場合があります。なお「ICタグ・バーコードリーダー」アプリ（→P51）を利用して、ICチップが内蔵された機器、またはスマートポスターなどにマークをかざして利用できます。

❖対向機にかざす際の注意事項

読み取り機やICチップが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、次のことにご注意ください。

- マークを対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
- マークを対向機の中心に平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてください。
- マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

◆ おサイフケータイの機能をロック

おサイフケータイのサービスや読み取り機からのデータの取得を利用できないようにします。

- おサイフケータイのロックは、本端末の画面ロック、SIMカードロックとは異なります。

1 ホーム画面で☰→[本体設定]

2 無線とネットワークの[その他...]→[おサイフケータイ ロック設定]

- 初回起動時はパスワードの設定が必要です。画面の指示に従って、パスワードを設定してください。

3 [おサイフケータイ 機能をロック]→認証操作

- セキュリティ解除方法（→P121）で設定した指紋で認証操作をする場合は、[指紋認証を利用する]→パスワードを入力→［OK］をタップします。

✔お知らせ

- 「おサイフケータイ 機能をロック」をご利用になると、ステータスバーにが表示されます。
- 「おサイフケータイ 機能をロック」ご利用中に電池が切れると、「おサイフケータイ 機能をロック」が解除できなくなりますので、電池残量にご注意ください。電源が切れた場合は、充電後に「おサイフケータイ 機能をロック」を解除してください。
- おサイフケータイのロックパスワードは、本端末を初期化しても削除されません。

❖ロックの解除

1 ホーム画面で☰→[本体設定]

2 無線とネットワークの[その他...]→[おサイフケータイ ロック設定]

3 [おサイフケータイ 機能をロック]→認証操作

外部機器接続

パソコンとの接続

◆ 本端末のデータをパソコンから操作

PC接続用USBケーブル T01（別売）またはmicroUSB接続ケーブル 01（別売）で本端末とパソコンを接続すると、本端末の内部ストレージやmicroSDカードのデータをパソコンから操作できます。

- Windows XP（Service Pack 3以降）、Windows Vista、Windows 7、Windows 8に対応しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。
- microSDカードがマウントされていない場合は、ホーム画面で☰→［本体設定］→［ストレージ］→［SDカードをマウント］をタップします。

1 **USBケーブルのmicroUSBプラグを本端末の外部接続端子に、USBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに差し込む**

- 初めて接続する場合は操作2に進みます。2回目以降の接続の場合は操作3に進みます。

2 **通知パネルを開く→[メディアデバイスとして接続]→[メディアデバイス(MTP)]／[カメラ(PTP)]**

- Windows XPでは［メディアデバイス（MTP)］を選択してください。［カメラ（PTP)］を選択すると本端末のmicroSDカードのデータを正しく表示できない場合があります。

3 **パソコンの画面の表示に従って操作**

4 **目的の操作を行う**

✔お知らせ

- ［カメラ（PTP)］を選択している場合は、microSDカードを取り外しているときのみ本端末の内部ストレージのデータをパソコンから操作できます。

その他の機器との接続

◆ USBマスストレージとの接続

USBメモリやUSB接続の外付けハードディスクドライブなどを周辺機器接続用USBケーブル（市販品）で本端末に接続して、データのやりとりができます。

- すべてのUSB機器との動作を保証するものではありません。
- 周辺機器接続用USBケーブルについては、接続するUSB機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

1 本端末とUSBマスストレージをそれぞれのコネクタ形状に合ったUSB接続ケーブルで接続する

- USBマスストレージ（複数接続した場合は1台のみ）が自動でマウントされます。

2 目的の操作を行う

✔**お知らせ**

- ACアダプタ付きのUSBマスストレージは、ACアダプタを接続してください。接続しないと外部ストレージと認識されません。
- ブラウザ、カメラなどと同時に使用中は、ホスト機能停止の警告が表示される場合があります。その場合は、使用中の機能を停止してから操作してください。

❖USBマスストレージの取り外し

- データ転送中にUSBケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

1 ホーム画面で☰→[本体設定]→[ストレージ]

2 [USBストレージのマウント解除]→USBケーブルを取り外す

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用いただけるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

- 本端末は、クラス4になります。3GネットワークおよびGSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz/GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。海外ではXiエリア外のため、3GまたはGSM/GPRSネットワークをご利用ください。
- 海外でご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
  - -『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
  - - ドコモの「国際サービスホームページ」

✔お知らせ

- 国番号／国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号／接続可能な国・地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

海外で利用できるサービス

主な通信サービス	3G	3G850	GSM (GPRS)
電話	○	○	○
SMS	○	○	○
メール※	○	○	○
ブラウザ※	○	○	○

※ ローミング時にデータ通信を利用するには、データローミングの設定をオンにしてください。→P149

✔お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

海外で利用する前の確認事項

◆ ご出発前の確認

海外でご利用いただく際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 充電について

海外旅行で充電する際のACアダプタは、別売りのACアダプタ 03、ACアダプタ 04、ACアダプタ F05、ACアダプタ F06をご利用ください。

■ 料金について

海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。

- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

◆ 事前設定

■ ネットワークサービスの設定

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス、転送でんわサービス、番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、遠隔操作設定を開始にする必要があります。渡航先で遠隔操作設定を行うこともできます。
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

◆ 滞在国での確認

海外に到着後、端末の電源を入れると、自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■ 接続について

［モバイルネットワーク］の［通信事業者］を［自動的に選択］に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

定額サービス適用対象国・地域の通信事業者をご利用の場合、海外でのパケット通信料が1日あたり一定額を上限としてご利用いただけます。なお、ご利用には国内のパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

■ ディスプレイの表示

- 国際ローミング中はステータスバーにが表示されます。本端末は、3GネットワークおよびGSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz/GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。
- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます。

■ 日付と時刻

［日付と時刻］の［日付と時刻の自動設定］、［タイムゾーンを自動設定］にチェックを付けている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 「日付と時刻」→P131

❖お問い合わせについて

- 本端末やドコモminiUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

海外で利用するための設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

- SIMロックを解除して他社のSIMカードを使用しデータ通信を行う場合は、アクセスポイント（APN）を設定してから操作してください。→P103

◆ ネットワークモードの設定

1 **ホーム画面で☰→［本体設定］→無線とネットワークの［その他...］→［モバイルネットワーク］**

2 **［ネットワークモード］**

3 **［LTE/3G/GSM(自動)］／［LTE/3G］／［GSM］**

✔お知らせ

- ［LTE/3G/GSM（自動）］に設定しているときに、同じ通信事業者のGSM/GPRSネットワークと3Gネットワークを同時に検出すると、3Gネットワークに優先的に接続します。
- 滞在先で［GSM］に設定した場合は、日本に帰国後、［LTE/3G］または［LTE/3G/GSM（自動）］に設定してください。

◆ 手動で通信事業者を設定

1 **ホーム画面で☰→[本体設定]→無線とネットワークの[その他...]→[モバイルネットワーク]→[通信事業者]**

利用可能なネットワークを検索して表示します。
- ネットワーク検索でエラーが発生する場合は、［データ通信を有効にする］のチェックを外して再度実行してください。→P108

2 **通信事業者のネットワークを選択**

✔**お知らせ**
- 滞在先で通信事業者を手動で設定した場合、日本帰国後に［通信事業者］を［自動的に選択］に設定してください。

◆ データローミングの設定

1 **ホーム画面で☰→[本体設定]→無線とネットワークの[その他...]→[モバイルネットワーク]**

2 **[データローミング]→注意画面の内容を確認して[OK]**

滞在先で電話をかける／受ける

◆ 滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかけることができます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

1 **ホーム画面で[電話]**
- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で⠿→［電話］をタップします。

2 **[ダイヤル]→＋(「0」をロングタッチ)→「国番号-地域番号(市外局番)の先頭の0を除いた電話番号」を入力**
- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
- 電話をかける相手が海外でのWORLD WING利用者の場合は、滞在国内外に関わらず国番号として「81」（日本）を入力してください。

3 📞
- ［国際ダイヤルアシスト］の［自動変換機能］にチェックを付けている場合、日本への発信は日本国内のときと同様に市外局番から入力→📞→［変換後の番号で発信］をタップします。

◆ 滞在国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 ホーム画面で[電話]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で→［電話］をタップします。

2 [ダイヤル]→電話番号を入力

- 地域番号（市外局番）から入力してください。
- 電話をかける相手がWORLD WING利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として（国番号として「81」（日本）を入力）電話をかけてください。

3

◆ 滞在先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

✔お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

❖相手からの電話のかけかた

■ 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

■ 日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先に関わらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」をダイヤルしてもらう必要があります。

発信国の国際アクセス番号-81-90（または80）-XXXX-XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミング利用時の設定や、国際電話を利用するための設定を行います。

◆ 海外での発着信設定

海外での着信を規制したり、着信をお知らせする通知の設定やローミングガイダンスの設定をしたりします。

- 海外の通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で[電話]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で→［電話］をタップします。

2 →[通話設定]→[海外設定]

3 目的の操作を行う

ローミング時の着信を規制：[ローミング時着信規制]→［規制開始］／［規制停止］／［設定確認］

- ［規制開始］を選択した場合は［全着信規制］／［テレビ電話／64Kデータ着信規制］→［OK］をタップし、ネットワーク暗証番号を入力します。
- ［規制停止］を選択した場合は［OK］をタップし、ネットワーク暗証番号を入力します。

ローミング時の着信を通知：[ローミング着信通知]→［通知開始］／［通知停止］／［通知設定確認］

- 電源が入っていないときや圏外にいたときの着信が、電源が入った後や圏内になったときにSMSで通知されます（無料）。
- ［通知開始］または［通知停止］を選択した場合は［OK］をタップします。

ローミングガイダンスの設定：[ローミングガイダンス]→［サービス開始］／［サービス停止］／［設定確認］

- ［サービス開始］または［サービス停止］を選択した場合は［OK］をタップします。

国際ダイヤルアシストの設定：[国際ダイヤルアシスト]→各項目を設定

- ［自動変換機能］にチェックを付けると、自動変換が有効になります。
- ［国番号］を選択すると、国際電話をかけるときの国番号の登録や追加などができます。
- ［国際プレフィックス］を選択すると、国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する国際アクセス番号の登録や追加などができます。

◆ ネットワークサービス（海外）

海外から留守番電話などのネットワークサービスを設定します。

- あらかじめ遠隔操作設定を開始にしておく必要があります。
- 海外から操作した場合、ご利用の国の日本向け通話料がかかります。
- 海外の通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で［電話］

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面で→［電話］をタップします。

2 →［通話設定］→［海外設定］→［ネットワークサービス］

3 サービスを選択

遠隔操作（有料）：［OK］をタップして、音声ガイダンスに従って操作します。
番号通知お願いサービス（有料）：［OK］をタップして、音声ガイダンスに従って操作します。
ローミング着信通知（有料）：［OK］をタップして、音声ガイダンスに従って操作します。
ローミングガイダンス（有料）：［OK］をタップして、音声ガイダンスに従って操作します。
留守番電話サービス（有料）：項目を選択して［OK］をタップし、音声ガイダンスに従って操作します。
転送でんわサービス（有料）：項目を選択して［OK］をタップし、音声ガイダンスに従って操作します。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、次の設定を行ってください。

- ［モバイルネットワーク］の［ネットワークモード］を［LTE/3G/GSM（自動）］に設定します。→P148
- ［モバイルネットワーク］の［通信事業者］を［自動的に選択］に設定します。→P149

付録／索引

オプション・関連機器のご紹介

本端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取り扱いしていない商品もあります。
詳細は、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプション品の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 電池パック F31
- リアカバー F81
- 卓上ホルダ F45
- PC接続用USBケーブル T01
- ACアダプタ F05※1／F06※1
- ACアダプタ 03※1／04※1
- DCアダプタ 03
- ワイヤレスイヤホンセット 02／03／P01
- 骨伝導レシーバマイク 02
- 車載ハンズフリーキット 01
- キャリングケース 02
- キャリングケースL 01
- ポケットチャージャー 01／02
- L-03E※2
- Bluetoothヘッドセット F01
- Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01
- 海外用AC変換プラグCタイプ 01※3
- microUSB接続ケーブル 01
- ドライブネットクレイドル 01

※1 海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
※2 本端末への給電を行うチャージャー機能の対応となります。
※3 ACアダプタ 03と組み合わせてご利用ください。

トラブルシューティング（FAQ）

◆ 故障かな？と思ったら

- まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P164
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源・充電

●本端末の電源が入らない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P29
- 電池切れになっていませんか。

● 画面が動かない、電源が切れない

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に⏻を8秒以上押すと、強制的に再起動ができます。

※ 強制的に再起動する操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

● 充電ができない／お知らせLEDが点灯しない、または点滅する

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P29
- アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。
- 別売りのACアダプタ 04をご使用の場合、ACアダプタのmicroUSBプラグが本端末に正しく接続されていますか。→P33
- 付属の卓上ホルダを使用する場合、microUSBプラグが卓上ホルダと正しく接続されていますか。→P32
- 付属の卓上ホルダを使用する場合、本端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
- 別売りのPC接続用USBケーブル T01やmicroUSB接続ケーブル 01などをご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇してお知らせLED（赤色）が消える場合があります。温度が高い状態では安全のために充電を停止しているため、ご使用後に本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■ 端末操作・画面

● 突然電源が落ちる、再起動が起きる

電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

● キーを押しても動作しない

スリープモードになっていませんか。⏻または指紋センサーを押して解除してください。→P46

● 電池の使用時間が短い

- 複数のアプリを起動していると、電池の消費が増えて使用時間が短くなることがあります。次の方法で使用していないアプリを終了してください。
  - 実行中のアプリを終了→P57
  - ⮌でアプリを終了
- 「NX!エコ」を利用して、電池の消費を抑える設定を行ってください。→P116
- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

● ドコモminiUIMカードが認識されない

ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P27

● タッチパネルをタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い

本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

● 操作中・充電中に熱くなる

操作中や充電中、充電しながら電話などを長時間行った場合などには、本端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。

● 操作中・充電中に熱くなり、機能が利用できない

本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電またはご使用中の一部機能を利用できないことがあります。

● 端末が熱くなり、電源が切れる

複数のアプリの起動、カメラの使用やインターネット接続などを長時間行った場合など、本端末の温度が高い状態が続く場合は、充電や機能が停止したり、画面の明るさを調整したりすることがあります。また、やけどを防ぐため本端末の電源が切れることがあります。

● ディスプレイが暗い

- 次の設定を変更していませんか。
  - 画面の明るさ→P112
  - プライバシービュー→P112
  - NX!エコ→P116

● ディスプレイがちらつく

画面の明るさの［明るさを自動調整］にチェックを付けていると、ディスプレイの照明が周囲の明るさによって自動的に変更されたとき、ちらついて見える場合があります。→P112

● ディスプレイに残像が残る

- 端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、しばらくの間ディスプレイから残像が消えないことがあります。電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- しばらく同じ画面を表示していると、何か操作して画面が切り替わったとき、前の画面表示の残像が残る場合があります。

● 時計がずれる

長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。日付と時刻の［日付と時刻の自動設定］、［タイムゾーンを自動設定］にチェックが付いていることを確認し、電波のよい所で電源を入れ直してください。→P131

● 端末動作が不安定

- ご購入後に端末へインストールしたアプリにより不安定になっている可能性があります。セーフモード（ご購入時に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
  次のどちらかの方法でセーフモードを起動してください。
  - 電源が入っている状態で⏻を押し続ける→携帯電話オプションメニューが表示されたら［再起動］をロングタッチ→「再起動してセーフモードに変更」の確認画面が表示されたら［OK］をタップ
  - 電源を切った状態で⏻を2秒以上押し、docomoのロゴ表示が消えてXiのロゴが表示されたら▼を押し続ける

  セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。セーフモードを終了させるには、電源を入れ直してください。

※ 事前に必要なデータをバックアップしてからセーフモードをご利用ください。
※ お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。
※ セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合にはセーフモードを終了し、ご利用ください。

● タップしても正しく操作できない

- 手袋をしたままで操作していませんか。
- 爪の先で操作したり、異物を操作面に乗せたままで操作したりしていませんか。
- ディスプレイに保護シートやシールなどを貼っていませんか。保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。
- タッチパネルが濡れたままで操作したり、指が汗や水などで濡れた状態で操作していませんか。
- 水中で操作していませんか。
- 指で直接画面に触れて操作してください。

● 本端末の動作が遅くなった／アプリの動作が不安定になった／一部のアプリを起動できない

本端末のメモリの空き容量が少なくなると動作が安定しません。空き容量が少ない旨のメッセージが表示された場合は、不要なアプリを削除してください。→P117

● アプリが正しく動作しない（アプリが起動できない、エラーが頻繁に起こる）

無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから、再度操作してください。→P117

● データが正常に表示されない／タッチパネルを正しく操作できない

電源を入れ直してください。→P34

■ 通話・音声

● をタップしても発信できない

機内モードを設定していませんか。→P107

● 通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

通話音量を変更してください。また、はっきりボイス、ゆっくりボイスをONにすると相手の声が聞き取りやすくなります。→P60

● 通話ができない（場所を移動しても圏外の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- 電源を入れ直すか、ドコモminiUIMカードを取り付け直してください。→P27、34
- 電池パックを取り付け直してください。→P29
- 電波の性質により圏外ではなく、電波状態アイコンが4本表示されている状態でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 登録外着信拒否など着信制限を設定していませんか。→P64
- ネットワークモードの種類（LTE／3G／GSM）を変更していませんか。→P148
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は［しばらくお待ちください］と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

● 着信音が鳴らない

- 着信音量を確認してください。→P109
- 次の機能を起動していませんか。
  - 公共モード（ドライブモード）→P64
  - 機内モード→P107
  - マナーモード→P109
- 登録外着信拒否など着信制限を設定していませんか。→P64
- 伝言メモの応答時間を0秒に設定していませんか。→P62
- 留守番電話サービスの呼出時間、転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定していませんか。→P64

● 電話がつながらない

- ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P27
- 市外局番から入力していますか。
- 機内モードを設定していませんか。→P107

■ メール

● メールを自動で受信しない

- Eメールのアカウント設定で受信トレイの確認頻度を「自動確認しない」に設定していませんか。→P74

● 新着メールを知らせる通知アイコンが表示されない

- 次の設定を変更していませんか。
  - SMSの設定の［通知］→P71
  - Eメールのアカウント設定の［メール着信通知］→P74

■ カメラ

● カメラで撮影した静止画や動画がぼやける

- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
- タッチオートフォーカスの機能を利用してもピントを合わせることができます。→P87、89

■ おサイフケータイ

● おサイフケータイが使えない

- 電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、おサイフケータイ ロックの設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。
- おサイフケータイ ロック設定を起動していませんか。→P143
- 本端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→P142

■ 海外利用

● 海外で、電波状態アイコンが表示されているのに本端末が使えない

WORLD WINGのお申し込みをされていますか。
WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。

● 海外で、圏外が表示され本端末が使えない

- 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。
- ネットワークモードの種類を［LTE/3G/GSM（自動）］に変更してください。→P148
- 通信事業者を［自動的に選択］に設定してください。→P149
- 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。→P34

● 海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった

利用停止目安額を超えていませんか。国際ローミング（WORLD WING）のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

● 海外で電話がかかってこない

ローミング時着信規制を［規制開始］にしていませんか。→P151

● 相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない

相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

● 海外でデータ通信ができない

データローミングの設定を確認してください。→P149

■ データ管理

● microSDカードに保存したデータが表示されない

microSDカードを取り付け直してください。→P134

● データ転送が行われない

USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

● 画像を表示しようとすると「サムネイルなし」と表示される／画像一覧でグレーの枠が表示される

画像データが壊れている場合に「サムネイルなし」やグレーの枠が表示される場合があります。

■ Bluetooth機能

● Bluetooth機器と接続ができない／サーチしても見つからない

Bluetooth機器（市販品）を登録待機状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して、再度機器登録を行う場合には、本端末とBluetooth機器（市販品）の両方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。

● カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない

相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

■ 地図・GPS機能

● オートGPSサービス情報が設定できない

- 電池残量が少なくなり、オートGPSが停止していませんか。低電力時動作設定により、オートGPSが停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。この場合、低電力時動作設定を［停止しない］に設定するか、充電をすることで設定できるようになります。→P118
- オートGPS動作設定がOFFになっていませんか。→P118
- GPS機能がOFFになっていませんか。GPS機能がOFFの場合、オートGPSは停止します。→P93

■ その他

● 指紋認証や登録の際、センサーに指を触れていないのに［なぞり方が速すぎます］［なぞり方が遅すぎます］などと表示される

センサー表面が濡れていたり、結露していたりすることが考えられます。柔らかい布で水分を取り除いてからご使用ください。

● 指紋センサー利用時にディスプレイの表示が消える

指紋センサーを押してしまうと、スリープモードになります。指紋センサーを押さない程度の力で指をスライドさせてください。

● パソコンなどと本端末を接続したときに指紋認証できない

デスクトップパソコンなどアースを必要とする機器に本端末をUSBケーブルで接続するときは、必ず機器のアースが接続されていることを確認してください。
アースが接続されていない状態で接続している間は、指紋認証できない場合があります。そのときは、本端末を機器から取り外して指紋認証を行ってください。

● USBマスストレージに保存したデータが表示されない
USBマスストレージを取り付け直してください。

● 市販の外部機器（USBマウス、キーボードなど）が認識されない
市販のmicroUSB用変換アダプタを使用している場合は、microUSB用変換アダプタと外部機器を接続後、本体に接続してください。

◆ エラーメッセージ

● 空き容量低下
端末の空き容量が低下しています。このままご使用になられると一部機能やアプリケーションが動作しない場合があります。
設定画面を起動して不要なアプリを選択し、「アンインストール」を押してアプリを削除してください。
端末の空き容量が低下している場合に表示されます。［設定画面］をタップして不要なアプリを削除してください。
また、実行中のアプリを終了したり、アプリのキャッシュを消去したりすることで、端末の空き容量を増やすことができます。→P57、117

● しばらくお待ちください（音声サービス）／しばらくお待ちください（データサービス）
音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

● 指紋センサーが起動できません。
指紋センサーが正常に動作できない場合に表示されます。電源を入れ直しても指紋センサーが利用できなくなった場合は、お近くのドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

● PINロック解除コードがロックされました
ドコモminiUIMカードがPUKロックされた状態でPINロック解除コードを入力すると表示されます。ドコモショップなど窓口にお問い合わせください。→P120

● SIMカードが挿入されていません
ドコモminiUIMカードが正しく挿入されているか確認してください。→P27

● SIMカードはロックされています。
PINコードを有効にしているときに電源を入れると表示されます。正しいPINコードを入力してください。
→P120

● SIM card 異常
SIMカードが取り外されました。端末を再起動します。
ドコモminiUIMカードのICが汚れているときに表示されることがありますが、故障ではありません。ドコモminiUIMカードのICは定期的に清掃してください。

スマートフォンあんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作設定に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモminiUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 スマートフォン遠隔サポートセンターへ電話する

0120-783-360
受付時間：午前9:00～午後8:00（年中無休）

- 本端末からスマートフォン遠隔サポートセンターへ電話する場合は、ホーム画面で［MENU］→［アプリ］（「NX!ホーム」では、ホーム画面で）→［遠隔サポート］→［このスマートフォンから発信する］→をタップします。

2 ホーム画面で[MENU]→[アプリ]

- 「NX!ホーム」では、ホーム画面でをタップします。

3 [遠隔サポート]

- 初めて利用する場合は、「ソフトウェア使用許諾書」に同意いただく必要があります。

4 [遠隔サポートの接続画面に進む]→[同意する]

5 ドコモからご案内する接続番号を入力

6 接続後、遠隔サポートを開始

本端末の初期化

本端末をお買い上げ時の状態に戻します。本端末にお客様がインストールしたアプリや登録したデータは、一部を除き削除されます。

- SDカードのデータ消去については「microSDカードのデータ消去（フォーマット）」をご覧ください。→P115

1 ホーム画面で→[本体設定]→ユーザー設定の[その他...]→[初期化]

2 [データの初期化]→[携帯端末をリセット]

- セキュリティ解除方法が設定されているときは、認証操作が必要です。

3 [すべて消去]

リセットが完了してしばらくたつと、本端末が再起動します。

- 初期化中に電源を切ったり、電池パックを取り外したりしないでください。

✔お知らせ

- 初期化後、タッチパネル操作が正しく動作しない場合などは、電源を入れ直してください。

保証とアフターサービス

❖保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

※ 本端末はケータイデータお預かりサービスをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターにバックアップしていただくことができます。

❖アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな?と思ったら」をご覧になってお調べください（→P153）。それでも調子がよくないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 次の場合は、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ステレオイヤホン端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後4年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書巻末の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

■ お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 次のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - 液晶部やキー部にシールなどを貼る
  - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定してくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の受話口／スピーカー、お知らせLED部などに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけるとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを取り外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

F-04Fのソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合には、ドコモのホームページでご案内いたします。

- 更新方法は、次の3種類があります。
  自動更新：更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。
  即時更新：今すぐ更新を行います。
  予約更新：予約した時刻に自動的に更新します。

✔お知らせ

- ソフトウェア更新は、本端末に登録した電話帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

◆ ソフトウェア更新のご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを取り外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。充電しながら行うことをおすすめします。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - 通話中
  - 圏外が表示されているとき※
  - 国際ローミング中※
  - 機内モード中※
  - 日付と時刻を正しく設定していないとき
  - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき

  ※ Wi-Fi接続中であっても更新できません。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は電話の着信は可能です。
- ソフトウェア更新は電波状態のよい所で、移動せずに実施することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- ソフトウェア更新が不要な場合は、［更新の必要はありません。このままお使いください］と表示されます。
- 国際ローミング中、または圏外にいるときは［ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中はWi-Fi接続中であってもダウンロードを開始できません］または［ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中はWi-Fi接続中であっても書換え処理を開始できません］と表示されます。Wi-Fi接続中も同様です。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。

- ソフトウェア更新の際、お客様のF-04F固有の情報（機種や製造番号など）が、当社のソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合に、端末が起動しなくなることや、［ソフトウェア更新に失敗しました。］と表示され、一切の操作ができなくなることがあります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中でPINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリを起動しないでください。

◆ ソフトウェアの自動更新

更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。

❖ソフトウェアの自動更新設定

- お買い上げ時は、自動更新設定が［自動で更新を行う］に設定されています。

1 **ホーム画面で☰→［本体設定］→［端末情報］→［ソフトウェア更新］**

2 **［ソフトウェア更新設定の変更］→［自動で更新を行う］／［自動で更新を行わない］**

❖ソフトウェア更新が必要になると

更新ファイルが自動でダウンロードされると、ステータスバーに⬇（ソフトウェア更新あり）が表示されます。

- ⬇（ソフトウェア更新あり）が表示された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、⬇（ソフトウェア更新あり）は消えます。

1 **通知パネルを開き、通知をタップ**

書換え予告画面が表示されます。

書換え予告画面

2 **目的の操作を行う**

確認終了：［OK］

ホーム画面に戻ります。設定時刻になると更新を開始します。

時刻の変更：［開始時刻変更］

予約更新→P167「ソフトウェアの予約更新」

すぐに書き換える：［今すぐ開始］

即時更新→P166「ソフトウェアの即時更新」

✔お知らせ

- 更新通知を受信した際に、ソフトウェア更新ができなかった場合には、ステータスバーに（ソフトウェア更新あり）が表示されます。
- 書き換え時刻にソフトウェア書き換えが実施できなかった場合、翌日の同じ時刻に再度書き換えを行います。
- 自動更新設定が［自動で更新を行わない］に設定されている場合やソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

◆ ソフトウェアの即時更新

すぐにソフトウェア更新を開始します。

- ソフトウェア更新を起動するには書換え予告画面から起動する方法と設定メニューから起動する方法があります。

〈例〉設定メニューからソフトウェア更新を起動する

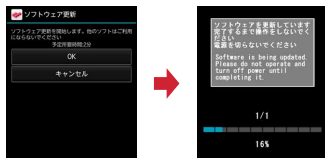
1 ホーム画面で→［本体設定］→［端末情報］→［ソフトウェア更新］

2 ［更新を開始する］→［はい］

- ソフトウェア更新の必要がないときには、［更新の必要はありません。このままお使いください］と表示されます。

書換え予告画面からの起動：書換え予告画面を表示→［今すぐ開始］

3 ［ソフトウェア更新を開始します。他のソフトはご利用にならないでください］と表示され、約10秒後に自動的に書き換え開始

- ［OK］をタップすると、すぐに書き換えを開始します。
- 更新中はすべてのキー操作が無効となり、更新を中止することはできません。
- ソフトウェア更新が完了すると、自動的に再起動が行われ、ホーム画面が表示されます。

❖ソフトウェア更新完了後の表示

ソフトウェア更新が完了すると、ステータスバーので通知されます。通知パネルを開いて通知をタップすると、更新完了画面が表示されます。

◆ ソフトウェアの予約更新

更新ファイルのインストールを別の時刻に予約したい場合は、ソフトウェア書き換えを行う時刻をあらかじめ設定しておきます。

1 書換え予告画面を表示→[開始時刻変更]

2 時刻を設定→[設定]

❖ 予約の時刻になると

開始時刻になると［ソフトウェア更新を開始します。他のソフトはご利用にならないでください］と表示され、約10秒後に自動的にソフトウェア書き換えが開始されます。

✔お知らせ

- 更新中はすべてのキー操作が無効となり、更新を中止することはできません。
- 開始時刻にソフトウェア更新が開始できなかった場合には、翌日の同じ時刻にソフトウェア更新を行います。
- 開始時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合でも、ソフトウェア更新は実施されます。
- 開始時刻にF-04Fの電源を切った状態の場合、電源を入れた後、予約時刻と同じ時刻になったときにソフトウェア更新を行います。
- ソフトウェア更新実施時にステータスバーに（ソフトウェア更新中断 端末の状態をご確認のうえ、再度更新を行ってください）が表示された場合は、次の状態でないことを確認し、再度ソフトウェア更新を行ってください。
  - 圏外
  - 電池パック外れ
  - 他機能との競合

主な仕様

■本体

品名		F-04F
サイズ		高さ約131mm×幅約65mm×厚さ約11mm（最厚部：約11mm）
質量		約140g（電池パック装着時）
メモリ		ROM：8GB RAM：2GB
連続待受時間※1、2	FOMA／3G	静止時（自動）：約500時間
	GSM	静止時（自動）：約430時間
	LTE	静止時（自動）：約450時間
連続通話時間※2、3	FOMA／3G	約540分
	GSM	約580分
充電時間※4		ACアダプタ 03：（単独）約220分、（卓上ホルダ F45使用時）約220分 ACアダプタ 04：（単独）約150分、（卓上ホルダ F45使用時）約150分 DCアダプタ：約230分

ディスプレイ	種類	TFT WhiteMagic™
	サイズ	約4.3inch
	発色数	16,777,216色
	解像度	横540ドット×縦960ドット（QHD）
撮像素子	種類	アウトカメラ：裏面照射型CMOS インカメラ：裏面照射型CMOS
	サイズ	アウトカメラ：1/3.9inch インカメラ：1/8.2inch
カメラ有効画素数		アウトカメラ：約810万画素 インカメラ：約130万画素
記録画素数（最大時）		アウトカメラ：約810万画素 インカメラ：約130万画素
デジタルズーム	静止画	アウトカメラ：最大約10.2倍（32段階）
	動画	アウトカメラ：最大約4.0倍（32段階）
無線LAN		IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠※5、6
Bluetooth機能	バージョン	4.0※7
	出力	Power class 1
	対応プロファイル※8	HFP、HSP、OPP、SPP、HID、A2DP、AVRCP、PBAP、HDP、ANP、FMP、PASP、PXP、TIP

イヤホンマイクジャック	φ3.5mmイヤホンジャック、4極
表示言語	日本語／英語
入力言語（文字入力）	日本語／英語／中国語／韓国語

※1 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、待受時間が約半分程度になる場合があります。

※2 通話やインターネット接続をしなくてもアプリを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。

※3 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での時間の目安です。

※4 充電時間とは、本端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。本端末の電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

※5 IEEE802.11nは、2.4GHz/5GHzに対応しています。

※6 IEEE802.11acドラフト版に対応しています。今後の正式規格対応商品や他社のドラフト版対応商品とは通信できない場合があります。対応商品については次のサイトをご覧ください。
http://www.fmworld.net/product/phone/wifi/

※7 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※8 Bluetooth機器の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

■電池パック

品名	電池パック F31
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.8V
公称容量	2,500mAh

❖ファイル形式

本端末で撮影した静止画と動画は次のファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	jpg
動画	MP4	mp4

❖静止画の撮影枚数（目安）

画像サイズ	本体	microSDカード（1GB）
ケータイメール（640×480）	約40000枚	約8000枚

❖動画の撮影時間（目安）

画像サイズ	本体	microSDカード（1GB）
ケータイメール（640×480）	約219分（1件あたり約87分）	約43分（1件あたり約43分）

携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種F-04Fの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.689W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
富士通のホームページ
http://www.fmworld.net/product/phone/sar/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

◆ Declaration of Conformity

The product "F-04F" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.fmworld.net/product/phone/doc/.

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency(RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.786 W/kg for HEAD. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/Kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

◆ Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules.
  Operation is subject to the following two conditions :
  ① this device may not cause harmful interference, and
  ② this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.
- The device complies with 15.205 of the FCC Rules.

◆ FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. Government's requirements for exposure to radio waves.
This model phone contains a radio transmitter and receiver. This model phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR

level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the phone.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC, when tested for use at the ear, is 0.61 W/kg, and when worn on the body, is 0.82 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirements.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ (please search on FCC ID VQK-F04F).
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.
※In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules.
These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.
If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.

- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

◆ Important Safety Information

AIRCRAFT
Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and does not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices :
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

Warning
This device have been tested to comply with the Sound Pressure Level requirement laid down in the applicable EN 50332-1 and/or EN 50332-2 standards. Permanent hearing loss may occur if earphones or headphones are used at high volume for prolonged periods of time.
<Prevention of Hearing Loss>
Warning statement requirement under EN 60950-1:A12.

Warning: To prevent possible hearing damage, do not listen to high volume levels for long periods.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権

◆ 著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

◆ 商標

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉモーション」「デコメール®」「トルカ」「おまかせロック」「mopera U」「ビジネスmopera」「WORLD CALL」「おサイフケータイ」「かざしてリンク」「WORLD WING」「公共モード」「エリアメール」「spモード」「Xi」「Xi/クロッシィ」「声の宅配便」「dメニュー」「ｉコンシェル」「しゃべってコンシェル」「eトリセツ」「ケータイデータお預かりサービス」「あんしんスキャン」および「Xi」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Document Viewerを搭載しています。
  ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。

- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

- TouchSense® Technology and MOTIV™ Integrator Licensed from Immersion Corporation and protected under one or more of the following United States Patents: 5844392, 5959613, 6088017, 6104158, 6147674, 6275213, 6278439, 6300936, 6424333, 6424356, 6429846, 7091948, 7154470, 7168042, 7191191, 7209117, 7218310, 7369115, 7592999, 7623114, 7639232, 7656388, 7701438, 7765333, 7779166, 7821493, 7969288 and additional patents pending.
- microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 8は、Microsoft® Windows® 8 およびMicrosoft® Windows® 8 Proの略です。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- GoogleおよびGoogleロゴ、Google Play、AndroidおよびAndroidロゴは、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- Bluetooth® smart readyとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- aptXはCSR社の登録商標です。
- 「UD新丸ゴ」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi Alliance、WMM、Wi-Fi CERTIFIED、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、WPA、WPA2、Wi-Fi Protected Setup、Wi-Fi DirectはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- OBEX™は、Infrared Data Association®の商標です。
- 「WhiteMagic™」は株式会社ジャパンディスプレイの商標です。
- その他、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

◆ その他

- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーションン（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.com をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.com をご参照ください。

◆ オープンソースソフトウェア

- 本製品には、Apache License V2.0に基づきライセンスされるソフトウェアに当社が必要な改変を施して使用しております。
- 本製品には、GNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）、その他のライセンスに基づくオープンソースソフトウェアが含まれています。
  当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面で☰→［本体設定］→［端末情報］→［法的情報］→［オープンソースライセンス］をご参照ください。
  オープンソースライセンスに基づき当社が公開するソフトウェアのソースコードは、下記サイトで公開しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
  http://spf.fmworld.net/fujitsu/c/develop/sp/android/

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式ではご利用になれません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

英数字・記号

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

spモードから	dメニュー ⇒「お客様サポート」 ⇒「各種お申込・お手続き」 （パケット通信料無料）
パソコンから	My docomo （http://www.mydocomo.com/） ⇒ 各種お申込・お手続き

※spモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※spモードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります。
※パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、本書巻末の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなど静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

■ 駅のホームや道路などで歩きながらスマートフォンを使用すると、視野が極端に狭くなり、接触事故の原因となります。

■ スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようにしてください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（電源OFF）→P64
　電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

●バイブレーション→P111
　電話がかかってきたことを振動でお知らせします。

●マナーモード→P109
　着信音や操作音など端末から鳴る音を消すことができます（ただし、シャッター音は消せません）。

そのほかにも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。→P64

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

海外での紛失、盗難、故障および各種お問い合わせ先（24時間受付）

●ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F-04Fからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります（「+」は「0」をロングタッチします）。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）151（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00～午後8：00　（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）113（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間　（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、
周囲の方への心くばりを忘れずに。

Li-ion 00

'13.12（1 版）
CA92002-8481